授　業　要　綱

（　令 和 ２ 年 度　）

福岡歯科大学大学院歯学研究科

教育目標

福岡歯科大学の建学の精神に基づき、本大学院は、歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。

アドミッションポリシー

１．豊かな人間性と社会性を持ち、生命と医療に対する倫理観を有している。
２．生命科学に関する基本的な知識と語学力を持ち、自ら課題を解決する資質を有している。
３．リサーチ・マインドを持ち、科学的根拠に基づく口腔医療やそれを支える生命科学研究の遂行に強い意欲を有している。
４．口腔医学の実践を通じて、地域社会および国際社会への貢献を目指している。

カリキュラムポリシー

コースワークならびにリサーチワークを通して、口腔医学を実践する先進的生命科学研究者や高度専門医療人を育成するためのカリキュラムを編成する。

１．生命科学に関する講義や演習を通じて、研究および医療に対する深い倫理観を育成する。
２．生命科学、総合医学ならびにその他の基盤的な講義・実習および大学院特別講義の履修を通じて、高い教養と研究・臨床を遂行するための科学的思考能力を育成する。
３．主および副指導教員の直接的指導に加えて、多岐の研究領域の教員が助言する中間発表会や実験報告会等の多面的研究指導体制により、口腔医学に関する広範で高度な生命科学知識や先端的な専門医療技術を駆使する能力を育成する。
４．国内外での研究成果の公表や研究研修を通じて、地域社会および国際社会に貢献する能力を育成する。

ディプロマポリシー

１．研究者あるいは医療人に必要な倫理観と人類の健康と福祉に対する使命感を身につけている。
２．課題を解決するために、最新の生命科学・医歯学情報を分析し自立的に研究計画を立て実行することができる。
３．口腔医学を実践するための先進的生命科学研究や高度専門医療を遂行する能力を身につけており、学位を取得する要件を満たす。
４．生命科学研究者として口腔医学領域の発展に寄与し、高度口腔専門医として先駆的な立場で地域社会や国際社会に貢献できる。

目　　次

１．福岡歯科大学大学院組織・・・1

２．福岡歯科大学大学院授業科目・・2

３．大学院授業科目と単位の概要・・4

４．令和２年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）生命科学概論・・・・・・・・・・・・・・・9

５．令和２年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）生命科学演習・・・・・・・・・・・・・・・13

６．令和２年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）総合医学概論・・・・・・・・・・・・・・・・17

７．令和２年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）総合医学演習・・・・・・・・・・・・・・・・21

８．令和２年度大学院講義・副科目（選択必修講義・実習）生命科学実験入門・・・・・・・・25

９．令和２年度授業科目細目・・41

福岡歯科大学大学院組織

専攻	部門	講座	分野	指導教員 教授	指導教員 准教授
歯学	研究科長			髙橋裕	
	口腔・歯学	総合歯科学	総合歯科学 高齢者歯科学 訪問歯科センター	廣藤卓雄 米田雅裕 内藤徹 森田浩光	牧野路子
		口腔治療学	歯科保存学 歯周病学	阿南壽 坂上竜資	吉永泰周
		咬合修復学	冠橋義歯学 有床義歯学 口腔インプラント学	松浦尚志 都築尊 城戸寛史	川口智弘 加倉加恵
		成長発達歯学	成育小児歯科学 障害者歯科学 矯正歯科学	尾崎正雄 小島寛 玉置幸雄	岡暁子
	全身管理・医歯学	口腔・顎顔面外科学	口腔外科学 口腔腫瘍学	池邉哲郎 平木昭光	橋本憲一郎
		診断・全身管理学	画像診断学 麻酔管理学	谷口省吾	香川豊宏
		総合医学	内科学 心療内科学 外科学 耳鼻咽喉科学 眼科学 小児科学 整形外科学 皮膚科学 内視鏡センター	大星博明 金光芳郎 (池田哲夫) 山野貴史 川野庸一 鳥巣浩幸 井上敏生 古村南夫 池田哲夫	徳本正憲 萩家康弘
	社会医歯学	口腔保健学	口腔健康科学 社会歯科学 医療統計学	埴岡隆	谷口奈央 島津篤 渡辺猛
		医療人間学	医療倫理学 言語情報学	永嶋哲也 壬生正博	
	基礎医歯学	機能生物化学	生化学 感染生物学	梅津桂子 藤田亜美 田中芳彦	
		歯科医療工学	生体工学	都留寛治	丸田道人
		生体構造学	機能構造学 病態構造学	稲井哲一朗 畠山雄次 橋本修一	児玉淳 岡村和彦 岡野慎士
		細胞分子生物学	細胞生理学 分子機能制御学	岡部幸司 日髙真純 八田光世	
	口腔医学研究センター			大野純 山下潤朗	
	口腔医療センター			泉利雄 金子高士 古賀千尋	山本勝己

福岡歯科大学大学院授業科目

専攻	部門	講座	授業科目	単位
歯学	口腔・歯学	総合歯科学	総合歯科学講義	4
			高齢者歯科学講義	4
			訪問歯科・全身管理歯科学講義	4
			総合歯科学実習	6
			高齢者歯科学実習	6
			訪問歯科・全身管理歯科学実習	6
		口腔治療学	歯科保存学講義	4
			歯周病学講義	4
			歯科保存学実習	6
			歯周病学実習	6
		咬合修復学	冠橋義歯学講義	4
			有床義歯学講義	4
			口腔インプラント学講義	4
			冠橋義歯学実習	6
			有床義歯学実習	6
			口腔インプラント学実習	6
		成長発達歯学	成育小児歯科学講義	4
			障害者歯科学講義	4
			矯正歯科学講義	4
			成育小児歯科学実習	6
			障害者歯科学実習	6
			矯正歯科学実習	6
	全身管理・医歯学	口腔・顎顔面外科学	口腔外科学講義	4
			口腔腫瘍学講義	4
			口腔外科学実習	6
			口腔腫瘍学実習	6
		診断・全身管理学	画像診断学講義	4
			麻酔管理学講義	4
			画像診断学実習	6
			麻酔管理学実習	6
		総合医学	内科学講義	4
			心療内科学講義	4
			外科学講義	4
			耳鼻咽喉科学講義	4
			眼科学講義	4
			小児科学講義	4
			整形外科学講義	4
			皮膚科学講義	4
			内視鏡学講義	4
			内科学実習	6
			心療内科学実習	6
			外科学実習	6
			耳鼻咽喉科学実習	6
			眼科学実習	6

福岡歯科大学大学院授業科目

専攻	部門	講座	授業科目	単位
歯学	全身管理・医歯学	総合医学	小児科学実習	6
			整形外科学実習	6
			皮膚科学実習	6
			内視鏡学実習	6
	社会医歯学	口腔保健学	口腔健康科学講義	4
			社会歯科学講義	4
			医療統計学講義	4
			口腔健康科学実習	6
			社会歯科学実習	6
			医療統計学実習	6
		医療人間学	医療倫理学講義	4
			言語情報学講義	4
			医療倫理学演習	6
			言語情報学演習	6
	基礎医歯学	機能生物化学	生化学講義	4
			感染生物学講義	4
			生化学実習	6
			感染生物学実習	6
		歯科医療工学	生体工学講義	4
			生体工学実習	6
		生体構造学	細胞機能構造学講義	4
			人体機能構造学講義	4
			病態構造学講義	4
			細胞機能構造学実習	6
			人体機能構造学実習	6
			病態構造学実習	6
		細胞分子生物学	細胞生理学講義	4
			分子機能制御学講義	4
			細胞生理学実習	6
			分子機能制御学実習	6
	口腔医学研究センター		生体再生材料学講義	4
			生体再生材料学実習	6
	口腔医療センター		口腔医療学講義	4
			口腔医療学実習	6
	必修講義・実習		生命科学概論	2
			生命科学演習	2
			総合医学概論	2
			総合医学演習	2
	選択必修講義・実習		生命科学実験入門 ※A,Bの各グループから 2テーマ以上を選択。	4以上

大学院授業科目と単位の概要

１．主科目（下記全テーマを４年間で履修する）

【必修講義・実習】

１）生命科学概論 ―――― ２単位

１．研究・実験計画法 〔日髙　真純〕
２．研究倫理（１） 〔大野　　純〕
３．研究倫理（２） 〔大野　　純〕
４．動物実験の科学性と倫理（１） 〔田中　芳彦〕
５．動物実験の科学性と倫理（２） 〔田中　芳彦〕
６．臨床研究の倫理（１） 〔永嶋　哲也〕
７．臨床研究の倫理（２） 〔埴岡　　隆〕
８．バイオハザード 〔小野　悦郎〕
９．生物医学統計処理法（１） 〔嶋田　　香〕
10．生物医学統計処理法（２） 〔嶋田　　香〕

２）生命科学演習 ―――― ２単位

１．研究倫理とミスコンダクト（１） 〔大野　　純〕
２．研究倫理とミスコンダクト（２） 〔大野　　純〕
３．文献検索法（講義） 〔廣藤　卓雄〕
４．実験動物の取り扱い（１） 〔田中　芳彦〕
５．実験動物の取り扱い（２） 〔田中　芳彦〕
６．実験動物の取り扱い（３） 〔田中　芳彦〕
７．文献検索法（演習） 〔内藤　　徹〕
８．ＥＢＭ入門（１） 〔内藤　　徹〕
９．ＥＢＭ入門（２） 〔内藤　　徹〕
10．論文作成・成果発表法 〔池邉　哲郎〕

３）総合医学概論 ―――― ２単位

１．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（１） 〔井上　敏生〕
２．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（２） 〔金光　芳郎〕
３．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（３） 〔池田　哲夫〕
４．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（４） 〔山野　貴史〕
５．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（５） 〔大星　博明〕
６．歯科に関連する画像情報入門（１） 〔香川　豊宏〕
７．歯科に関連する画像情報入門（２） 〔香川　豊宏〕
８．歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（６） 〔鳥巣　浩幸〕

４）総合医学演習 ―――― ２単位

１．内科演習 〔大星　博明〕
２．外科演習 〔池田　哲夫〕
３．耳鼻科演習 〔山野　貴史〕
４．皮膚科演習 〔古村　南夫〕
５．心療内科演習 〔金光　芳郎〕
６．眼科演習 〔川野　庸一〕
７．小児科演習 〔鳥巣　浩幸〕
８．整形外科演習 〔井上　敏生〕
９．内視鏡学演習 〔池田　哲夫〕

５）所属講座の講義・実習 ―――――――――――――――――――――― １２単位

注）歯科医療工学講座、口腔医学研究センターおよび口腔医療センターについては、研究科委員会が関連すると認めた講座の講義・実習２単位を主科目の単位として認定する。

主科目単位　　計２０単位

２．副科目

【選択必修講義・実習】

１）生命科学実験入門（選択必修）

Ａグループ、Ｂグループの各グループから２テーマ以上（計４テーマ以上）を選択し、履修する。〔各テーマは６～１０コマ（１２～２０時間）で構成〕――― ４単位以上

生命科学実験入門

Ａグループ

１．	電子顕微鏡操作法（透過型・走査型）	〔世話人：畠山　雄次〕
２．	組織細胞培養法	〔世話人：日高　真純〕
３．	免疫染色法	〔世話人：橋本　修一〕
４．	Ｘ線マイクロ CT の原理と操作法	〔世話人：大野　　純〕

Ｂグループ

１．	遺伝子操作法	〔世話人：梅津　桂子〕
２．	神経伝導・シナプス伝達解析法	〔世話人：藤田　亜美〕
３．	タンパク質機能解析法	〔世話人：岡部　幸司〕
４．	遺伝子発現解析法	〔世話人：八田　光世〕

２）所属講座以外の講義・実習 ―――――――――――――――― ６単位以上

大学院特別講義およびこれに準ずるもの６テーマを受講すれば、副科目の１単位として算入できる。

副科目単位　　計１０単位以上

令和２年度大学院講義

主科目（必修講義・演習）

生命科学概論

生命科学概論

前期１０コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：研究科運営委員長

〔一般目標〕
研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔評価〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4/7（火）1限	日髙（研究科運営委員長）	ユニット１研究・実験計画法	研究構想に基づいて研究・実験計画を作成する作業手順を理解する。	１）研究の動機・関心を踏まえて研究目的を定める。 ２）研究の背景を探り、作業仮説を立てる。 ３）仮説を立証するための実験デザインを考える。 ４）研究倫理・安全上の手続きと結果の分析方法を考える。 ５）実験計画書（架空）の作成の練習をする。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目について考えておく。	博士号の取り方 学生と指導教官のための実践ハンドブック EM Philips, DS Pugh 著	501 教室
2	4/7（火）2限	大野（研究倫理教育責任者）	ユニット２研究倫理	研究倫理に関する意識を高め、研究者に求められる行動規範を理解する。	１）社会に対する科学者の基本的責任と姿勢を説明できる。 ２）特定研究不正行為（ねつ造、改ざん、盗用）を説明できる。 ３）研究不正に気づかずに問題が発生することを防ぐため、具体的事例を分析する。	「研究不正行為」をインターネットで検索しておく。	声明科学者の行動規範―改訂版―（日本学術会議、平成 25 年） 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（文部科学大臣、平成 26 年） 科学の健全な発展のために誠実な科学者の心得（日本学術振興会　丸善）	501 教室

回	授業日時限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
3	4/7（火）3限	大野（研究倫理教育責任者）			１）研究成果を知的財産として扱うことの重要性を説明できる。 ２）研究の公正性を証明明することの重要性を説明できる。 ３）適切なラボノート(実験ノート)の作成ができる。	各自実験ノートを準備し、記載を始めておく。	ラボノートの書き方　隅蔵康一他著　羊土社	501教室
4・5	4/28（火）4限・5限	田中（アニマルセンター長）	ユニット３実験動物の科学性と倫理	動物実験を行うための基礎知識と実際の手続きを理解する。	1)倫理に基づいた動物実験の重要性を説明できる。 2)動物愛護関連法令に基づいた動物実験計画を立案することができる。	「動物の愛護」についてインターネット等で調べておく。	実験動物指針 アニマルセンターホームページ	504教室
6	5/26（火）3限	永嶋	ユニット４臨床研究の倫理	臨床研究（人を対象とする医学系研究）の倫理指針、およびその関連指針等を理解する。	1)臨床研究倫理の基本原則を説明できる。 2)倫理指針に沿って倫理審査申請書を作成できる。	福岡学園　事務情報共有システムの「各種委員会申請書等」より倫理審査関連書類を入手、熟読しておく。	1)人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省） 2)ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省） 3)ヘルシンキ宣言（世界医師会） 4)個人情報保護法	504教室
7	5/26（火）4限	埴岡（コンプライアンス責任者）			1)臨床研究倫理の基本原則を説明できる。 2)倫理指針に沿って倫理審査申請書を作成できる。			
8	6/2（火）5限	小野	ユニット５バイオハザード	ヒトや動物に由来する研究・実験材料には未知の病原体が潜んでいることを理解する。	微生物汚染の防止と回避を説明する。	「Zoonosis」についてインターネット等で調べておく。	特に指定しない。	502教室
9	7/14（火）3限	嶋田	ユニット６生物医学統計処理法	生物統計処理に必要なデータ整理、データ分析の基本を理解する。	生物統計処理に必要なデータ整理、分析法を説明できる。	予習用に作成したプリントに目を通しておく。	特に指定しない	504教室
10	7/14（火）4限							

令和２年度大学院講義

主科目（必修講義・演習）

生命科学演習

生命科学演習

前期１０コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：研究科運営委員長

〔一般目標〕
研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔評価〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2	6/2（火）3 限・4 限	大野	ユニット１研究倫理とミスコンダクト	研究倫理に関する意識を高めて、研究者に求められる行動規範を説明できる。	1. 研究倫理のミスコンダクトを列挙し、説明できる。 2. 研究倫理研究カリキュラムを e-learning により受講し、修了できる。	研究倫理に関する記事や文献に目を通しておく。	配布プリント、学内 LAN	502 教室
3	6/9（火）3 限	廣藤（情報図書館長）	ユニット２文献検索法（講義）	学術情報の収集に不可欠な文献検索の基礎的な知識と検索方法を理解する。	1）科学的文献の種類を列挙し説明する。 2) 主要な文献データベースを説明する。 3) 英語論文の検索方法を説明する。 4) 日本語論文の検索方法を説明する。	図書館ホームページ http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lib/index.html を検索しておく	プリント	ラーニングコモンズ
4 5 6	6/16（火）3 限 6/16（火）4 限 6/16（火）5 限	田中（アニマルセンター長） 泉 松本 山下	ユニット３実験動物の取り扱い	信頼性の高い研究結果を得るため、実験動物の取り扱いを理解する。	1) 実験動物の倫理を十分に理解し、動物愛護の精神で実験動物に接することができる。 2) 実験動物の衛星管理や病気・人畜共通感染症の予防法を理解し、適切な処置を実施できる。 3) 小動物・大動物の特性を理解し、正しい取り扱いを説明できる。 4) 麻酔、採血、各種投与などの実験手技の基本を理解し、適切に応用できる。	「動物の愛護」についてインターネット等で調べておく。	実験動物指針 アニマルセンターホームページ	アニマルセンター

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	6/23 (火) 3限・ 4限・ 5限	内藤	ユニット4 文献検索法 (演習)	医学文献検索の基本であるPubmedの基本的な操作法とそのデータベースである Medline の基本構造を理解する。	1) Medlineのデータベース構造を説明する。 2) MedlineのMeSHについて説明する。 3) PubMed の検索式のルールを列挙する。	学内LANに接続可能なパソコンを持参すること。	配付プリント	総合歯科カンファレンス室
8			ユニット5 EBM入門	EBM の基本的なコンセプトと研究デザインとエビデンスレベルの関係について理解する。	1)Clinical Questionを作ることができる。 2) PICO を組み立てることができる。 3) EBMの実践方法を説明する。	自分の研究計画を考えてくる、あるいは自分の研究計画に関連する先行研究の論文を持参すること。	配付プリント	
9					4) 各種の研究デザインを列挙する。 5) ランダム化比較試験の構造を説明できる。 6) サンプルサイズ推定の基本概念を説明する。			
10	7/7 (火) 2限	池邉	ユニット6 論文作成･成果発表法	科学論文の書き方とわかりやすい発表方法を理解する。	1) 科学論文の構造を理解する。 2) わかりやすい文章を書く事ができる。 3) 研究成果の発表法を理解する。 4) わかりやすい口頭発表ができる。	教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	プリント、スライド	504教室

令和２年度大学院講義

主科目（必修講義・演習）

総合医学概論

総合医学概論

前期８コマ（ユニット１～７：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
井上敏生、金光芳郎、大星博明、山野貴史、香川豊宏、鳥巣浩幸

〔一般目標〕
医科と連携した歯科医療ができる。

〔授業到達目標〕
医科疾患の病態および臨床での診断・治療の過程をできる。

〔教科書・参考書〕
「わかりやすい内科学」第３版、井村裕夫 編、文光堂、2008 年
「新臨床外科学」第 4 版、武藤徹一郎ほか 監修、医学書院、2006 年
「やさしい皮膚科学」、澤村大輔、診断と治療社、2009 年
「心身医学標準テキスト」第 3 版、久保千春 編、医学書院、2009 年
「標準眼科学」第 10 版、大野重昭ほか 編、医学書院、2007 年
「標準小児科学」第 8 版、内山聖 監修、医学書院、2013 年
「標準整形外科学」第 13 版、中村利孝ほか 監修、医学書院、2017 年

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 30%、ユニット毎に提出するレポート 70%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/7 (火) 4 限	井上	ユニット 1 歯科に関連する臨床医学のテーマ (1)	骨粗鬆症の基礎・診断・治療を理解する。	骨粗鬆症の・診断・治療および骨粗鬆症にて起こる骨折について概説する。	骨代謝の基礎と骨粗鬆症について教科書で予習しておく。	スライド、プリント	501 教室
2	4/7 (火) 5 限	金光	ユニット 2 歯科に関連する臨床医学のテーマ (2)	心身症の治療を理解する。	心身医学について学び、歯科心身症を概説する。	歯科心身症を教科書で予習しておく。	スライド、プリント	501 教室
3	5/12 (火) 3 限	池田	ユニット 3 歯科に関連する臨床医学のテーマ (3)	外科疾患の治療を理解する。	口腔医学を基礎としての外科学の最近の進歩を概説する。	外科学の最近の進歩をインターネットで検索しておく。	スライド、プリント	504 教室
4	5/12 (火) 4 限	山野	ユニット 4 歯科に関連する臨床医学のテーマ (4)	耳鼻科疾患の治療を理解する。	嚥下障害の診断と治療を概説する。	嚥下障害を教科書で予習しておく。	スライド、プリント	504 教室
5	6/9 (火) 4 限	大星	ユニット 5 歯科に関連する臨床医学のテーマ (5)	内科疾患の治療を理解する。	脳卒中学の最近の進歩を概説する。	脳卒中学の最近の進歩をインターネットで検索しておく。	スライド、プリント	504 教室
6	7/7 (火) 3 限	香川	ユニット 6 歯科に関連する画像情報入門	医用画像の原理、デジタル画像の基本を説明する。	1) デジタル画像の形成原理を説明する。 2) デジタル画像の利点・欠点について説明する。 3) DICOM について説明する。	デジタル撮影法・DICOM について教科書で予習しておく。	スライド,実機	放射線診断科学生実習室
7	7/7 (火) 4 限			歯科領域の画像診断において医科との協力が必要な画像所見を理解する。	1) 歯科領域の画像診断で医科との協力が必要な疾患の画像所見を理解する。 2) 適切な紹介科を選択する。	系統疾患など医科領域と協力が必要な疾患を予習しておく。	スライド,実機	504 教室
8	7/7 (火) 5 限	鳥巣	ユニット 7 歯科に関連する臨床医学のテーマ (6)	小児疾患の治療を理解する。	小児の救急対応について概説する。	アナフィラキシーについて教科書で予習しておく	スライド プリント	504 教室

令和２年度大学院講義

主科目（必修講義・演習）

総合医学演習

総合医学演習

前期４０コマ（ユニット１～８：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星博明、池田哲夫、山野貴史、古村南夫、金光芳郎、川野庸一、鳥巣浩幸、井上敏生、徳本正憲、萩家康弘、各分野担当教員

〔一般目標〕
医科と連携した歯科医療ができる。

〔授業到達目標〕
臨床現場に置いて、医科疾患の病態および臨床での診断・治療の過程を説明できる。

〔教科書・参考書〕
「わかりやすい内科学」第 4 版、井村裕夫 編、文光堂、2014 年
「新臨床外科学」第 4 版、武藤徹一郎ほか 監修、医学書院、2006 年
「やさしい皮膚科学」、澤村大輔、診断と治療社、2009 年
「心身医学標準テキスト」第 3 版、久保千春 編、医学書院、2009 年
「標準眼科学」第 10 版、大野重昭ほか 編、医学書院、2007 年
「標準小児科学」第 8 版、内山聖 監修、医学書院、2013 年
「標準整形外科学」第 11 版、内田淳正 監修、医学書院、2011 年

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 30%、ユニット毎に提出するレポート 70%

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 8	5月～2月 月曜午前 水曜午前 木曜午前 金曜午前	大星 博明 徳本 正憲 内科 担当教員	ユニット1	内科疾患についての問診表を確認できる	内科疾患の診察過程を指導医に説明できる。	「わかりやすい内科学」の症候・検査編の項目を予習しておく	スライド、プリント	内科外来
9 ～ 16	5月～2月 月曜午後 水曜午後 木曜午後 金曜午後	池田 哲夫 外科・内視鏡センター 担当教員	ユニット2	外科患者の診察過程、検査概要を指導医に説明できる。 内視鏡センター患者の問診表を確認できる。	外科疾患についての手術の基本手技および内視鏡センター患者の診察過程を指導医に説明できる。	「新臨床外科学」の基礎手技の項目ｐ327-363および「消化器内視鏡ハンドブック」の総論を予習しておく	スライド、プリント	外科外来
17 ～ 20	5月～2月 水曜午前 金曜午前	山野 貴史 耳鼻科 担当教員	ユニット3	耳鼻科疾患についての問診表を確認できる。	耳鼻科患者の診察過程を指導医に説明できる。	歯科教科書の耳鼻咽喉科疾患に関わる項目を予習しておく	スライド、プリント	耳鼻科外来
21 ～ 24	5月～2月 月曜午前 木曜午前	古村 南夫 萩家 康弘 皮膚科 担当教員	ユニット4	皮膚科・形成外科疾患についての問診表を確認できる。	皮膚科・形成外科患者の診察過程を指導医に説明できる。	「やさしい皮膚科学」の総論（p.1～27）を予習しておく	スライド、プリント	形成外科外来
25 ～ 28	5月～2月 月曜午後 木曜午後	金光 芳郎 心療内科 担当教員	ユニット5	心療内科的疾患の問診表を確認できる。	心療内科外科外来診療・面接治療の流れを指導医に説明できる。	「心身医学標準テキスト」の心身医学的治療法の項目を予習しておく	スライド、プリント	心療内科外来
29 ～ 32	5月～2月 木曜午後 金曜午後	川野 庸一 眼科 担当教員	ユニット6	眼科疾患の問診表を確認でき、検査の概要を指導医に説明できる。	眼科顕微鏡手術の手順の概要を指導医に説明できる。	「標準眼科学」の眼科検査の項目を予習しておく	スライド、プリント	眼科外来 手術室
33 ～ 36	5月～2月 月曜午前 水曜午前	鳥巣 浩幸 小児科 担当教員	ユニット7	小児科患者の問診表を確認できる。	小児科患者の診察過程を指導医に説明できる。	「小児科学」の成長および診察法の項目を予習しておく	スライド、プリント	小児科外来
37 ～ 40	5月～2月 木曜午後 金曜午前	井上 敏生 整形外科 担当教員	ユニット8	整形外科患者の問診表を確認できる。	整形外科患者の診察過程を指導医に説明できる。	「標準整形外科学」の整形外科的現症の取り方の項目を予習しておく	スライド、プリント	整形外科外来

令和２年度大学院講義

副科目（選択必修講義・実習）

生命科学実験入門

Ａ－１．電子顕微鏡操作法（透過型・走査型）

後期８コマ（ユニット１～３：１単位）
評価責任者：畠山雄次

〔担当教員〕
畠山雄次、稲井哲一朗、都留寛治、丸田道人、北河憲雄、梶本昇、大谷崇仁、緒方佳代子、佐藤平

〔一般目標〕
細胞や細胞小器官、生体高分子物質などの微細構造を観察するための透過型電子顕微鏡の原理、操作、試料作製および観察に関する基礎知識と基本手技を習得する。細胞や組織、歯科材料などの表面微細構造を観察するための走査型電子顕微鏡の原理、操作、試料作製および観察に関する基礎知識と基本手技を習得する。

〔授業到達目標〕
１．透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の理論を説明できる。
２．透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の試料作製法を説明できる。
３．透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の観察法を説明できる。
４．透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の画像を説明できる。

〔教科書・参考書〕
医学・生物学　電子顕微鏡観察法　日本電子顕微鏡学会関東支部編　丸善

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	9/2 （水） Ⅲ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット１ 透過型電子顕微鏡 理論と試料作製法 （講義）	透過型電子顕微鏡の基礎理論を理解する。	1) 光学顕微鏡との違いを説明する。 2) 透過型電子顕微鏡の解像力を説明する。 3) 固定(固定液、固定法)を説明する。 4) 包埋を説明する。 5) 超薄切片の作製法を説明する。 6) 染色(電子染色、免疫染色)を説明する。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２
2	9/2 （水） Ⅳ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット１ 透過型電子顕微鏡 試料作製法 （デモ、 実習）	透過型電子顕微鏡の試料作製法を理解する。	1) 固定液を作製する。 2) グリッドに膜を張る。 3) 超薄切片を作製する。 4) 電子染色をする。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
3	9/2 （水） Ⅴ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット１ 透過型電子顕微鏡 操作法（デモ、実習）	透過型電子顕微鏡の操作法、写真撮影ならびに像の読み方を理解する。	1) 透過型電子顕微鏡の操作を説明する。 2) 写真撮影を説明する。 3) 像の読み方を説明する。	配布プリントを読んで、操作、像の読み方を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２
4	9/9 （水） Ⅲ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット２ 走査型電子顕微鏡 理論 （講義）	走査型電子顕微鏡の基礎理論を理解する。	1) 走査型電子顕微鏡の原理を説明する。 2) 固定(固定液、固定法)を説明する。 3) 導電染色を説明する。 4) 臨界点乾燥を説明する。 5) コーティングを説明する。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２
5	9/9 （水） Ⅳ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット２ 走査型電子顕微鏡 試料作製法 （デモ、 実習）	走査型電子顕微鏡の試料作製を理解する。	1)固定を行う。 2)臨界点乾燥を行う。 3)コーティングを行う	配布プリントを読んで、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２
6	9/9 （水） Ⅴ	畠山 稲井 北河 大谷 緒方	ユニット２ 走査型電子顕微鏡 操作法 （デモ、実習）	走査型電子顕微鏡の操作法、写真撮影ならびに像の読み方を理解する。	1)走査型電子顕微鏡の操作を説明する。 2)写真撮影を説明する。 3)像の読み方を説明する。	配布プリントを読んで、操作、像の読み方を理解する。	スライド プリント	病院棟４階 生体構造学研究室２
7	9/16 （水） Ⅲ	都留 丸田 梶本 佐藤	ユニット３ 走査型電子顕微鏡 歯科材料の試料作製法１ （講義・実習）	歯科材料･生体材料(金属、無機材料等)の試料作製手順を理解する。	1) 試料の作製手順を説明する。 2) コーティング法を説明する。	配布プリントを読んで、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	本館８階 生体工学分野研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
8	9/16 （水） Ⅳ	都留 丸田 梶本 佐藤	ユニット３ 走査型電子顕微鏡 歯科材料の試料作製法２ （講義・実習）	試料観察と像の読み方を理解する。	1）試料の観察法を説明する。 2）ＳＥＭ像による各材料の表面構造を説明する。	配布プリントを読んで、試料の観察法、ＳＥＭ像と表面構造の関連を理解する。	スライド プリント	本館８階生体工学分野研究室

Ａ－２．組織細胞培養法

後期９コマ（ユニット１～３：１単位）
世 話 人：日高真純

〔担当教員〕
日髙真純、田中芳彦、大野純

〔一般目標〕
組織や細胞を試験管内で培養する基礎的な知識と技術、そしてその解析法を習得する。

〔教育方法〕
講義および実習

〔成績評価の方法・基準〕
講義・実習態度と提出レポートにより評価する。

回	授業日時限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料
1	9/1 (火) III	日高	ユニット１ 細胞培養の概要	細胞培養の一般的な知識を理解する。	1) 細胞培養の原理を説明できる。 2) 細胞の継代培養ができる。 3) 細胞の数を計測できる。 4) 増殖細胞の倍加時間を測定できる。	細胞株とはどのような特徴を持つ細胞のことか調べておく。	スライド プリント資料
2	9/1 (火) IV						
3	9/1 (火) V						
4	9/8 (火) III	田中	ユニット２ 組織由来の細胞培養	組織由来の細胞の解析方法を理解する。	1) 免疫系組織の細胞を説明できる。 2) 免疫系組織からリンパ球を分離する方法について説明できる。 3) リンパ球の細胞培養ができる。 4) フローサイトメトリーの原理を説明できる。	免疫系の細胞にはどのような種類の細胞があるのか調べておく。	スライド プリント資料
5	9/8 (火) IV						
6	9/8 (火) V						
7	9/15 (火) III	大野	ユニット３ がん細胞の培養	がん細胞の薬物感受性の測定法を理解する。	1) がん細胞の特性を説明できる。 2) 抗癌剤あるいはROS刺激に対するがん細胞の抵抗性を説明できる。	ユニット2,3の方法を復習する。口腔扁平上皮癌について調べておく。	スライド プリント資料
8	9/15 (火) IV						
9	9/15 (火) V						

Ａ－３．免疫染色法

後期６コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
タンパク質レベルでの生体物質の発現の局在を知るために有用な免疫組織学的染色について、基礎的な理論とペルオキシダーゼ、アルカリフォスファターゼ発色を用いた染色手技を修得する。

〔授業到達目標〕
免疫染色の理論と意義を理解し、実際の免疫染色の手技を習得し、病理診断などへの臨床応用、基礎・臨床研究への応用の重要性について理解できるようになる。

〔教科書・参考書〕
1. 渡辺・中根　酵素抗体法　編集　名倉　宏 他、改定第四版、学際企画、2005 年
2. バイオ実験で失敗しない！免疫染色・イメージングのコツ 太田正人 他　編、羊土社、2012 年

〔成績評価の方法・基準〕
試問 50%とレポート 50%の評価により行う。免疫染色の結果と考察を判定基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9/16（水）III	橋本	ユニット１免疫染色法の基礎理論	免疫染色の概要､理論と手順	免疫染色法の概要および医・生物学的研究領域における同法の意義について理解する。また、免疫染色法の化学的理論および染色手順について理解する。	免疫染色法の概要と理論について、教科書あるいはネット上の情報を用いて予習しておく。	教科書・参考書 1，2	病態構造学分野・研究室 3
2	9/16（水）IV	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット２免疫染色法の基礎理論(2)	免疫染色の設定(試薬類・器具)	免疫染色に必要な準備、標本処理、試薬、器具の種類、調整の仕方について理解する。	免疫染色法の種類について調べ、各染色法を用いた研究成果（研究論文）を検索し、免疫染色という研究手技を用いて何を明らかにしたいかという目的について各受講者の意見を事前に準備しておく。	各種染色用具・試薬・溶媒	病態構造学分野・実験室 2
3	9/16（水）V	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット３免疫染色法の実際(1)	免疫染色の基本的手技	免疫染色の手技について理解する。			
4	9/17（木）III	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット３免疫染色法の実際(2)	免疫染色の諸条件	検索目的に合った免疫染色のための試料、試薬、反応の諸条件設定と染色結果に与える影響を理解する。		染色キット 各種抗体	
5	9/17（木）IV	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット３免疫染色法の実際(3)	免疫染色後の処理､染色判定と考察	免疫染色の結果について解析・評価し、意義について理解し考察できる。		染色キット 発色試薬 顕微鏡	

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6	9/17 （木） V	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット４ 免疫染色の 臨床応用	免疫染色の病理診断、臨床研究への応用	実際の免疫染色の結果から臨床研究への応用を計画できる。		教科書・参考書 1，2	病態構造学分野・研究室３

Ａ－４．Ｘ線マイクロＣＴの原理と操作法

後期６コマ（ユニット１～３：１単位）
世 話 人：大野　純

〔担当教員〕
川口　稔

〔一般目標〕
X 線マイクロ CT 法の原理を理解し、その操作法、測定法および CT 像の解釈法について理解する。

〔教育方法〕
X 線マイクロ CT 法の原理ならびに応用例を講義する。実際の装置を用いて操作法を教授し、試料測定ならびに CT 像の解析を実習形式で行う。

〔評　　価〕
レポート提出(100%)

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体･参考資料
1	10/8（木）Ⅳ	川口	ユニット１ X 線マイクロ CT の原理と応用	X 線マイクロ CT の原理と応用例について理解する。	X 線マイクロ CT の原理と応用例を説明する。	X 線の原理	スライド､プリント配布
2	10/8（木）Ⅴ	川口				CT の原理	
3	10/15（木）Ⅳ	川口	ユニット２ X 線マイクロ CT 装置の操作法	X 線マイクロ CT 装置の操作法を理解する。	X 線マイクロ CT 装置の基本的な操作法および保守方法を説明する。	CT の特徴	操作法マニュアルに関する資料配付
4	10/15（木）Ⅴ	川口				CT の特徴	
5	10/22（木）Ⅳ	川口	ユニット３ X 線マイクロ CT 装置による試料測定	X 線マイクロ CT 装置により試料の CT 像を観察し、画像処理法ならびに解析法を理解する。	X 線マイクロ CT 装置により試料の CT 像を観察し、画像処理法ならびに解析法を説明する。	CT 画像の特徴	
6	10/22（木）Ⅴ	川口				PC による画像の取り扱い	

Ｂ－１. 遺伝子操作法

前期６コマ（ユニット１～６：１単位）
世 話 人：梅津桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子、林　道夫、石井 健士、橋口 一成、藤兼 亮輔、日高 真純（担当順）

〔一般目標〕
遺伝子の機能について理解し、疾患や表現型との関係を知る
ゲノム編集を中心とした代表的な遺伝子機能解析法について、それぞれの特徴や方法を理解し、応用の試行実験ができる

〔授業到達目標〕
○遺伝子機能と疾患や表現型の関連について説明することができる
○代表的な遺伝子操作法について、特徴と方法を概説できる
○遺伝子機能の解析について目的に即した遺伝子操作法を選択できる
○実験データを理解し、論理的な結論を導き出す過程をフォローすることができる

〔教科書・参考書〕
B. Alberts 他著／中村 桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原著第３版 南江堂 2011
仲嶋 一範 他編　実験医学別冊「遺伝子導入プロトコール」羊土社 2012
山本　卓 編　実験医学別冊「ゲノム編集成功の秘訣 Q&A」羊土社 2015
関口睦夫編　シリーズ分子生物学２「遺伝子工学」朝倉書店 1997

ユニット１ならびに各ユニットの総論では上記を参考書として基本的な知識を整理する
各論の講義は実際の実験データ等についての資料・スライドを用いたゼミナール形式で実践的な面を中心に行なうので、上記は適宜参考書として自習に活用すること

〔成績評価の方法・基準〕
討論や質疑応答への参加の状況から総合的に評価する

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	7/30 (木) Ⅳ	梅津	ユニット１ 遺伝子操作の基礎	遺伝子操作の基本的な知識を整理する	１)遺伝子の機能と、解析法としての遺伝子操作の意義とを関連付ける ２)主なモデル生物について基本的な遺伝子操作法を列挙できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく	B. Alberts 他著／中村 桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原著第３版 南江堂 2011	504 講義室
2	7/30 (木) Ⅴ	林	ユニット２ ゲノム編集の原理	ゲノム編集が容易な出芽酵母をモデルに原理と進歩を理解する	１)ゲノム編集の原理を説明できる ２)出芽酵母を用いたゲノム編集を通して、技術的な進歩と原理の理解とを関連付ける ３)実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく	仲嶋 一範 他編 実験医学別冊「遺伝子導入プロトコール」羊土社 2012 山本　卓 編	504 講義室

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
3	8/6 （木） Ⅳ	石井	ユニット３ 高組換え能の培養細胞の利用	特殊な高組換え能の細胞を用いた効率的ゲノム編集を知る	１）哺乳類培養細胞におけるゲノム編集の問題点について説明できる ２）高組換え能の細胞として Nalm-6 や DT40 を用いたゲノム編集について説明できる ３）実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく	実験医学別冊 「ゲノム編集成功の秘訣 Q&A」羊土社 2015 関口睦夫編シリーズ分子生物学２「遺伝子工学」 朝倉書店 1997	504 講義室
4	8/6 （木） Ⅴ	橋口	ユニット４ RNA 干渉	哺乳類の培養細胞を用いた遺伝子ノックダウン法を理解する	１）ゲノム編集に代わる技術として、遺伝子ノックダウン法を比較検討する ２）RNA 干渉の方法を説明できる ３）実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく		504 講義室
5	8/20 （木） Ⅳ	藤兼	ユニット５ 培養細胞のゲノム編集	哺乳類の培養細胞を対象としたゲノム編集の方法を理解する	１）細胞レベルのゲノム編集について説明できる ２）CRISPR/Cas9 法や TALEN 法など現在用いられている技術の実際を説明できる ３）実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく		504 講義室
6	8/20 （木） Ⅴ	日高	ユニット６ 遺伝子改変動物	遺伝子改変動物について理解する	１)遺伝子改変マウスについて説明できる ２)遺伝子改変マウスを作製する個体レベルの遺伝子操作技術について説明できる ３)実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく		504 講義室

Ｂ－２. 神経伝導・シナプス伝達解析法

前期６コマ（ユニット１～３：１単位）
評価責任者：藤田亜美

〔担当教員〕
藤田亜美

〔一般目標〕
細胞外電位記録法やパッチクランプ法を用いてニューロンの電気的な活動を記録することで、神経線維における活動電位の伝導やシナプス伝達が生体内外の生理活性物質によりどのように変化するかを解析する一連の研究方法を、痛み情報の伝達を例として理解する。

〔授業到達目標〕
1. 神経線維における活動電位の伝導やシナプス伝達について説明できる。
2. 疼痛や鎮痛に関する基礎医学的な内容について説明できる。
3. 細胞外電位記録法やパッチクランプ法を用いたニューロンの電気的な活動の測定について説明できる。

〔教科書・参考書〕
B. Alberts 他著／中村桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原書第４版　南江堂　2016（参考書）

〔成績評価の方法・基準〕
講義・実習態度とレポートにより、総合的に評価する。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 2	8/17 （月） 3.4 限	藤田	ユニット１ 神経伝導とシナプス伝達	神経線維における活動電位の伝導やシナプス伝達を理解する。	末梢から中枢への感覚情報の伝達方法について説明できる。	ニューロンとは何か調べておく。	プリント資料	７階 化学教室 他
3 ～ 4	8/19 （水） 3.4 限	藤田	ユニット２ 痛み情報の伝達	疼痛や鎮痛に関する基礎医学的な内容を理解する。	痛み情報の伝達経路や鎮痛作用を説明できる。	痛みとは何か調べておく。	プリント資料	７階 化学教室 他
5 ～ 6	8/21 （金） 3.4 限	藤田	ユニット３ 細胞外電位記録法とパッチクランプ法	細胞外電位記録法とパッチクランプ法の基礎知識を理解する。	細胞外電位記録法やパッチクランプ法の実験方法について説明できる。	ニューロンの電気的な活動とは何か調べておく。	プリント資料	７階 化学教室 他

Ｂ－３．タンパク質機能解析法

後期６コマ（ユニット１～５：１単位）
世 話 人：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、鍛治屋浩、進　正史

〔一般目標〕
遺伝子発現に重要な役割を担う転写因子とプロモーターの関係について、その活性化機構と機能について理解する。

〔教育方法〕
細胞生理学分野研究室、及び口腔医学研究センターと再生医学研究センターでの実習

〔評　　価〕
実習での習熟度評価とレポート提出による評価

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の 項目	媒体・参考資料
1	11/4 （水） Ⅳ	岡部 鍛治屋 進	ユニット１ 転写因子とプロモーターの基本概念	転写因子の活性化および制御機構について理解する。	転写因子とプロモーターの関係について説明できる。	配付資料の事前学習	スライド プリント資料
2	11/4 （水） Ⅴ	鍛治屋 進 岡部	ユニット２ 転写因子のための細胞内導入とその効率の測定	転写因子の活性化および制御機構について理解する。	・転写因子の活性化および制御機構について説明できる。 ・実際に、サイトカインで細胞を刺激し解析できる。	配付資料の事前学習	スライド プリント資料
3	11/5 （木） Ⅳ	鍛治屋 進 岡部	ユニット３ 転写因子によるプロモーター活性の測定	転写因子によるプロモーター活性の測定について理解する。	サイトカインで刺激した細胞のタンパク質を精製し、Western Blot 法で転写因子の活性化を測定できる。	前回の実験結果のまとめ	スライド プリント資料
4	11/5 （木） Ⅴ	鍛治屋 進 岡部				配付資料の事前学習	
5	11/6 （金） Ⅳ	鍛治屋 進 岡部	ユニット４ 転写活性測定法	転写活性測定法の原理と測定の仕組みを理解できる。	ルシフェラーゼアッセイの原理や測定法を説明し、応用できる。	前回までの実験結果のまとめ	スライド プリント資料
6	11/6 （金） Ⅴ	岡部 鍛治屋 進	ユニット５ 転写因子の機能解析と結果のまとめ	転写因子の活性化と機能との関連性を理解できる。	転写因子の機能解析をアポトーシスで検討し、応用できる。	配付資料の事前学習	スライド プリント資料

Ｂ－４. 遺伝子発現解析法

前期７コマ（ユニット１～３：１単位）
世 話 人：八田　光世

〔担当教員〕
八田光世、長岡良礼

〔一般目標〕
細胞核におけるクロマチンと遺伝子発現制御の分子機構とその解析方法を理解する。

〔授業到達目標〕
・クロマチン構造と化学修飾について説明できる。
・遺伝子発現とクロマチン修飾との関係について説明できる。
・クロマチン免疫沈降法の原理・実験手技について説明できる。
・実験データに基づいた論理的な考察をすることができる。

〔教科書・参考書〕
田村隆明、浦聖恵　編著
「遺伝子発現制御機構　クロマチン, 転写制御, エピジェネティクス」　東京化学同人　2017

B. Alberts 他著／中村桂子 他監訳
「Essential 細胞生物学」原書第４版　南江堂　2016

〔成績評価の方法・基準〕
講義・実習態度と口頭試問により、総合的に評価する。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料
1	7/27（月）Ⅳ	八田 長岡	ユニット１ クロマチンと遺伝子発現制御	クロマチン環境における遺伝子発現制御の分子機構について理解する。	1) クロマチン構造、その化学修飾について説明できる。 2) 遺伝子発現とクロマチン修飾との関係を説明できる。	配布資料	スライド プリント資料
			ユニット２ クロマチン免疫沈降法の原理	クロマチン免疫沈降法について理解する。	1) クロマチン免疫沈降法の原理・実験手技を説明できる。		
2	7/27（月）Ⅴ	八田 長岡	ユニット３ ヒストン修飾認識抗体を用いたクロマチン免疫沈降法	クロマチン免疫沈降法による特定ゲノム領域のヒストン修飾の検出について理解する。	1) 細胞から断片化クロマチンを調製できる。 2) 断片化クロマチンとヒストン修飾認識抗体とを用いた免疫沈降ができる。 3) 免疫沈降複合体から DNA を精製できる。 4) リアルタイム PCR により特定ゲノム領域のヒストン修飾状態を評価する。	配布資料	スライド プリント資料
3	7/28（火）Ⅳ						
4	7/28（火）Ⅴ						
5	7/29（水）Ⅲ						

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料
6	7/29（水）Ⅳ				5）得られたデータを解析し、結果を考察できる。		
7	7/29（水）Ⅴ						

令和２年度授業科目細目

総合歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：廣藤卓雄

〔担当教員〕
廣藤卓雄、米田雅裕

〔一般目標〕
効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 適切で充分な医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する

〔教科書・参考書〕
廣藤卓雄　他監修「新臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社 2018 年
総合歯科症例集

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【前期】4～6 月 月、木 10:35-11:55	廣藤卓雄 米田雅裕	ユニット１ 診察・検査	適切で充分な医療情報を収集し､基本的な診療･検査を実施、判断する	必要な医療情報を列挙する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カンファレンス室 総合歯科診療室
2	【前期】4～6 月 月、木 10:35-11:55				医療情報を十分に収集する			
3	【前期】4～6 月 月、木 10:35-11:55				患者の症状を把握するための視診、触診、打診、聴診をする			
4	【前期】4～6 月 月、木 10:35-11:55				エックス線写真を正しく撮影する			
5	【前期】4～6 月 月、木 10:35-11:55				口腔内写真を正しく撮影する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				スタディモデルを作製する			
7	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55	廣藤卓雄 米田雅裕	ユニット１ 診察・検査	適切で充分な医療情報を収集し､基本的な診療･検査を実施、判断する	歯牙硬組織疾患の状態を判断する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カンファレンス室
8	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患の状態を診断する			
9	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合状態を判断する			
10	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				口腔内、口腔外の視診、触診、打診、聴診から疾患の状態を判断する			
11	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				エックス線写真から正常像、異常像を判断する			
12	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				スタディモデルを分析する			
13	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				歯牙硬組織疾患の状態を判断する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
14	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患の状態を診断する			
15	【前期】 4～6 月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合状態を判断する			

総合歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：廣藤卓雄

〔担当教員〕
廣藤卓雄、米田雅裕

〔一般目標〕
効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 得られた情報から診断する
2. 適切と思われる治療法および別の選択肢を提示し患者の自己決定を確認し、治療計画を作成する

〔教科書・参考書〕
廣藤卓雄　他監修「新臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社 2018 年
総合歯科症例集

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
16	【前期】7 月 月、木 10:35-11:55	廣藤卓雄 米田雅裕	ユニット 2 診断	得られた情報から診断する	口腔粘膜、軟組織疾患を診断する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カンファレンス室
17	【前期】7 月 月、木 10:35-11:55				顎の炎症性疾患を診断する			
18	【前期】7 月 月、木 10:35-11:55				歯牙硬組織疾患を診断する			
19	【前期】7 月 月、木 10:35-11:55				歯周組織疾患を診断する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
20	【前期】 7 月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合を診断する			
21	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55	廣藤卓雄 米田雅裕	ユニット 3 治療計画の 立案	適切と思われる治療法および別の選択肢を提示し患者の自己決定を確認し、治療計画を作成する。	口腔粘膜、軟組織疾患に対して治療法を立案する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく。	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カンファレンス室 総合歯科診療室
22	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				顎の炎症性疾患に対して治療法を立案する			
23	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				歯牙硬組織疾患に対して治療法を立案する			
24	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患に対して治療法を立案する			
25	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合に対して治療法を立案する			
26	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				妥当な治療法をすべて患者に提示する			
27	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				患者の自己決定を尊重する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
28	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				患者の自己決定を確認する			
29	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				患者の QOL に配慮する			
30	【後期】 10～2 月 月、木 10:35- 11:55				一口腔単位の治療計画を作成する			

総合歯科学実習①

前期３０コマ（実習１：２単位）
評価責任者：廣藤卓雄

〔担当教員〕
廣藤卓雄、米田雅裕、

〔一般目標〕
1. 口臭の原因や検査・診断法について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 口臭の分類と診療に関する基本的な知識を理解する。
2. 歯科心身症としての口臭症、全身疾患由来の口臭について理解を深める。

〔教科書・参考書〕
参考書
八重垣 健編「臨床家のための口臭治療のガイドライン」クインテッセンス出版株式会社 2000 年
梅本俊夫　他編「図説口腔微生物学」学建書院 2004 年
総合歯科症例集
〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%。実習点 60%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習１・ 口臭の分類と診察	口臭の分類と診療に関する基本的な知識を理解する	口臭の原因、分類と診療に関する基本的な知識を習得する	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
2	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				口臭クリニックを見学し、口臭の診療の流れを習得する			
3	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				各種測定機器の原理、測定法を習得する			
4	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				口臭の診断に必要な口腔内診査を理解し、習得する			
5	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習１・ 口臭の分類と診察	口臭の分類と診療に関する基本的な知識を理解する	検査結果をもとに診断する	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
6	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				心療内科と精神科についての基本的な知識を理解する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				口臭恐怖症以外の歯科領域における歯科心身症について理解する			
8	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				患者の心理状態の検査、分析法の基本的知識を理解する			
9	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				全身疾患と口臭の関係について基本的な知識を身につける			
10	【前期】 4, 5 月 火、水 13:00- 17:30				口臭に関連する英語論文のプレゼンテーションを行う			

総合歯科学実習②

前期３０コマ（実習２：２単位）
評価責任者：廣藤卓雄

〔担当教員〕
廣藤卓雄、米田雅裕、

〔一般目標〕
1. 口臭の原因や検査・診断法について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 口臭と口腔内細菌との関係を理解する。
2. 歯科心身症としての口臭症、全身疾患由来の口臭について理解を深める。

〔教科書・参考書〕
参考書
八重垣 健編「臨床家のための口臭治療のガイドライン」クインテッセンス出版株式会社 2000 年
梅本俊夫　他編「図説口腔微生物学」学建書院 2004 年
総合歯科細菌実験集
〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%。実習点 60%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習２・ 口臭と口腔内細菌	口臭と口腔内細菌との関係を理解する	口臭と口腔内細菌の関係について基本的な知識を習得する	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
12	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30				嫌気性菌培養のための培地を作製し、*Porphyromonas gingivalis* を凍結保存株から培養する			
13	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30				*Porphyromonas gingivalis* 培養液を希釈してガスクロマトグラフィーで測定する			
14	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30				口臭を測定直後、唾液を培地に塗布して嫌気培養する			
15	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30				培地に生えたコロニーを数種類選び、液体培地に移して嫌気培養する			
16	【前期】 6, 7 月 火、水 13:00- 17:30				コロニーの種類による VSC 産生量の違いを調べる			

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
17	【前期】6, 7 月 火、水 13:00-17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習２・口臭と口腔内細菌	口臭と口腔内細菌との関係を理解する	口臭を測定直後、唾液を採取し、唾液から細菌 DNA を抽出する	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
18	【前期】6, 7 月 火、水 13:00-17:30				唾液より抽出した DNA を鋳型に用いて、歯周病細菌を PCR 検出する			
19	【前期】6, 7 月 火、水 13:00-17:30				口臭・口腔細菌に関連する英語論文の発表を行う			
20	【前期】6, 7 月 火、水 13:00-17:30				口臭に関連する英語論文の発表を行う			

総合歯科学実習③

後期３０コマ（実習３：２単位）
評価責任者：廣藤卓雄

〔担当教員〕
廣藤卓雄、米田雅裕、

〔一般目標〕
1. 口臭の原因や検査・診断法について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 歯科心身症としての口臭症、全身疾患由来の口臭について理解を深める。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
八重垣 健編「臨床家のための口臭治療のガイドライン」クインテッセンス出版株式会社 2000 年
梅本俊夫　他編「図説口腔微生物学」学建書院 2004 年
総合歯科症例集
〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%。実習点 60%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
21	【後期】10～2 月月 13:00~17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習３・口臭治療	診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する	総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
22	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する			
23	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う			
24	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する			
25	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う			
26	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する			

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
27	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う			
28	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する			
29	【後期】10～2 月月 13:00~17:30	廣藤卓雄 米田雅裕	実習３・口臭治療	診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する	総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う	各自、関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科学講座研究室 口臭クリニック
30	【後期】10～2 月月 13:00~17:30				前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する			

高齢者歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：内藤　徹

〔担当教員〕
内藤　徹、梅崎陽二朗、山口真広

〔一般目標〕
高齢者の社会的状況および全身的状態を把握し、高齢者に頻発する合併疾患の基本的な理解と対処法を習得する。

〔授業到達目標〕
①高齢社会の問題点を理解する。
②高齢者に多い疾患の病態、病因、治療法、歯科治療上の留意点を理解する。

〔教科書・参考書〕
1.　日本老年医学会　編、「老年医学　系統講義テキスト」、西村書店、2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	前期4月～5月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎	ユニット1 超高齢社会の問題点	日本の高齢社会の社会的現状とその問題点を理解する。	1 高齢者の社会的現状を説明する。 2 高齢者の社会的現状とその問題点を説明する。 3 精神的・心理的要因とその対応を説明する。 4 高齢社会の対応と今後の対策について説明する。	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室
6～10	前期5月～6月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 高齢者に頻発する疾患	高齢者に頻発する疾患を理解する。	1 歯科受診時の患者・家族への初期対応を説明する。 2 高齢者に多い全身疾患について文献調査を行う。 3 高齢者に多い全身疾患と口腔との関連を説明する。 4 高齢者に多い全身疾患と口腔との関連を説明する。 5 全身疾患と歯科受診時のリスクについて説明する。	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室
11～15	前期6月～7月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 高齢者医療のリスク	高齢者の治療上のリスクとその回避法について理解する。	1 ハイリスク患者の観血的処置時の状況を説明する。 2 全身疾患と歯科処置時の問題点について文献調査を行う。 3 高齢者の口腔ケアと全身的な合併症の関連について文献調査を行う。 4 高齢者の口腔の健康の維持に関する介入	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					研究の文献調査を行う。 5 高齢者の包括的 QOL と口腔関連 QOL に関する文献調査を行う。 6 文献調査のまとめを行い、高齢者に望まれる歯科医療体制に関する考察を行う。			

高齢者歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：内藤　徹

〔担当教員〕
内藤　徹、梅崎陽二朗、山口真広

〔一般目標〕
要介護高齢者の介護上の問題点および全身的状態を把握し、地域の医療機関および多職種と連携して治療にあたるための基礎的な知識と方法を習得する。

〔授業到達目標〕
①介護保険の概要を理解する。
②地域包括ケアシステムを理解する。

〔教科書・参考書〕
1.　日本老年医学会　編、「老年医学　系統講義テキスト」、西村書店、2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	後期9月～10月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎	ユニット1 要介護高齢者の社会的現状とその問題点	要介護高齢者の社会的現状とその問題点を理解する。	1 要介護高齢者の社会的現状を説明する。 2 要介護高齢者に対する社会保障の現状を説明する。 3 訪問看護の現状を説明する。 4 要介護高齢者への対応と今後の対策について説明する。	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室
6～10	後期10月～11月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 要介護高齢者への介護と福祉サービス	要介護高齢者に対する医療と福祉を理解する。	1 介護保険制度を説明する。 2 高齢者の長期療養サービスを説明する。 3 福祉サービスを説明する。 4 地域包括ケアシステムを説明する。 5 施設ケアについて説明する。	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室
11～15	後期11月～12月木曜日いずれも5限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 高齢者の緩和医療と終末期医療	高齢者の緩和医療と終末期医療について理解する。	1 高齢者の緩和医療を説明する。 2 高齢者の終末期医療の重要性について調査を行う。 3 文献調査のまとめを行い、高齢者に望まれる医療体制に関する考察を行う。	老年医学　系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学系統講義テキスト	高齢者歯科セミナー室

高齢者歯科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：内藤　徹

〔担当教員〕
内藤　徹、梅崎陽二朗、山口真広

〔一般目標〕
要介護高齢者の歯科診療に必要な介護の基礎的な理論を理解し、介護基本技法を習得する。

〔授業到達目標〕
①訪問歯科診療時に必要な、介護のための基本的な技法を習得する。

〔教科書・参考書〕
1. 内藤徹、秋竹純、牧野路子、水谷慎介：高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル、医歯薬出版、2017
2. 日本老年医学会　編、「老年医学　系統講義テキスト」、西村書店、2013

〔成績評価の方法・基準〕
実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	前期4月～5月水曜日いずれも1、2限	内藤 梅崎 山口	ユニット1 認知症高齢者とのコミュニケーション	認知症高齢者とのコミュニケーション法を理解する。	1 認知症高齢者との言語的コミュニケーションを行う。 2 認知症高齢者との非言語的コミュニケーションを行う。 3 認知症高齢者に脱感作法を実施する。	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護介助の基本スキル	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設
6～10	前期5月～6月水曜日いずれも1、2限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 要介護高齢者の身体介助	要介護高齢者のベッドからの移乗や歩行介助、食事介助を実施する。	1 要介護高齢者のベッドからの移乗ができる。 2 要介護高齢者の歩行介助ができる。 3 要介護高齢者の食事介助ができる。	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護介助の基本スキル	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設
11～15	前期6月～7月水曜日いずれも1、2限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 要介護高齢者の口腔ケア	要介護高齢者の口腔ケアができる。	1 要介護高齢者の口腔ケアができる。	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護介助の基本スキル	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設

高齢者歯科学実習②

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：内藤　徹

〔担当教員〕
内藤　徹、梅崎陽二朗、山口真広

〔一般目標〕
要介護高齢者に対応した、施設における歯科治療の技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①訪問歯科診療時に必要な、要介護高齢者に対応した歯科治療の基本的な技法を習得する。

〔教科書・参考書〕
1. 内藤徹、秋竹純、牧野路子、水谷慎介：高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル、医歯薬出版、2017
2. 日本老年医学会　編、「老年医学　系統講義テキスト」、西村書店、2013

〔成績評価の方法・基準〕
実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	後期 9 月～10 月いずれも 1～5 限	内藤 梅崎 山口	ユニット 1 有病高齢者の歯科診療	有病高齢者に対して実際の施設等での歯科的対応を理解し修得する。	1. 実際の施設等での歯科的対応を理解する。 2. 施設における患者の生活状況を説明する。 3. 施設での口腔ケア等の取り組みを説明する。 4. 施設での歯科診療の実際を理解し、習得する。 5. 重度認知症を有する要介護高齢者の歯科診療の実際を理解し、習得する。 6. 神経筋疾患を有する要介護高齢者の歯科診療の実際を理解し、習得する。	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護介助の基本スキル 老年医学　系統講義 テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護介助の基本スキル 老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設

高齢者歯科学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：内藤　徹

〔担当教員〕
内藤　徹、梅崎陽二朗、山口真広

〔一般目標〕
要介護高齢者に対応した摂食嚥下障害の評価とリハビリテーションの技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①嚥下内視鏡の操作と読影ができる。
②ビデオ嚥下造影の読影ができる。
③嚥下リハビリテーションの手技を実施できる。

〔教科書・参考書〕
1. 植松　宏監修、「訪問歯科診療ではじめる　摂食・嚥下障害へのアプローチ」、医歯薬出版、2007

〔成績評価の方法・基準〕
実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	後期 10 月～11 月 いずれも 3, 4, 5 限	内藤 梅崎 山口	ユニット 1 摂食嚥下障害の評価	摂食嚥下障害の評価を実施する。	1. 摂食嚥下障害患者のスクリーニングを行うことができる。 2. 摂食嚥下障害患者の内視鏡検査を実施することができる。 3. 摂食嚥下障害患者のビデオ嚥下造影を読影することができる。	訪問歯科診療ではじめる　摂食・嚥下障害へのアプローチ テキストの該当部分に目を通す。	訪問歯科診療ではじめる　摂食・嚥下障害へのアプローチ	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設
16～30	後期 11 月～1 月 いずれも 3, 4, 5 限	内藤 梅崎 山口	ユニット 2 摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害患者のリハビリテーションを実施する。	1. 摂食嚥下障害患者の間接訓練を行うことができる。 2. 摂食嚥下障害患者の直接訓練を行うことができる。 3. 摂食嚥下障害患者のリハビリテーション後の評価を行うことができる。	訪問歯科診療ではじめる　摂食・嚥下障害へのアプローチ テキストの該当部分に目を通す。	訪問歯科診療ではじめる　摂食・嚥下障害へのアプローチ	高齢者歯科外来診療室 保健福祉短大介護実習室 関連老健施設

訪問歯科・全身管理歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：森田浩光

〔担当教員〕
森田浩光、牧野路子

〔一般目標〕
全身疾患を有する患者を安全に診療するために、歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の基本的な理解と対処法を修得する。

〔授業到達目標〕
歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。

〔教科書・参考書〕
1.　今井　裕、岩渕博史　監修「有病者歯科学」永末書店　2018
2．西田百代　監修　「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」　クインテッセンス出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～4	前期4月～5月木曜	森田 牧野	ユニット1 全身状態の評価法	全身状態を把握するために評価法を理解する。	1 全身状態を把握する評価法を説明する。 2 検体検査について説明する。 3 生体機能検査について説明する。	有病者歯科学の該当部分に目を通す。	有病者歯科学	総合歯科カンファレンス室
5～9	前期5月～6月木曜	森田 牧野	ユニット2 循環器疾患1	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 高血圧症の病態、病因、治療方法を説明する。 2 高血圧症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 不整脈の病態、病因、治療方法を説明する。 4 不整脈の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 5 虚血性心疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 6 虚血性心疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
10～13	前期7月木曜	森田 牧野	ユニット3 循環器疾患2	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 心臓弁膜症・感染性心内膜炎の病態、病因、治療方法を説明する。 2 心臓弁膜症・感染性心内膜炎の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 心不全の病態、病因、治療方法を説明する。 4 心不全の歯科治療時のリスク・偶発症への	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					対処法を説明する。			
14 ～ 15	前期 ８月 第２、 ４木曜	森田 牧野	ユニット４ 代謝性疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 糖尿病の病態、病因、治療方法を説明する。 2 糖尿病の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

訪問歯科・全身管理歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：森田浩光

〔担当教員〕
森田浩光、牧野路子

〔一般目標〕
全身疾患を有する患者を安全に診療するために、歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の基本的な理解と対処法を修得する。

〔授業到達目標〕
歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 今井　裕、岩渕博史　監修「有病者歯科学」永末書店　2018
2．西田百代　監修　「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」　クインテッセンス出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	後期 9月～10月 第２、４木曜	森田 牧野	ユニット1 脳血管疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 脳卒中の病態、病因、治療方法を説明する。 2 脳卒中の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
6～7	後期 11月 第2,4木曜	森田 牧野	ユニット2 内分泌疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 甲状腺疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 2 甲状腺疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
8～9	後期 12月 第２、４木曜	森田 牧野	ユニット3 腎疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 慢性腎臓病の病態、病因、治療方法を説明する。 2 慢性腎臓病の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
10～11	後期 1月 第２、４木曜	森田 牧野	ユニット4 肝疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 肝疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 2 肝疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
12～13	後期 2月 第２、４木曜	森田 牧野	ユニット5 精神・心身医学疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 認知症の病態、病因、治療方法を説明する。 2 認知症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 歯科心身症の病態、病因、治療方法を説明す	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					る。 4 歯科心身症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。			
14～15	後期 ３月 第２、４木曜	森田 牧野	ユニット６ がん	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 がんの病態、病因、治療方法を説明する。 2 がんの歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

訪問歯科・全身管理歯科学実習①

前期３０コマ（実習１：２単位）
評価責任者：森田浩光

〔担当教員〕
森田浩光、牧野路子、堤　貴司

〔一般目標〕
全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 周術期等口腔機能管理を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 今井　裕、岩渕博史　監修「有病者歯科学」永末書店　2018
2．西田百代　監修　「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」　クインテッセンス出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	前期 月・水曜 13:00-17:30	森田 牧野 堤	実習 1 訪問歯科（高度急性期）	周術期等口腔機能管理を行うために必要な知識・技能・態度を修得する。	1 全身状態の評価法を列挙する。 2 症例に応じた医療情報を選択する。 3 必要に応じた医療情報を収集する。 4 周術期等口腔機能管理を実践する。	関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書を参照	訪問歯科センター医局・済生会福岡総合病院

訪問歯科・全身管理歯科学実習②

前期３０コマ（実習２：２単位）
評価責任者：森田浩光

〔担当教員〕
森田浩光、牧野路子、堤　貴司

〔一般目標〕
全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 訪問歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 今井　裕、岩渕博史　監修「有病者歯科学」永末書店　2018
2．西田百代　監修　「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」　クインテッセンス出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	前期 火・金曜 9:00-12:00	森田 牧野 堤	実習 2 訪問歯科（地域密着型急性期・慢性期）	地域包括ケアシステムの中で歯科訪問診療を行うために必要な知識・技能・態度を修得する。	1 全身状態の評価法を列挙する。 2 症例に応じた医療情報を選択する。 3 必要に応じた医療情報を収集する。 4 歯科訪問診療・口腔ケアを実践する	関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書を参照	訪問歯科センター医局・福西会病院・サンシャインプラザ

訪問歯科・全身管理歯科学実習③

後期３０コマ（実習３：２単位）
評価責任者：森田浩光

〔担当教員〕
森田浩光、牧野路子、堤　貴司

〔一般目標〕
全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

〔授業到達目標〕
1. 歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 今井　裕、岩渕博史　監修「有病者歯科学」永末書店　2018
2．西田百代　監修　「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」　クインテッセンス出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	後期 火・木曜 9:00-12:00	森田 牧野 堤	実習 3 全身管理歯科 （外来・在宅）	実際の症例で診療計画を立案し、検討する。	1 実際の症例で、医療面接・情報収集・治療計画の立案をする。 2 訪問歯科センターの症例カンファレンスで治療計画を発表する。 3 計画した治療計画を実施する。	関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書を参照	訪問歯科センター医局・総合歯科外来・居宅

歯科保存学講義①

前期１５コマ（ユニット１～１０：２単位）
評価責任者：阿南　壽

〔担当教員〕
阿南　壽

〔一般目標〕
歯髄および根尖部歯周組織における炎症の増悪化および創傷治癒におけるサイトカイン、増殖因子の関連性について理解するとともに、これらに関する英語文献を抄読し討論することにより、最新の生物学的歯内治療学に関する基礎的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①歯髄および根尖性歯周組織疾患の発症機序を免疫学的に説明できる。
②歯髄および根尖性歯周組織疾患の創傷治癒とサイトカインネットワークについて説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. Journal of Endodontics
2. International Endodontic Journal
3. Journal of Periodontal Research
4. 日本炎症・再生医学会雑誌　炎症・再生
5. エンドのための重要 20 キーワードベスト 240 論文 2015 クインテッセンス出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、各テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	前期4月、5月木曜日16:00～17:20	阿南　壽	ユニット１歯髄および根尖部歯周組織の形態学的特徴	歯髄および根尖性歯周組織疾患の免疫学的発症機序について理解する。	歯髄および根尖部歯周組織の形態学的特徴を説明できる。	「エンドのための重要 20 キーワードベス 240 論文」を用いて関連事項をノートに整理する。	「エンドのための重要20キーワードベス 240 論文」 Journal of Endodontics	歯科保存学分野セミナー室
2		阿南　壽	ユニット２歯髄の免疫担当細胞		歯髄における免疫担当細胞を説明できる。			
3		阿南　壽	ユニット３根尖部歯周組織の免疫担当細胞		根尖部歯周組織における免疫担当細胞を説明できる。			
4		阿南　壽	ユニット４歯髄疾患と炎症性サイトカイン		歯髄疾患に関与する炎症性サイトカインを説明できる。			
5		阿南　壽	ユニット５根尖性歯周疾患と炎症性サイトカイン		根尖性歯周疾患に関与する炎症性サイトカインについて説明できる			

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6	前期4月、5月木曜日16:00～17:20	阿南　壽	ユニット６論文内容のまとめと説明	歯髄および根尖性歯周組織疾患の免疫学的発症機序について理解する。	論文内容を簡潔にまとめる	関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「エンドのための重要20キーワードベス 240論文」 Journal of Endodontics	歯科保存学分野セミナー室
7		阿南　壽			論文内容を簡潔にまとめ、根尖性歯周疾患の免疫学的発症機序に関する最新の情報について説明できる。			
8	前期6月、7月木曜日16:00～17:20	阿南　壽	ユニット７創傷治癒過程における免疫担当細胞	歯髄および根尖性歯周組織疾患の創傷治癒におけるサイトカインネットワークについて理解する。	創傷治癒過程における免疫担当細胞を説明できる(1)。	「エンドのための重要 20 キーワードベス 240 論文」を用いて関連事項をノートに整理する。		
9		阿南　壽			創傷治癒過程における免疫担当細胞を説明できる(2)。			
10		阿南　壽	ユニット８抗炎症性サイトカイン		抗炎症性サイトカインについて説明できる(1)。			
11		阿南　壽			抗炎症性サイトカインについて説明できる(2)。			
12		阿南　壽	ユニット９創傷治癒過程における増殖因子		創傷治癒過程における増殖因子について説明できる(1)。			
13		阿南　壽			創傷治癒過程における増殖因子について説明できる(2)。			
14		阿南　壽	ユニット10論文内容のまとめと説明		論文内容を簡潔にまとめる。	関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。		
15		阿南　壽			論文内容を簡潔にまとめ、歯髄および根尖性歯周組織疾患の創傷治癒過程に関する最新の情報を説明できる。			

歯科保存学講義②

後期１５コマ（ユニット１～１０：２単位）
評価責任者：阿南　壽

〔担当教員〕
阿南　壽

〔一般目標〕
歯髄および根尖部歯周組織の再生におけるサイトカイン、増殖因子の関連性と、生体材料および人工材料の応用と開発について理解するとともに、これらに関する英語文献を抄読し討論することにより、最新の生物学的歯内治療学に関する基礎的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①歯髄および根尖部歯周組織の再生について説明できる。
②英語論文を用いて組織再生剤や生体活性ガラス等の人工材料に関する情報について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. Journal of Endodontics
2. International Endodontic Journal
3. Journal of Periodomtal Research
4. 日本炎症・再生医学会雑誌　炎症・再生
5. エンドのための重要 20 キーワードベスト 240 論文 2015 クインテッセンス出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、各テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	後期 10 月～12 月木曜日 13:00～14:20	阿南　壽	ユニット１組織再生の基本的メカニズム	歯髄および根尖部歯周組織の再生について理解する。	組織再生の基本的メカニズムについて説明できる(1)。	「エンドのための重要 20 キーワードベスト 240 論文」を用いて関連事項をノートに整理する。 関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「エンドのための重要 20キーワードベスト 240 論文」 Journal of Endodontics	歯科保存学分野セミナー室
2		阿南　壽			組織再生の基本的メカニズムについて説明できる(2)。			
3		阿南　壽	ユニット２象牙質再生		象牙質再生について説明できる(1)。			
4		阿南　壽			象牙質再生について説明できる(2)。			
5		阿南　壽	ユニット３根尖部歯周組織再生		根尖部歯周組織再生について説明できる(1)。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6		阿南　壽	ユニット３ 根尖部歯周組織再生	歯髄および根尖部歯周組織の再生について理解する。	根尖部歯周組織再生について説明できる(2)。	「エンドのための重要 20 キーワードベスト 240 論文」を用いて関連事項をノートに整理する。 関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「エンドのための重要20キーワードベスト240論文」 Journal of Endodontics	歯科保存学分野セミナー室
7		阿南　壽	ユニット４ 歯周組織再生剤と歯根膜細胞		歯周組織再生剤の歯根膜細胞への効果を説明できる。			
8		阿南　壽	ユニット５ 歯周組織再生剤と骨芽細胞		歯周組織再生剤の骨芽細胞への効果を説明できる。			
9		阿南　壽	ユニット６ 論文内容のまとめと説明		論文内容を簡潔にまとめる。			
10		阿南　壽			論文内容を簡潔にまとめ、根尖性歯周疾患の免疫学的発症機序に関する最新の情報について説明できる。			
11	後期 1 月、 2 月 木曜日 13:00 ～ 14:20	阿南　壽	ユニット７ 生体活性ガラス	人工材料に関する最新の英語論文を抄読し討論することにより、新しい組織再生に関する情報や考え方について理解する。	生体活性ガラスについて説明できる。			
12		阿南　壽	ユニット８ ＭＴＡ		ＭＴＡについて説明できる。			
13		阿南　壽	ユニット９ 人工材料と骨組織修復		人工材料の骨組織修復に及ぼす効果について説明できる。			
14		阿南　壽	ユニット 10 論文内容のまとめと説明		論文内容を簡潔にまとめる。			
15		阿南　壽			論文内容を簡潔にまとめ、根尖性歯周疾患の免疫学的発症機序に関する最新の情報について説明できる。			

歯科保存学実習①
（臨床基礎演習）

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：阿南　壽

〔担当教員〕
阿南　壽

〔一般目標〕
　齲蝕および歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の病態について理解し、診査法、診断、治療方針、治療方法について習得する。

〔授業到達目標〕
①齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の検査法を習得する。
②齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の鑑別診断法について説明する。
③齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患のスタンダードな治療法を習得する。
④外科的歯内療法の適応症について説明し、その技術を習得する。

〔教科書・参考書〕
1. Hargreaves KM, Berman LH 編「Pathways of the Pulp 11th ed.」Mosby 2016
2. Bergenholtz G 編「Textbook of Endodontology」Blackwell 2003
3. Bellizzi R, Loushine R 編「A Clinical Atlas of Endodontic Surgery」Quintessence 1991
4. 興地隆史，須田英明，中村　洋編　「エンドドンティクス 第５版」 永末書店 2018.
5. 千田　彰，寺下正道，寺中敏夫，宮崎真至編　「保存修復学第６版」医歯薬出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕
　出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	前期 4 月～ 7 月 火曜日 9:00～ 11:55	阿南　壽	ユニット１ 齲蝕･歯髄疾患の検査､診断､治療方針の立案､簡単な齲蝕および歯内療法	齲蝕･歯髄疾患の診査、診断、治療方針､治療方法について理解し､その技術を習得する。	[1～30 コマ] ①齲蝕･歯髄疾患の診査法を習得する。 ②齲蝕･歯髄疾患の診断法を習得する。 ③齲蝕･歯髄疾患の治療方針を習得する。 ④齲蝕･歯髄疾患の治療方法を習得する。 ⑤コンポジットレジン修復法を習得する。 ⑥コンポジットレジンインレー修復法を習得する。 ⑦メタルインレー修復法を習得する。	「エンドドンティクス　第 5 版」および「保存修復学第 6 版」を用いて関連事項をノートに整理する。 関連するキーワードをインターネット検索し、ノートにまとめておく。	「エンドドンティクス第 5 版」および「保存修復学第 6 版」	保存科診療室、医員技工室

歯科保存学実習②
（臨床基礎演習）

後期３０コマ（ユニット２～３：２単位）
評価責任者：阿南　壽

〔担当教員〕
阿南　壽

〔一般目標〕
　齲蝕および歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の病態について理解し、診査法、診断、治療方針、治療方法について習得する。

〔授業到達目標〕
①齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の検査法を習得する。
②齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の鑑別診断法について説明する。
③齲蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患のスタンダードな治療法を習得する。
④外科的歯内療法の適応症について説明し、その技術を習得する。

〔教科書・参考書〕
1. Hargreaves KM, Berman LH 編「Pathways of the Pulp 11th ed.」Mosby 2016
2. Bergenholtz G 編「Textbook of Endodontology」Blackwell 2003
3. Bellizzi R, Loushine R 編「A Clinical Atlas of Endodontic Surgery」Quintessence 1991
4. 興地隆史，須田英明，中村　洋編 「エンドドンティクス 第５版」 永末書店 2018.

〔成績評価の方法・基準〕
　出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～18	後期 10 月～12 月 火曜日 9:00～11:55	阿南　壽	ユニット２ 根尖性歯周組織疾患の検査、診断、治療方針の立案および感染根管治療	根尖性歯周組織疾患の検査、診断、治療方針、治療方法について理解し、その技術を習得する。	[1～18 コマ] ①根尖性歯周組織疾患の診査法を習得する。 ②根尖性歯周組織疾患の診断法を習得する。 ③根尖性歯周組織疾患の治療方針を習得する。 ④根尖性歯周組織疾患の治療方法を習得する。	「エンドドンティクス第５版」および「Pathways of the Pulp 11th ed.」を用いて関連事項をノートに整理する。	「エンドドンティクス第 5 版」「Pathways of the Pulp 11th ed.」	保存科診療室、医員技工室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
19 ～ 30	後期 1月 ～ 2月 水曜日 9:00～ 11:55	阿南　壽	ユニット3 外科的歯内療法	外科的歯内療法の適応症を理解し、その技術を習得する。	[19～30 コマ] ①外科的歯内療法の意義および目的について説明できる。 ②マイクロ CT-3DX を用いた診断法を習得する。 ③外科的歯内療法の種類を列挙し、適応症について理解するとともに、各術式を習得する。 ④外科的歯内療法後の歯の修復とメインテナンスについて習得する。	「エンドドンティクス第5版」および「Pathways of the Pulp 11th ed.」を用いて関連事項をノートに整理する。	「エンドドンティクス第5版」「Pathways of the Pulp 11th ed.」	保存科診療室、医員技工室

歯科保存学実習③
（臨床歯内療法実習）

後期３０コマ（ユニット１～１４：２単位）
評価責任者：阿南　壽

〔担当教員〕
阿南　壽

〔一般目標〕
　スタンダードな根管治療から発展した最新の根管治療の基礎的な理論を理解するとともに、臨床における根管治療難症例への対応法について習得する。

〔授業到達目標〕
①根管内嫌気性菌培養試験法について理解し、その技術を習得する。
②彎曲根管形成法であるステップバック法について理解し、その技術を習得する。
③ニッケルチタンファイルを用いたクラウンダウン法について理解し、その技術を習得する。
④英語文献を用いて最新の歯内療法に関する情報について説明する。

〔教科書・参考書〕
1. Hargreaves KM, Berman LH 編「Pathways of the Pulp 11th ed.」Mosby 2016
2. Bergenholtz G 編「Textbook of Endodontology」Blackwell 2003
3. 須田英明総監訳「バイオロジーに基づいた実践歯内療法学」クインテッセンス出版 2007
4. 福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」永末書店 2004
5. 小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」医歯薬出版 2003

〔成績評価の方法・基準〕
　出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2	後期 10 月、11 月金曜日 13:00～15:55	阿南　壽	ユニット１根管内嫌気性菌培養試験法の理論	根管内嫌気性菌培養試験法について理解し､その技術を習得する。	1. 根管内嫌気性菌培養試験法の理論を説明する。 2. 根管内から試料を採取することにより、血液寒天培地を用いたチェアーサイド嫌気性菌培養試験法に習熟する。 3. 嫌気性菌のコロニーの状態について評価する。 4. 抗菌剤による感受性試験に習熟する。 5. 嫌気性菌のコロニーの変化について説明する。	・文献検索 ･福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」を用いて関連事項をノートに整理する。	福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」	歯科保存学分野研究室
3 4			ユニット２試料採取と血液寒天培地					
5 6			ユニット３血液寒天培地上のコロニーの観察					

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7 8	後期 10 月、 11 月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南　壽	ユニット４ 抗菌剤による感受性試験	根管内嫌気性菌培養試験法について理解し､その技術を習得する。	1. 根管内嫌気性菌培養試験法の理論を説明する。 2. 根管内から試料を採取することにより、血液寒天培地を用いたチェアーサイド嫌気性菌培養試験法に習熟する。 3. 嫌気性菌のコロニーの状態について評価する。 4. 抗菌剤による感受性試験に習熟する。 5. 嫌気性菌のコロニーの変化につい説明する。	・文献検索 ･福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」を用いて関連事項をノートに整理する。	福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」	歯科保存学分野研究室
9 10			ユニット５ 嫌気性菌培養試験課のまとめ					
11 12	後期 11 月、 12 月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南　壽	ユニット６ 湾曲根管形成法理論	彎曲根管形成法であるステップバック法について理解し､その技術を習得する。	1. 彎曲根管形成法であるステップバック法について説明する。 2. アクセス窩洞形成に習熟する。 3. 彎曲根管模型（彎曲 30°）を用いたステップバック法に習熟する。 4. 大臼歯根管模型を用いたステップバック法に習熟する。	・文献検索 ･小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」を用いて関連事項をノートに整理する。	小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」	歯科保存学分野研究室
13 14			ユニット７ アクセス窩洞形成法					
15 16			ユニット８ 彎曲根管模を用いたステップバック法					
17 18			ユニット９ 大臼歯根管模型を用いたステップバック法					

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
19 20	後期 1月、2月 水曜日 13:00 ～ 15:55	阿南　壽	ユニット10 ニッケルチタンロータリーファイル	ニッケルチタンロータリーファイルを用いた彎曲根管形成法について理解し、その技術を習得する。	ニッケルチタンロータリーファイルを用いた彎曲根管形成法であるクラウンダウン法について説明する。	「エンドのための重要20キーワードベス240論文」を用いて関連事項をノートに整理する。 関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「エンドのための重要20キーワードベス240論文」	歯科保存学分野研究室
21 22			ユニット11 アクセス窩洞形成		アクセス窩洞形成に習熟する。			
23 24			ユニット12 彎曲根管模型の形成		ニッケルチタンロータリーファイルを用いて彎曲根管模型（彎曲30°）に対するクラウンダウン法に習熟する。			
25 26			ユニット13 大臼歯根管模型の形成		大臼歯根管模型を用いたニッケルチタンロータリーファイルによる根管形成法に習熟する。			
27 28 29 30	後期 2月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南　壽	ユニット14 文献抄読	英語文献を用いて最新の歯内療法に関する情報について説明する。	1.「Pathways of the Pulp 11th ed.」を用いて最新の根管形成法について説明する。 2．「Textbook of Endodontology」を用いて最新の根管形成法について説明する。	「Pathways of the Pulp 11th ed.」 「Textbook of Endodontology」のキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「Pathways of the Pulp 11th ed.」 「Textbook of Endodontology」	歯科保存学分野セミナー室

歯周病学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：坂上竜資

〔担当教員〕
坂上竜資、吉永泰周

〔一般目標〕
辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に　付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を、文献的考察に根ざしクリティカルに診断し、さらに科学的な根拠にもとづいた治療計画を立案して、「個の医療」としての歯周治療を実現するための体系的な基盤を培う。

〔授業到達目標〕
1. 歯周疾患は多型であることを踏まえた歯周病の病因論の研究の歴史を概観できる。
2. 歯周疾患の多型の源をどう診断し、治療するかについての考え方を説明できる
3. 細菌学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
4. 免疫学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
5. 宿主－細菌相互作用の観点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
6. 外傷性咬合・結合組織代謝の視点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。
7. 他科分野において実現されているテーラーメイド医療について概観できる
8. 個の医療を実現するための歯周診断法について説明できる

〔教科書・参考書〕
参考書
Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、　2005
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700 円）
テキスト
毎回のテーマに沿ったレビュー・文献などを指定する

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/7 ３限	坂上 竜資	ユニット１ 病因論	歯周疾患の病因論を理解する。	歯周疾患は多型であることを踏まえた歯周病の病因論の研究の歴史を概観できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
2	4/14 ３限	吉永 泰周						
3	4/21 ３限	坂上 竜資	ユニット２ 病因論の研究法と診断への応用	歯周疾患の病因論の研究法とその成果の診断への応用について理解する。	歯周疾患の多型の源をどう診断し、治療するかについての考え方を説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
4	4/28 ３限	吉永 泰周						

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	5/12 ３限	坂上 竜資	ユニット２ 病因論の研究法と診断への応用	歯周疾患の病因論の研究法とその成果の診断への応用について理解する。	細菌学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
6	5/19 ３限	吉永 泰周						
7	5/26 ３限	坂上 竜資			免疫学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。			
8	6/2 ３限	吉永 泰周						
9	6/9 ３限	坂上 竜資			宿主－細菌相互作用の観点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。			
10	6/16 ３限	吉永 泰周						
11	6/23 ３限	坂上 竜資			外傷性咬合・結合組織代謝の視点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。			
12	6/30 ３限	吉永 泰周						
13	7/7 ３限	坂上 竜資	ユニット３	歯周治療における「個の医療」の実現のための診断ができる。	他科分野において実現されているテーラーメイド医療について概観できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」と「歯周病患者における再生治療のガイドライン」を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」と「歯周病患者における再生治療のガイドライン」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
14	7/14 ３限	吉永 泰周						
15	7/21 ３限	坂上 竜資			個の医療を実現するための歯周診断法について説明できる。			

歯周病学講義②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：坂上竜資

〔担当教員〕
坂上竜資、吉永泰周

〔一般目標〕
辺縁性歯周組織疾患の治療方法について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、科学的な根拠にもとづいて治療法を選択し「個の医療」を実現するための体系的な基盤を培う。

〔授業到達目標〕

1. 治療方針立案のための decision making について説明できる。
2. 歯周基本治療における感染源除去にともなう宿主－細菌相互作用の変化についての科学的根拠を説明できる。
3. 歯周基本治療における外傷力除去にともなう組織代謝の変化についての科学的根拠を説明できる。
4. 歯周外科治療における切除療法による歯周ポケット除去についての科学的根拠を説明できる。
5. 歯周組織再生療法の科学的根拠を説明できる。
6. 組織工学を応用した歯周組織再建療法の展望を説明できる。
7. メインテナンス・supportive periodontal therapy 期における疾患活動性の予測の科学的根拠を説明できる。
8. 歯周治療におけるテーラーメイド医療の可能性を説明できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、 2005
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700 円）

テキスト
毎回のテーマに沿ったレビュー・文献などを指定する。

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	10/6 ３限	坂上 竜資	ユニット１ 科学的な治療	歯周疾患の科学的な治療を理解する。	治療方針立案のための decision making について説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン改訂第 2 版」を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン改訂第 2 版」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
2	10/13 ３限	吉永 泰周						

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
3	10/20 ３限	坂上 竜資	ユニット２ 歯周治療法の科学的根拠	歯周治療法の科学的根拠を理解する。	歯周基本治療における感染源除去にともなう宿主－細菌相互作用の変化についての科学的根拠を説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周病患者における抗菌療法の指針」「歯周病患者における再生治療のガイドライン」の２冊を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周病患者における抗菌療法の指針」「歯周病患者における再生治療のガイドライン」	歯周病学講座セミナー室 ３０１教室
4	10/27 ３限	吉永 泰周						
5	11/10 ３限	坂上 竜資			歯周基本治療における外傷力除去にともなう組織代謝の変化についての科学的根拠を説明できる。			
6	11/17 ３限	吉永 泰周						
7	11/24 ３限	坂上 竜資			歯周外科治療における硬組織切除・軟組織形態修正の術式による歯周ポケット除去についての科学的根拠を説明できる。			
8	12/1 ３限	吉永 泰周						
9	12/8 ３限	坂上 竜資			歯周組織再生療法の科学的根拠を説明できる。			
10	12/15 ３限	吉永 泰周						
11	12/22 ３限	坂上 竜資			組織工学を応用した歯周組織再建療法の展望を説明できる。			
12	1/5 ３限	吉永 泰周						
13	1/12 ３限	坂上 竜資			メインテナンス・supportive periodontal therapy 期における疾患活動性の予測の科学的根拠を説明できる。			
14	1/19 ３限	吉永 泰周						
15	1/26 ３限	坂上 竜資			歯周治療におけるテーラーメイド医療の可能性を説明できる。			

歯周病学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：坂上竜資

〔担当教員〕
坂上竜資、吉永泰周

〔一般目標〕
辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メインテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

〔授業到達目標〕
①歯周組織検査を行い、その結果を適切に保存する。
②検査結果にもとづいて適切な診断を行い、治療計画を立案する。
③適切な術式を用いて歯周治療（特に歯周初期治療）を行う。
④歯周初期治療の再評価を行い、宿主－細菌相互作用、結合組織代謝の変化を把握する。
⑤適切な術式で歯周外科処置を行い、歯周組織の治癒ならびに歯周組織の再生を観察する。
⑥メインテナンスまたはSPT期の症例において、予後の判定を行い疾患活動性の把握を行う。

〔教科書・参考書〕
参考書
Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、 2005
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト
術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～4	4/9 1～4限	坂上竜資	ユニット１ 歯周組織の診査	歯周組織の診査ができる。	模型を用いた歯周ポケットプロービングができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
5～8	4/16 1～4限	吉永泰周			歯周組織検査（歯周ポケットプロービング・口腔内写真撮影・スナップ印象採得）の相互実習を行う。			
9～12	4/23 1～4限	坂上竜資			画像情報（口腔内写真、エックス線写真）の管理・加工実習の相互実習を行う。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13～16	4/30 1～4限	吉永泰周			歯周組織検査・咬合検査を初診患者で行う。			歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
17～20	5/7 1～4限	坂上竜資			研究用模型の作成を初診患者で行う。			
21～24	5/14 1～4限	吉永泰周			診断情報のデジタル化を初診患者で行う。			
25～28	5/21 1～4限	坂上竜資	ユニット２ 歯周疾患の診断	歯周疾患の診断ができる。	歯周疾患の診断実習を初診患者で行う。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病学講座セミナー室
29～30	5/28 1～2限	吉永泰周			診断ならびに治療計画の根拠となるエビデンスの収集を行う。			

歯周病学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：坂上竜資

〔担当教員〕
坂上　竜資、吉永泰周

〔一般目標〕
辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メインテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

〔授業到達目標〕
①歯周組織検査を行い、その結果を適切に保存する。
②検査結果にもとづいて適切な診断を行い、治療計画を立案する。
③適切な術式を用いて歯周治療（特に歯周初期治療）を行う。

〔教科書・参考書〕
参考書
Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、　2005
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト
術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～2	10/13，4限	坂上竜資	ユニット１歯周組織の診査	歯周組織の診査ができる。	模型を用いた歯周ポケットプロービング実習と文献抄読を行う。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
3～4	10/8 3，4限	吉永泰周			歯周組織検査（歯周ポケットプロービング・口腔内写真撮影・スナップ印象採得）の相互実習と文献抄読を行う。			
5～6	10/15 3，4限	坂上竜資			画像情報（口腔内写真、エックス線写真）の管理・加工実習の相互実習と文献抄読を行う。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7 ～ 10	10/22 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資	ユニット１ 歯周組織の診査	歯周組織の診査ができる。	初診患者の歯周組織検査・咬合検査ができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
11 ～ 14	10/29 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の研究用模型の作成ができる。			
15 ～ 18	11/5 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の診断情報のデジタル化ができる。			
19 ～ 20	11/12 3，4 限	吉永泰周	ユニット２ 歯周疾患の診断	歯周疾患の診断ができる。	初診患者の歯周疾患の診断ができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
21 ～ 22	11/19 3，4 限	坂上竜資			診断ならびに治療計画の根拠となるエビデンスの収集ができる。			
23 ～ 26	11/26 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の歯周治療計画立案ができる。			
27 ～ 30	12/3 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の診断・治療計画の提示とインフォームドコンセントをうけることができる。			

歯周病学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：坂上竜資

〔担当教員〕
坂上　竜資、吉永泰周

〔一般目標〕
辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メインテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

〔授業到達目標〕
①歯周初期治療の再評価を行い、宿主－細菌相互作用、結合組織代謝の変化を把握する。
②適切な術式で歯周外科処置を行い、歯周組織の治癒ならびに歯周組織の再生を観察する。
③メインテナンスまたはSPT期の症例において、予後の判定を行い疾患活動性の把握を行う。

〔教科書・参考書〕
参考書
Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、　2005
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト
術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～4	12/10 1～4限	坂上竜資	ユニット１ 歯周治療	歯周治療ができる。	スケーラーの研磨と模型を用いた再評価検査ができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
		吉永泰周			模型を用いてスケーリング・ルートプレーニングができる。			
5～8	12/17 1～4限	坂上竜資			超音波器具・レーザー機器が操作できる。			
		吉永泰周			患者症例の検討会で発表をする。			
9～12	12/24 1～4限	坂上竜資			模型を用いて歯肉切除術ができる。			
		吉永泰周			模型を用いてフラップ手術ができる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 ～ 16	1/7 １～４ 限	坂上 竜資	ユニット１ 歯周治療	歯周治療ができる。	模型を用いて歯肉弁根尖側移動術ができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
		吉永 泰周			模型を用いて遊離歯肉移植術ができる。			
17 ～ 20	1/14 １～４ 限	坂上 竜資			模型を用いて根面被覆術ができる。			
		吉永 泰周			模型を用いて骨外科ができる。			
21 ～ 24	1/21 １～４ 限	坂上 竜資			模型を用いて歯周組織再生療法ができる。			
		吉永 泰周			歯周外科実習ならびに歯周外科後の再評価検査実習（初診患者症例）。			
25 ～ 28	1/28 １～４ 限	坂上 竜資	ユニット２ 最終治療･メインテナンス／SPT	最終治療･メインテナンス／SPT ができる。	患者で最終治療ができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会 HP に掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
		吉永 泰周			患者でメインテナンスまたはsupportive periodontal therapy をできる。			
29 ～ 30	2/4 ３，４ 限	坂上 竜資						

冠橋義歯学講義①
（冠橋義歯と生体の親和性）

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：松浦　尚志

〔担当教員〕
松浦　尚志

〔一般目標〕
冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を理解する。

〔授業到達目標〕
①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診察、検査、診断を説明する。
②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を説明する。
③冠橋義歯を関連する生物学的背景を説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
會田雅啓ほか　『冠橋義歯補綴学　テキスト』、永末書店
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月,5月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット１	冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を説明する。	１．診断用模型を使用した咬合検査法を説明する。 ２．診断用ワックスアップ法を説明する。 ３．冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を説明する（１）。 ４．冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を説明する（２） ５．冠橋義歯に関連するエックス線検査を説明する（１）。 ６．冠橋義歯に関連するエックス線検査を説明する（２）。	冠橋義歯学テキスト Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室
6 ～ 10	前期 5月,6月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット２	冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を説明する。	７．冠橋義歯に関連する前処置を説明する。 ８．支台築造法を説明する。 ９．セラミッククラウンよる治療方法を説明する。	冠橋義歯学テキスト Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					10. セラミックブリッジよる治療方法を説明する。 11. セラミックブリッジの設計を説明する。 12. セラミックブリッジの予後を説明する。			
11 ～ 15	前期 7 月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット３	冠橋義歯を中心とした生物学的背景を説明する。	13. 歯槽骨と骨質について説明する。 14. 歯槽骨と骨の形態計測ついて説明する。 15. 補綴物と付着歯肉との関連を説明する。	冠橋義歯学テキスト Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

冠橋義歯学講義②
（咬合と顎関節）

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：松浦　尚志

〔担当教員〕
松浦　尚志

〔一般目標〕
冠橋義歯、咬合と顎関節との関連を理解する。

〔授業到達目標〕
①冠橋義歯と関連する咬合の諸検査を説明する。
②顎関節症に関連する検査、治療法を説明する。
③咬合と顎関節と関連する生物学的背景を説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
Okesson ed 「Management of TMD and Occlusion」5th ed、Mosby
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月,5月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット１	冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を説明する。	１．顔弓計測を説明する。 ２．チェックバイト法を説明する。 ３．半調節性咬合器の使用法を説明する。 ４．下顎運動の計測法を説明する。 ５．咬合接触の検査法を説明する。 ６．咬合調整法を説明する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室
6 ～ 10	前期 5月,6月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット２	顎関節症に関連する検査､治療法を説明する。	７．顎関節症と咬合の関連を説明する。 ８．顎関節症の臨床検査法を説明する。 ９．顎関節症のエックス線検査法を説明する。 10．顎関節症の診断法を説明する。 11．顎関節症の保存的治療法を説明する。 12．スプリント治療法を説明する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	前期 7月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット３	咬合と顎関節と関連する生物学的背景を説明する。	13. 変形性関節症と骨粗鬆症について説明する。 14. ブラキシズムと顎関節症との関連について説明する。 15. 顎関節のバイオメカニクスについて説明する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

冠橋義歯学実習①
（冠橋義歯と生体の親和性）

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：松浦　尚志

〔担当教員〕
松浦　尚志

〔一般目標〕
冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を修得する。

〔授業到達目標〕
①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を修得する。
②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を修得する。
③冠橋義歯を関連する生物学形態計測法を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
石橋寛二編　「クラウンブリッジ補綴学　第４版」、医歯薬出版
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics　4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%､実習点 60%｡実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	前期 4月,5月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット１	冠橋義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、冠橋義歯の設計を修得する。	①診断用模型を使用した咬合検査法を修得する。 ②診断用ワックスアップ法を修得する。 ③冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を修得する。 ④冠橋義歯に関連するエックス線検査を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療室、医員技工室
16 ～ 30	前期 6 月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット２	冠橋義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、冠橋義歯の設計を修得する。	①冠橋義歯に関連する前処置を修得する。 ②支台築造法を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

冠橋義歯学実習②
（冠橋義歯と生体の親和性）

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：松浦　尚志

〔担当教員〕
松浦　尚志

〔一般目標〕
冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を修得する。

〔授業到達目標〕
①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を修得する。
②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を修得する。
③冠橋義歯を関連する生物学形態計測法を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
石橋寛二編　「クラウンブリッジ補綴学　第４版」、医歯薬出版
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics　4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10 月,11 月、 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット１	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。	①セラミックブリッジよる治療方法を修得する。 ②セラミックブリッジの設計法を修得する。 ③セラミックブリッジよる治療方法を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療室、医員技工室
16 ～ 30	後期 1 月,2 月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット２	顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。	①歯槽骨と骨の形態計測法を修得する。 ②歯槽骨と骨の形態計測に関連する画像処理法を修得する。 ③歯肉に関連する形態計測法を修得する	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療室、医員技工室

冠橋義歯学実習③
（咬合と顎関節）

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：松浦　尚志

〔担当教員〕
松浦　尚志

〔一般目標〕
冠橋義歯、咬合と顎関節との関連を理解し、これらに関連する臨床的、基礎的技術を修得する。

〔授業到達目標〕
①冠橋義歯と関連する咬合の諸検査を理解し修得する。
②顎関節症に関連する検査、治療法を理解し修得する。
③咬合と顎関節と関連する生物学的背景理解し、関連する基礎的技術を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
Okesson ed 「Management of TMD and Occlusion」5th ed、Mosby
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10月、11月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット１	義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。	1.顔弓計測を修得する。 2.チェックバイト法を修得する。 3.半調節性咬合器の使用法を修得する。 4.咬合接触の検査法を修得する。 5.咬合調整法を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療室
11 ～ 20	後期 11月、12月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット２	人工歯に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。	6.顎関節症と咬合の関連についての文献を検索する。 7.顎関節症の臨床検査法を修得する。 8.顎関節症のエックス線検査法を読影する。 9.顎関節症の診断を習熟する。 10.関節症の保存的治療法を習熟する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	補綴科診療室、冠橋義歯学研究室
21 ～ 30	後期 1月,2月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット３	床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法を理解し修得する。	11,12. 変形性関節症と骨粗鬆症についての文献を検索する。 13,14. ブラキシズムと顎関節症との関連についての文献を検索する。 15. 顎関節のバイオメカニクスについての文献を検索する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	冠橋義歯学分野研究室

有床義歯学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：都築　尊

〔担当教員〕
都築　尊、川口智弘、吉田兼義、濵中一平

〔一般目標〕
口腔医学治療の一分野である、全部床義歯、パーシャルデンチャー、顎義歯などによる有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を理解する。

〔授業到達目標〕
①全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を説明する。
②パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を説明する。
③顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
市川哲雄他編　「無歯顎補綴治療学　第３版」、医歯薬出版
細井紀雄他編　「コンプリートデンチャーテクニック　第６版」　医歯薬出版
三谷春保他編　「歯学生のパーシャルデンチャー　第６版」医歯薬出版
五十嵐順正他編　「パーシャルデンチャーテクニック　第５版」医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4月,5月 木曜日 13:00～ 14:20	都築 川口	ユニット１ ・全部床義歯補綴治療	全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を説明する。	全部床義歯補綴治療の診査を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
2					全部床義歯補綴治療の診断を説明する。			
3 4					全部床義歯補綴治療の治療方針を説明する。			
5					全部床義歯補綴治療の治療方法を説明する。			
6					全部床義歯の設計を説明する。			
7	5月,6月 木曜日 13:00～ 14:20	都築 川口 濵中	ユニット２ ・パーシャルデンチャー補綴治療	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を説明する。	パーシャルデンチャー補綴治療の診査を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
8					パーシャルデンチャー補綴治療の診断を説明する。			
9					パーシャルデンチャー補綴治療の治療方針を説明する。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10					パーシャルデンチャー補綴治療の治療方法を説明する。			
11 12					パーシャルデンチャーの設計を説明する。			
13	7 月 木曜日 13:00～ 14:20	都築 吉田	ユニット３ ・顎義歯補綴治療	顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を説明する。	顎義歯補綴治療の診査、診断を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
14					顎義歯補綴治療の治療方針、治療方法を説明する。			
15					顎義歯の設計を説明する。			

有床義歯学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：都築　尊

〔担当教員〕
都築　尊、川口智弘、吉田兼義、濵中一平

〔一般目標〕
有床義歯補綴材料に関する諸性質や利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質、義歯床の適合性に影響を及ぼす因子、接着技法の有床義歯への応用を理解するとともに、これらに関する最新の文献を調査し有床義歯補綴臨床最前線の情報を知る。

〔授業到達目標〕
①有床義歯補綴材料の諸性質と利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質を説明する。
②義歯床の適合性に影響を及ぼす因子を説明する。
③接着技法の有床義歯への応用を説明する。
④義歯床用材料の最新の情報を説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
Anusavice Kenneth J 編「Phillips' Science of dental materials. 12th ed.」Elsevier 2012
Ronald L Sakaguchi 他編「Craig's restorative dental materials. 13th ed.」Elsevier 2012
日本接着歯学会編「接着歯学　第２版」医歯薬出版 2015

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10 月、11 月木曜日 13:00～14:20	川口 吉田 濵中	ユニット１ 有床義歯補綴材料	有床義歯補綴材料の諸性質と利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質を説明する。	有床義歯補綴材料の諸性質と利用法を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
2					諸性質の解析方法の理論と実際を説明する。			
3					床用材料の機械的性質を説明する。			
4					床用レジンの強度に関して文献調査を行う。			
5					文献調査のまとめを行い、床用レジンの強度に関して最新の情報を説明する。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6	11 月 木曜日 13:00 ～ 14:20	都築 吉田	ユニット２ 義歯床の適合性	義歯床の適合性に影響を及ぼす因子を説明する。	義歯床の適合性に影響を及ぼす諸因子について説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
7					床用レジンの適合性に関して文献調査を行う。			
8					文献調査のまとめを行い、床用レジンの適合性に関して最新の情報を説明する。			
9	12 月、1 月 木曜日 13:00 ～ 14:20	川口 吉田	ユニット３ 接着技法の有床義歯への応用	接着技法の有床義歯への応用を説明する。	接着技法の有床義歯への応用を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
10					接着の解析方法の理論と実際を説明する。			
11					床用レジンと局部床義歯金属構成要素との接着に関して文献調査を行う。			
12					文献調査のまとめを行い、床用レジンと局部床義歯金属構成要素との接着に関して最新の情報を説明する。			
13					床用レジンと人工歯の接着、床用レジンとリライン材との接着に関して文献調査を行う。			
14					文献調査のまとめを行い、床用レジンと人工歯の接着、床用レジンとリライン材との接着に関して最新の情報を説明する。			
15	１月 木曜日 13:00 ～ 14:20	川口 吉田	ユニット４ 義歯床用材料の最新の情報	義歯床用材料の最新の情報を説明する。	義歯床用材料の新展開を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室

有床義歯学実習①

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：都築　尊

〔担当教員〕
都築　尊、川口智弘、吉田兼義、濵中一平

〔一般目標〕
口腔医学治療の一分野である、全部床義歯による有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を修得する。

〔授業到達目標〕
全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
市川哲雄他編　「無歯顎補綴治療学　第３版」、医歯薬出版
細井紀雄他編　「コンプリートデンチャーテクニック　第６版」　医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	4 月 5 月 6 月 7 月 月曜日 9:00 ～ 11:55	都築 川口 吉田 濵中	ユニット１ 全部床義歯補綴治療	全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を修得する。	①全部床義歯補綴治療の診査を修得する。 ②全部床義歯補綴治療の診断を修得する。 ③全部床義歯補綴治療の治療方針を修得する。 ④全部床義歯補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤全部床義歯の設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室

有床義歯学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：都築　尊

〔担当教員〕
都築　尊、川口智弘、吉田兼義、濵中一平

〔一般目標〕
口腔医学治療の一分野である、パーシャルデンチャー、顎義歯による有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を修得する。

〔授業到達目標〕
①パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。
②顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
三谷春保他編　「歯学生のパーシャルデンチャー　第６版」医歯薬出版
五十嵐順正他編　「パーシャルデンチャーテクニック　第５版」医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 24	10 月、 11 月、 12 月 月曜日 9:00～ 11:55	都築 川口 濵中	ユニット１ パーシャルデンチャー補綴治療	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。	①パーシャルデンチャー補綴治療の診査を修得する。 ②パーシャルデンチャー補綴治療の診断を修得する。 ③パーシャルデンチャー補綴治療の治療方針を修得する。 ④パーシャルデンチャー補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤パーシャルデンチャーの設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室
25 ～ 30	1 月 月曜日 9:00～ 11:55	吉田 濵中	ユニット２ 顎義歯補綴治療	顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。	①顎義歯補綴治療の診査を修得する。 ②顎義歯補綴治療の診断を修得する。 ③顎義歯補綴治療の治療方針を修得する。 ④顎義歯補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤顎義歯の設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室

有床義歯学実習③

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：都築　尊

〔担当教員〕
都築　尊、川口智弘、吉田兼義、濵中一平

〔一般目標〕
有床義歯補綴治療に必要な接着技法の基礎的な理論を理解し接着技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。
②人工歯に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。
③床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法を理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
Anusavice Kenneth J 編「Phillips' Science of dental materials. 12th ed.」Elsevier 2012
Ronald L Sakaguchi 他編「Craig's restorative dental materials. 13th ed.」Elsevier 2012
日本接着歯学会編「接着歯学　第２版」医歯薬出版 2015

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10 月、11 月月曜日 13:00～15:55	都築 川口 吉田	ユニット１義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法	義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。	義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法の理論を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
2					義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着強度および接着モードの解析方法を説明する。			
3					接着技法を応用した試料作製方法に熟練する。			
4					接着強度を測定する。			
5					接着強度、接着モードから接着技法を評価する。			
6	11 月、12 月月曜日 13:00～15:55	川口 吉田 濵中	ユニット２人工歯に対する床用レジンの接着技法	人工歯に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。	人工歯に対する床用レジンの接着技法の理論を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7					人工歯に対する床用レジンの接着強度および接着モードの解析方法を説明する。			
8					接着技法を応用した試料作製方法に熟練する。			
9					接着強度を測定する。			
10					接着強度、接着モードから接着技法を評価する。			
11	1月、2月 月曜日 13:00 ～ 15:55	川口 吉田 濵中	ユニット３ 床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法	床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法を理解し修得する。	床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法の理論を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
12					床用レジンに対するリラインマテリアルの接着強度および接着モードの解析方法を説明する。			
13					接着技法を応用した試料作製方法に熟練する。			
14					接着強度を測定する。			
15					接着強度、接着モードから接着技法を評価する。			

口腔インプラント学講義①・②

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
後期１５コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：城戸寛史

〔担当教員〕
城戸寛史、加倉加恵

〔一般目標〕
歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

〔授業到達目標〕
インプラント治療に関する患者説明，診断，治療計画の立案，基本的なインプラント埋入術の習得，上部構造製作のための印象採得，咬合採得，装着が行える．また，メンテナンスを施行できる．

〔教科書・参考書〕
赤川安正、松浦正朗、他（編）「よくわかる口腔インプラント学」第３版、医歯薬出版、2017
渡邉文彦、松浦正朗（編）「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版
古谷野潔、松浦正朗（編）「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

〔成績評価の方法・基準〕
頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4月、 5月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット1 インプラントの表面性状	チタンインプラントの表面改質による骨組織のチタン界面での反応を説明する。	1．現在、インプラントに使用されている材料の特性を説明する。 2．インプラントの表面改質法の種類を知り、その特性を説明する。 3．骨の創傷治癒の組織学的、生化学的反応を理解し、説明する。 4．チタン表面での骨組織の生化学的反応を説明する。 5．インプラントの表面修飾法によるインプラントの成績について文献を挙げて説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6 7 8 9 10	前期 ５月、６月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット２ 治療計画	インプラント治療計画を立案し､その立案の科学的根拠を説明する。	６．残存歯の評価、顎骨の骨量と骨形態の評価、軟組織の評価法を説明する。 ７．インプラント治療での上部構造の設計法を説明する。 ８．埋入するインプラントの数と位置の決定法を説明する。 ９．治療計画の立案法とその立案の根拠を説明する。 10．臨床例での治療計画を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
11 12 13 14 15	前期 ６月、７月 火曜日 10:35 ～ 11:55	加倉	ユニット３ 適応症と禁忌症	インプラント治療の適応症と禁忌症､およびインプラント治療の Risk Factor を説明する。	11．患者の術前評価法を説明する。 12．全身的評価からのインプラント治療の適応症と禁忌症を説明する。 13．局所的評価からのインプラント治療の適応症と禁忌症を説明する。 14．文献を挙げてインプラント治療の局所的、全身的 Risk Factor を説明する。 15．インプラント治療の適用に好ましい条件を列挙し、患者教育と術前処置を考える。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
16 17 18 19 20	後期 9 月、10 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	加倉	ユニット４ 合併症	インプラント治療の外科的合併症と補綴的合併症の原因と頻度を説明する。	16．具体例を挙げインプラント手術解剖を説明する。 17．具体例を挙げ、インプラント補綴法を説明する。 18．手術中の合併症を列挙し、合併症の対応処置を説明する。 19．術後の合併症を列挙し、合併症の対応処置を説明する。 20．補綴的合併症を列挙し、合併症の対応処置を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 22 23 24 25	後期 10 月、 11 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット５ 上部構造	インプラント上部構造の構造、材料、および製作法を説明する。	21. インプラント上部構造の種類と特徴を説明する。 22. インプラント上部構造の材料の種類と特徴を説明する。 23. インプラント上部構造の製作法を説明する。 24. 歯冠修復用のセラミック材料の種類と特徴を説明する。 25. CAD-CAM アバットメント、CAD-CAM クラウン、ブリッジの種類と特徴を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
26 27 28 29 30	後期 10 月、 11 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット６ EBM	コンセンサスが得られているインプラント治療の適応症について文献を挙げて説明する。	26. 文献を挙げて部位別のインプラント長期成績を説明する。 27. 文献を挙げて無歯顎のインプラント補綴例の長期成績を説明する。 28. 文献を挙げて単独歯欠損に対するインプラント治療の長期成績を説明する。 29. 文献を挙げてインプラントのための骨増量法の長期成績を説明する。 30. 文献を挙げてインプラントのメンテナンス治療の方法とその重要性を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する	よくわかる口腔インプラント学、第２版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

口腔インプラント学実習①・②
（インプラント治療計画作成法実習①・②）

① 前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
② 後期３０コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：城戸寛史

〔担当教員〕
城戸寛史、加倉加恵

〔一般目標〕
歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

〔授業到達目標〕
インプラント治療に関する患者説明，診断，治療計画の立案，基本的なインプラント埋入術の習得，上部構造製作のための印象採得，咬合採得，装着が行える．また，メンテナンスを施行できる．

〔教科書・参考書〕
赤川安正、松浦正朗、他（編）「よくわかる口腔インプラント学」第３版、医歯薬出版、2017
渡邉文彦、松浦正朗（編）「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版
古谷野潔、松浦正朗（編）「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

〔成績評価の方法・基準〕
頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4月、5月 月曜日 13:00～15:55	城戸	ユニット１ 画像診断	上下顎および周囲軟組織の立体構造と、その CT 画像所見を説明する。	１．パノラマ、および CT 画像での解剖学的正常像を説明する。 ２．正常像での variation を説明する。 ３．歯の喪失と加齢による硬組織および軟組織の変化を説明する。 ４．インプラント手術において risk factor となる解剖学的構造の条件を説明する。 ５．軟組織の評価に必要な項目をリストアップし、その項目の意義と評価方法を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 渡邉文彦、インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6 7 8 9 10	前期 6月、 7月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット2 治療計画	インプラント治療計画を立案し､その立案の科学的根拠を説明する。	６．診断用ワックスアップの理論を説明する。 ７．診断用ワックスアップの製作方法に熟練する。 ８．診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートの意義と製作法を説明する。 ９．診断用ワックスアップからの診断用ガイドプレートを製作しその方法と理論を説明する。 10．臨床例での診断用ワックスアップ、診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートを製作する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学　医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
11 12 13 14 15	前期 8月、 9月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット3 手術シミュレーション1	インプラント手術シミュレーション法の基礎的な理論を理解し､手術計画作成法を理解し修得する。	11．インプラント手術シミュレーションの原理を説明する。 12．インプラント手術シミュレーションソフトの使用法を学び、その操作を習熟する。 13．各種画像を読影し、三次元画像との対応を比較し、顎顔面の硬組織の構造を理解する。 14．臨床例で手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 15．臨床例で手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
16 17 18 19 20	後期 10月、11月 月曜日 13:00～ 15:55	加倉	ユニット４ 手術シミュレーション２	インプラント治療の外科的合併症と補綴的合併症の原因と頻度を説明する。	16．臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 17．臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 18．臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 19．臨床例で上顎臼歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。 20．臨床例で上顎前歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
21 22 23 24 25	後期 12月、1月 月曜日 13:00～ 15:55	城戸	ユニット５ 埋入手術	臨床症例の手術計画を作り、手術を経験する。	21．症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 22．症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 23．症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎臼歯部インプラント手術を体験する。 24．症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎前歯部インプラント手術を体験する。 25．骨移植が必要な症例の手術シミュレーションを行い、インプラント手術を体験する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 27 28 29 30	後期 2月、 3月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット６ EBM	臨床症例を体験し､手術結果をシミュレーションと比較して報告する。	26．経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 27．経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 28．経験した上顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 29．経験した上顎前歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 30．経験した骨移植が必要な症例の結果を調査し、症例報告を行う。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

口腔インプラント学実習③
（インプラントのための骨形態の評価と診断・治療実習）

後期３０コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：城戸寛史

〔担当教員〕
城戸寛史、加倉加恵，森永健三

〔一般目標〕
歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

〔授業到達目標〕
インプラント治療に関する患者説明，診断，治療計画の立案，基本的なインプラント埋入術の習得，上部構造製作のための印象採得，咬合採得，装着が行える．また，メンテナンスを施行できる．

〔教科書・参考書〕
赤川安正、松浦正朗、他（編）「よくわかる口腔インプラント学」第３版、医歯薬出版、2017
渡邉文彦、松浦正朗（編）「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版
古谷野潔、松浦正朗（編）「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

〔成績評価の方法・基準〕
頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3 4 5	後期 9月、 10月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット１ 加齢変化	加齢や抜歯による口腔顎顔面の硬組織および周囲軟組織の立体構造の変化を説明する。	１．パノラマ、およびCT画像での顎骨の解剖学的正常像を説明する。 ２．正常像でのvariationを説明する。 ３．歯の喪失と加齢による硬組織の変化を説明する。 ４．歯の喪失と加齢による軟組織の変化を説明する。 ５．硬組織および軟組織の評価に必要な項目をリストアップし、その項目の意義と評価方法を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第２版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学　医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6 7 8 9 10	後期 11 月、 12 月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット 2 治療計画	顎骨形態を診断し､コンピュータシミュレーションを行い､インプラントによる咬合回復に必要な顎骨形態の条件と骨量などの回復手術を習得する。 症例のプロブレムリストを作り､骨増量の治療計画を立案し､実際の手術に応用する。	６．顎骨欠損の評価に必要な項目をリストアップし、修復法を理論的に説明する。 ７．コンピュータシミュレーションを行い、歯列の修復に必要な骨欠損量を診断し、移植骨採取部位を診断する。 ８．移植骨の採取術式を習得する。 ９．骨移植床を形成し、骨移植、GBR を実習する。 10．臨症例を診断し、手術計画を作成し臨床を経験する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
11 12 13 14 15	後期 1 月、 2 月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット 3 上顎洞底居城手術	上顎洞を理解し､骨量回復法を立案する。 コンピュータシミュレーションを行い臨床症例を体験し､手術結果を評価する。	11．上顎洞の形態を理解するために三次元画像を作製する。 12．多くの上顎の画像を観察し、variation や疾患の有無を診断する。 13．症例の画像を読影し、コンピュータシミュレーションを行い治療計画を立案する。 14．治療計画を立案した臨床例の手術を体験する。 15．治療計画を立案した臨床例の手術を体験し、手術結果を評価する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
16 17 18 19 20	後期 10月、 11月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット４ 手術シミュレーション２	インプラント治療の外科的合併症と補綴的合併症の原因と頻度を説明する。	16. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 17. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 18. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 19. 臨床例で上顎臼歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。 20. 臨床例で上顎前歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第３版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室
21 22 23 24 25	後期 12月、 1月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット５ 埋入手術	臨床症例の手術計画を作り、手術を経験する。	21. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 22. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 23. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎臼歯部インプラント手術を体験する。 24. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎前歯部インプラント手術を体験する。 25. 骨移植が必要な症例の手術シミュレーションを行い、インプラント手術を体験する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第２版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 27 28 29 30	後期 2 月、 3 月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット６ EBM	臨床症例を体験し､手術結果をシミュレーションと比較して報告する。	26. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 27. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 28. 経験した上顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 29. 経験した上顎前歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 30. 経験した骨移植が必要な症例の結果を調査し、症例報告を行う。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第 2 版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学講座研究室

成育小児歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：尾崎　正雄

〔担当教員〕
尾崎　正雄

〔一般目標〕
小児の心身の発育、心理および対応法、ならびに診療方針について修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児歯科に必要な心身の発育について理解する。
② 小児患者の歯科的対応法について理解する。
③ 小児患者の治療方針について理解する。

〔教科書・参考書〕
参考書
前田隆秀　他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005
黒須一夫、土屋友幸「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987
日本歯科心身医学会編「歯科心身医学」医歯薬出版、2003

〔成績評価の方法・基準〕
出席点，　各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4 月～5 月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット１ 小児の心身の発育について理解する。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。	1）小児の発育の特徴について説明できる。 2）身体の発育の特徴について説明できる。 3）精神的発達の特徴について説明できる。 4）生理的特徴について説明できる。 5）小児の栄養について説明できる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科研究室内
6 7 8 9 10	前期 6 月～7 月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット２ 小児患者の歯科的対応法について理解する。	研究倫理に関する意識を高め、心理学的観点から小児の対応法の実践法と行動規範を理解する。	1）対応に必要な心理について説明できる。 2）一般的対応法について説明できる。 3）小児の抑制的対応法について説明できる。 4）鎮静、減痛下の対応法について説明できる。 5）全身麻酔下の対応法について説明できる。	小児の性格形成と心理的成長についてりかいしておくこと。また、フロイトの心理面接について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987 「歯科心身医学」医歯薬出版、2003	小児歯科研究室内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 12 13 14 15	前期 8 月～ 9 月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット３ 小児歯科の診療方針について理解する。	研究構想に基づいて小児歯科の診療方針について理解する。	1) 診察ができる。 2) 診断ができる。 3) 治療計画を説明できる。 4) 患者教育について説明できる。 5) 定期検診について説明できる。	小児およびその保護者への心理的配慮した診療計画および診断方法について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科研究室内

成育小児歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：尾崎　正雄

〔担当教員〕
尾崎　正雄

〔一般目標〕
小児の歯列および咬合の発育を理解するとともに、咬合誘導法についても修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児の歯および歯列の発育について理解する。
② 保隙の目的を理解し、保隙装置の作製法を理解し修得する。
③ 小児の咬合誘導法について理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
前田隆秀　他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005
内村　登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001
McNamara,Jr,JA,著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点,　各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
1 2 3 4 5	後期 10月～ 11月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット1 小児の歯列および咬合の発育の基礎を理解する。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。また口腔機能の発育と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1）歯の発育について説明できる。 2）歯の形成異常について説明できる。 3）歯の萌出異常について説明できる。 4）歯列および咬合の発育について説明できる。 5）歯列および咬合の発育異常について説明できる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院、2005 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科研究室内
6 7 8 9 10	後期 12月～ 1月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット2 保隙について理解する。	研究倫理に関する意識を高め、研究構想に基づいた歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1）保隙の目的を説明できる。 2）保隙装置の必要条件について説明できる。 3）保隙装置の種類を説明できる。 4）保隙装置の作製法を修得し説明できる。	小児の性格形成と心理的成長についてりかいしておくこと。また、フロイトの心理面接について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院、2005 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997	小児歯科研究室内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
					5）保隙装置装着後の管理について説明できる。		「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	
11 12 13 14 15	後期 2月～ 3月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット３ 咬合誘導の臨床を理解し習得する。	研究構想に基づいて歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1）診査と診断ができる。 2）乳歯列期咬合誘導を説明できる。 3）永久歯萌出余地不足に対する処置を説明できる。 4）混合歯列期の咬合誘導について説明できる。 5）外科的咬合誘導について説明できる。	歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院、2005 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科研究室内

成育小児歯科実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：尾崎　正雄

〔担当教員〕
尾崎　正雄

〔一般目標〕
小児歯科学の臨床において診断並びに処置法を修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児患者の臨床データを基に診断と治療計画を立てることができる。
② 小児患者の定期健診を行うことができる。

〔教科書・参考書〕
参考書
前田隆秀　他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005
内村　登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001
McNamara,Jr,JA,著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点,　各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
1 2 3 4 5	前期 4月～5月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット1 低年齢患児のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	低年齢児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科研究室内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
6 7 8 9 10	前期 6月～7月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット２ 幼児患者のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	幼児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失に対する保隙を理解する	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の性格形成と心理的成長について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987 「歯科心身医学」医歯薬出版、2003	小児歯科研究室内
11 12 13 14 15	前期 8月～9月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット３ 学童期の患者のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	混合歯列期における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失や歯列不正に対する処置方針を理解する	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科研究室内

成育小児歯科実習②

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：尾崎　正雄

〔担当教員〕
尾崎　正雄

〔一般目標〕
小児歯科学の臨床において診断並びに処置法を修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児患者の臨床データを基に診断と治療計画を立てることができる。
② 小児患者の定期健診を行うことができる。

〔教科書・参考書〕
参考書
前田隆秀　他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005
内村　登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001
McNamara,Jr,JA,著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点,　各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所
1 2 3 4 5	7 月～8 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット１ 低年齢患児のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	低年齢児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科研究室内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
6 7 8 9 10	8 月～9 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット２ 幼児患者のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	幼児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失に対する保隙を理解する	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の性格形成と心理的成長についてりかいしておくこと。また、フロイトの心理面接について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987 「歯科心身医学」医歯薬出版、2003	小児歯科研究室内
11 12 13 14 15	9 月～11 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット３ 学童期の患者のデータから診断ならびに治療計画を立てることができる。	混合歯列期における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失や歯列不正に対する処置方針を理解する	1）小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2）小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3）小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4）小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5）小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科研究室内

成育小児歯科実習③
（小児の咬合誘導実習）

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：尾崎　正雄

〔担当教員〕
尾崎　正雄

〔一般目標〕
小児の歯列および咬合の発育を理解するとともに、咬合誘導法についても修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児の歯および歯列の発育について理解する。
② 保隙の目的を理解し、保隙装置の作製法を理解し修得する。
③ 小児の咬合誘導法ついて理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
前田隆秀　他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005
内村　登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001
McNamara,Jr,JA,著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点、各ユニット毎の提出レポート並びに製作物、口頭試問、

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所
1 2 3 4 5	後期 10 月 ～ 11 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット１ 小児の歯列および咬合の発育の基礎を理解する。保隙について理解する。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。また口腔機能の発育と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1）クラウンループを作製する。 2）ディスタルシューを作製する。	小児の顎顔面成長に関する事項を発育学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科診療室内
6 7 8 9 10	後期 12 月 ～ 1 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット２ 保隙について理解する。動的咬合誘導装置を作製できる。	研究倫理に関する意識を高め、研究構想に基づいた歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1）リンガルアーチを作製する。 2）リンガルアーチを使用した動的咬合誘導装置を作製する。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997	小児歯科診療室内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場　所
							「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	
11 12 13 14 15	後期 2 月～3 月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット３ 咬合誘導の臨床を理解し習得する。	混合歯列期における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失や歯列不正に対する処置方針を理解する	1）床型保隙装置を作製する。 2）床型咬合誘導装置を作製する。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 「小児歯科実習」学建書院、2001 「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997 「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002	小児歯科診療室内

障害者歯科学講義①
（障害者歯科診療における行動調整と医療安全管理）

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：小島　寛

〔担当教員〕
小島　寛

〔一般目標〕
知的障害、発達障害を有する患者の精神発達状態を理解し、精神的負担に配慮し、かつ安全な歯科医療を提供するために必要な対応法および医療安全管理に関する専門的知識を修得する。

〔授業到達目標〕
①知的障害を有する患者の歯科治療における対応法を説明できる。
②発達障害を有する患者の歯科治療における対応法を説明できる。
③障害者歯科診療における感染防止対策を説明できる。
④障害者歯科診療における医療安全管理を説明できる。

〔参考書〕
１．「小児歯科患者の臨床的対応」（クインテッセンス出版）
２．「自閉症のすべてがわかる本」（講談社）
３．「一から学ぶ歯科医療安全管理」（医歯薬出版）

〔成績評価の方法・基準〕
筆記試験を課し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/6 17:30～ 18:50	小島	ユニット１ 知的障害者への歯科的対応	発達段階と治療協力度の関係を理解する。	1) 発達段階の判定法を説明する。 2) 歯科診療への協力が得られる発達段階を説明する。	参考資料を読む。	乳幼児発達検査法 愛院大歯誌 32: 573-585, 1994	障害者歯科学研究室
2	4/13 17:30～ 18:50			歯科器具・機器使用時の患者の外部および内部行動の変化を理解する。	3) 外部および内部行動の変化の判定方法を説明する。 4) 各種器具・機器使用時の患者の反応を説明する。	参考資料を読む。	「小児歯科患者の臨床的対応」（クインテッセンス出版）	障害者歯科学研究室
3	4/20 17:30～ 18:50			一般的対応法について理解する。	5) 診療内容の伝達のしかたを説明する。 6) 行動変容法を説明する。	参考資料を読む。	「小児歯科患者の臨床的対応」（クインテッセンス出版）	障害者歯科学研究室
4	4/27 17:30～ 18:50			歯科治療に不協力となる原因と協力性が変化する過程を理解する。	7) 患者が拒否するものについて説明する。 8) 患者の協力性が変化する過程について説明する。	参考資料を読む。	小児歯科臨床 13:49-55, 2008 「子どもの拒絶に困ったとき」（砂書房）	障害者歯科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	5/11 17:30～ 18:50			患者の心理変化を理解する。	9) 体験前後の心理変化を説明する。 10) 体験前後の行動変化を説明する。	参考資料を読む。	発汗学 16:33-36, 2009 トレーニング動画	障害者歯科学研究室
6	5/18 17:30～ 18:50	小島	ユニット 2 発達障害者への対応	自閉症の特徴を理解する。	1) 想像力障害を説明する。 2) コミュニケーション障害を説明する。	参考資料を読む。	「自閉症のすべてがわかる本」（講談社）	障害者歯科学研究室
7	5/25 17:30～ 18:50			歯科診療における自閉症者の行動パターンを理解する。	3) 正確性へのこだわりを説明する。 4) 同一性保持を説明する。	参考資料を読む。	障歯誌 28:11-19, 2007	障害者歯科学研究室
8	6/1 17:30～ 18:50			発達障害者とのコミュニケーションのとり方を理解する。	5) 自閉症者に対する TSD 法を説明する。 6) TEACCH 法を説明する。	自閉症者に対する TSD 法や TEACCH 法の有用性について調べる。	障歯誌 31:149-158, 2010 トレーニング動画	障害者歯科学研究室
9	6/8 17:30～ 18:50			発達障害者に対する歯科治療の進め方を理解する。	7) 身体拘束の 3 要件を説明する。 8) 歯科診療におけるスモールステップを説明する。 9) 自閉症者に対するモデリング法を説明する。	参考資料を読む。	身体拘束ゼロへの手引き（厚生労働省） 小児歯誌 47: 732-737, 2009 トレーニング動画	障害者歯科学研究室
10	6/15 17:30～ 18:50	小島	ユニット 3 感染防止対策	感染症を有する患者への対応を理解する。	1) 感染症を有する患者の歯科受診状況を説明する。	参考資料を読む。	歯界展望 95: 1185-1190, 2000 口科誌 49:352-355, 2000	障害者歯科学研究室
11	6/22 17:30～ 18:50			CDC ガイドラインを理解する。	2) スタンダードプレコーションを説明する。	参考資料を読む。	CDC ガイドライン	障害者歯科学研究室
12	6/29 17:30～ 18:50			わが国の歯科における院内感染防止対策ガイドラインを理解する。	3) 再使用器具の処理方法を説明する。 4) 印象材、技工物の処理方法を説明する。	参考資料を読む。	歯科における院内感染防止対策ガイドライン（国公立大学附属病院感染対策協議会歯科医療部会）	障害者歯科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13	7/6 17:30～ 18:50	小島	ユニット４ 医療安全管理	障害者歯科におけるインシデント・ヒヤリハットを理解する。	1) 障害者歯科における医療事故について説明する。	参考資料を読む。	障歯誌 33:640-648, 2012	障害者歯科学研究室
14	7/13 17:30～ 18:50			医療安全管理体制を理解する。	2) 医療法が求める医療安全管理について説明する。 3) 患者影響度分類について説明する。 4) 医療事故防止対策について説明する。	参考資料を読む。	本院医療事故防止対策マニュアル「一から学ぶ歯科医療安全管理」（医歯薬出版）	障害者歯科学研究室
15	7/20 17:30～ 18:50			医療事故報告制度について理解する。	5) 医療事故報告システムについて説明する。 6) 事故調査システムについて説明する。	なし	スライド	障害者歯科学研究室

障害者歯科学講義②
（有病者の歯科治療）

後期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：小島　寛

〔担当教員〕
小島　寛

〔一般目標〕
歯科診療において配慮を要する代表的な疾患に関する全身的および歯科的専門的知識を修得する。

〔授業到達目標〕
代表的な疾患の全身的および歯科的特徴を説明できる。

〔参考書〕
１．「Syndromes of the head and neck」（Oxford University Press）
２．「口から診える症候群・病気」（日本障害者歯科学会）

〔成績評価の方法・基準〕
筆記試験を課し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	10/5 17:30 ～ 18:50	小島	ユニット１ 口腔領域に異常を伴う染色体異常	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う染色体異常による症候群の歯科診療を理解する。	1) Down 症候群の歯周疾患を説明する。 2) Down 症候群の口腔の特徴を説明する。	参考資料を読む。	障歯誌 16:166-171,1995 N Engl J Med 276:1460-1463,1967	障害者歯科学研究室
2	10/12 17:30～ 18:50				3) Turner 症候群の特徴を説明する。 4) Klinefelter 症候群の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室
3	10/19 17:30～ 18:50				5) 猫鳴き症候群の特徴を説明する。 6) その他の染色体異常の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室
4	10/26 17:30～ 18:50	小島	ユニット２ 口腔領域に異常を伴う遺伝疾患	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う遺伝疾患の歯科診療を理解する。	1) Treacher Collins 症候群の特徴を説明する。 2) Robin シークエンスの特徴を説明する。 3) Goldenhar 症候群の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	11/2 17:30～ 18:50				4) 鎖骨頭蓋骨異形成症の特徴を説明する。 5) Apert 症候群および Crouzon 症候群の特徴を説明する。 6) Marfan 症候群の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室
6	11/9 17:30～ 18:50				7) Papillon-Lefevre 症候群の特徴を説明する。 8) 低フォスファターゼ症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press) 「口から診える症候群・病気」（日本障害者歯科学会）	障害者歯科学研究室
7	11/16 17:30～ 18:50	小島	ユニット３ 口腔領域に異常を伴うその他の疾患	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う疾患の歯科診療を理解する。	1) 無汗型外胚葉異形成症の特徴を説明する。 2) 色素失調症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press) 「口から診える症候群・病気」（日本障害者歯科学会）	障害者歯科学研究室
8	11/30 17:30～ 18:50				3) 先天性表皮水疱症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	「口から診える症候群・病気」（日本障害者歯科学会）	障害者歯科学研究室
9	12/7 17:30～ 18:50	小島	ユニット４ 心疾患と歯科治療	先天性心奇形を有する患者の歯科診療を理解する。	1) 代表的な先天性心奇形を説明する。	参考資料を読む。	感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン（2008改訂版）	障害者歯科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10	12/14 17:30～ 18:50				2) 一過性菌血症を起こす歯科処置について説明する。 3) 抗生剤予防投与が必要な先天性心奇形について説明する。 4) 抗生剤予防投与の方法を説明する。	参考資料を読む。	J.Antimicrob Chemother 57:1035-1042,2006 Circulation116:1736-54,2007	障害者歯科学研究室
11	12/21 17:30～ 18:50				5) 英国および米国の抗生剤予防投与法の変遷を説明する。	参考資料を読む。	福歯大誌 33: 21-28,2007	障害者歯科学研究室
12	1/18 17:30～ 18:50				6) 感染性心内膜炎予防のための最新の考え方を説明する。	参考資料を読む。	Am J Cardiol 54:797-801,1984 Brit Dent J189:610-616,2000	障害者歯科学研究室
13	1/25 17:30～ 18:50	小島	ユニット５ 臓器移植、造血幹細胞移植と歯科治療	移植患者の歯科診療を理解する。	1) 移植患者の易感染性について説明する。	参考資料を読む。	http://www.in.gov/isdh/files/OrganTransplantProf.pdf#search='dental+management+of+the+organ+transplant+patient' http://www.aapd.org/media/policies_guidelines/g_chemo.pdf#search='guideline+on+dental+management+of+pediatric+patiens+receiving+chemotherapy'	障害者歯科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
14	2/1 17:30～ 18:50				2) 移植予定患者の歯科治療計画について説明する。	参考資料を読む。	「造血細胞移植患者の口腔ケアガイドライン」（日本口腔ケア学会）	障害者歯科学研究室
15	2/8 17:30～ 18:50				3) 口腔ケアについて説明する。	なし		障害者歯科学研究室

障害者歯科実習①
（全身麻酔下歯科治療）

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：小島　寛

〔担当教員〕
小島　寛

〔一般目標〕
障害者がおかれた環境、ならびに基礎疾患、知的発達段階を的確に把握して、全身麻酔下歯科治療を行うための専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕
障害者に対する全身麻酔下歯科治療を指導医の介助のもとで実施できる。

〔教科書・参考書〕
なし

〔成績評価の方法・基準〕
観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	6/11 9:00～ 10:20	小島	ユニット１ 障害者の全身麻酔した歯科治療の補助・介助・処置	安全で円滑な全身麻酔下歯科治療を実施するために必要な知識、技能および態度を身につける。	1)保護者に対して全身麻酔下歯科治療の説明を行い、理解を得る。 2)関係するスタッフに全身麻酔の実施および入院に関する必要事項を連絡する。 3)術前検査を実施する。 4)術前検査結果を判断する。 5)全身麻酔下歯科治療計画を立案する。 6)診療に必要な材料を漏れなく準備することができる。 7)全身麻酔下歯科治療の補助を行う。 8)全身麻酔下で歯科治療を行う。 9)一連の内容を診療録に記載する。 10）手術記録を作成する。 11）退院時要約を作成する。	障害者歯科の全身麻酔下歯科治療マニュアル	患者 病棟 手術室 歯科ユニット、歯科治療器具・材料、個人防護具 電子カルテ	障害者歯科診療室 病棟 手術室
2	10:35～ 11:55							
3	13:00～ 14:20							
4	14:35～ 15:55							
5	16:10～ 17:30							
6	6/18 9:00～ 10:20							
7	10:35～ 11:55							
8	13:00～ 14:20							
9	14:35～ 15:55							
10	16:10～ 17:30							
11	6/25 9:00～ 10:20							
12	10:35～ 11:55							
13	13:00～ 14:20							
14	14:35～ 15:55							

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
15	16:10～ 17:30							
	7/2							
16	9:00～ 10:20							
17	10:35～ 11:55							
18	13:00～ 14:20							
19	14:35～ 15:55							
20	16:10～ 17:30							
	7/9							
21	9:00～ 10:20							
22	10:35～ 11:55							
23	13:00～ 14:20							
24	14:35～ 15:55							
25	16:10～ 17:30							
	7/16							
26	9:00～ 10:20							
27	10:35～ 11:55							
28	13:00～ 14:20							
29	14:35～ 15:55							
30	16:10～ 17:30							

障害者歯科実習②
（発達障害者の行動変容１）

後期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：小島　寛

〔担当教員〕
小島　寛

〔一般目標〕
発達障害者の脳機能異常に由来する特有の認知行動様式を理解した上で、歯科診療における行動変容に必要な専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕
治療に不協力な自閉スペクトラム症者に対して、歯科診療チェアで水平位をとらせ、口腔内診査を実施できる。

〔教科書・参考書〕
なし

〔成績評価の方法・基準〕
観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2	10/5 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55	小島	ユニット１ 発達障害者の歯科診療における説明の方法、診査のしかた	発達障害者の認知行動様式を理解し、安全で円滑な診療を実施するために必要な知識、技能および態度を身につける。	1) 発達障害者を診察室に誘導する。 2) 発達障害者に診察内容を説明する。 3) 発達障害者を歯科診療チェアに座らせ、水平位をとらせる。 4) 発達障害者に診療の手順を説明する。 5) 発達障害者の口腔内診査を実施する。	自閉スペクトラム症の認知行動様式の特徴について調べる。 小児歯科患者への対応法について調べる。 障害者歯科患者への対応法について調べる。	患者 歯科ユニット、歯科治療器具・材料	障害者歯科診療室
3 4	10/6 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
5 6	10/7 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
7 8	10/12 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
9 10	10/13 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
11 12	10/14 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14	10/19 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
15 16	10/20 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
17 18	10/21 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
19 20	10/26 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
21 22	10/27 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
23 24	10/28 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
25 26	11/2 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
27 28	11/4 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
29 30	11/9 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							

障害者歯科実習③
（発達障害者の行動変容２）

後期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：小島　寛

〔担当教員〕
小島　寛

〔一般目標〕
発達障害者の脳機能異常に由来する特有の認知行動様式を理解した上で、歯科診療における行動変容に必要な専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕
治療に不協力な自閉スペクトラム症者に対して、種々の治療の前準備となる機械的紙面清掃、浸潤麻酔、ラバーダム防湿を人的抑制や抑制具等を用いずに実施できる。

〔教科書・参考書〕
なし

〔成績評価の方法・基準〕
観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2	11/10 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55	小島	ユニット１ 発達障害者における基本的診療行為	発達障害者の認知行動様式を理解し、安全で円滑な診療を実施するために必要な知識、技能および態度を身につける。	1) 発達障害者に対して機械的歯面清掃を行う。 2) 発達障害者に対してラバーダム防湿を実施する。 3) 発達障害者に対してバキューム操作を実施する。 4) 発達障害者に対して浸潤麻酔を実施する。	自閉スペクトラム症の認知行動様式の特徴について調べる。 小児歯科患者への対応法について調べる。 障害者歯科患者への対応法について調べる。	患者 歯科ユニット、歯科治療器具・材料	障害者歯科診療室
3 4	11/11 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
5 6	11/16 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
7 8	11/17 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
9 10	11/18 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
11 12	11/24 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14	11/25 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
15 16	11/30 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
17 18	12/1 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
19 20	12/2 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
21 22	12/7 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
23 24	12/8 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
25 26	12/9 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
27 28	12/14 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							
29 30	12/15 9:00～ 10:20 10:35～ 11:55							

矯正歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕
玉置幸雄

〔一般目標〕
顎顔面成長や不正咬合の発現を理解するとともに、不正咬合の診断や治療方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①顎顔面の成長発育を説明する。
②不正咬合の病態を説明する。
③不正咬合の診査・検査方法を説明する。

〔教科書・参考書〕
１．William R. Proffit 著『プロフィトの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

〔成績評価の方法・基準〕
出席 20%、レポート 30%、指定症例の分析結果作成 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/9 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 顎顔面の成長発育	顎顔面の成長発育を理解する。	顎顔面の成長発育を説明する。	卒前時に修得した成長発育の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
2	4/16 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 歯列の成長発育	顎顔面の成長発育を理解する。	歯列の成長発育を説明する。	卒前時に修得した成長発育の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
3	4/23 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 口腔機能の発達	顎顔面の成長発育を理解する。	口腔機能の発達を説明する。	卒前時に修得した成長発育の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
4	4/30 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	叢生の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
5	5/14 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	空隙歯列の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
6	5/21 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	上顎前突の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	5/28 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	下顎前突の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
8	6/4 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	開咬の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
9	6/11 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	過蓋咬合の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
10	6/18 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	交叉咬合の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
11	6/25 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の病態	不正咬合の病態を理解する。	埋伏歯の病態を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の病態の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
12	7/2 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の診査・検査	不正咬合の形態的診査･検査方法を理解する。	セファロ分析（側面、正面）を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の診査・検査の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
13	7/9 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の診査・検査	不正咬合の形態的診査･検査方法を理解する。	模型分析を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の診査・検査の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
14	7/16 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の診査・検査	不正咬合の形態的診査･検査方法を理解する。	抜歯・非抜歯の判定方法と固定の設定を説明する。	卒前時に修得した不正咬合の診査・検査の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
15	8/27 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の診査・検査	不正咬合の形態的診査･検査方法を理解する。	コンピュータを用いたセファロ分析を説明する。	コンピュータによるセファロ分析に用いるソフトの使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室

矯正歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕
玉置幸雄

〔一般目標〕
顎顔面成長や不正咬合の発現を理解するとともに、不正咬合の診断や治療方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①不正咬合の診断方法を説明する。
②不正咬合の治療方法を説明する。
③他科とのチームアプローチを説明する。

〔教科書・参考書〕
1．William R. Proffit 著『プロフィトの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

〔成績評価の方法・基準〕
出席 20%、レポート 30%、指定症例の治療計画作成 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	10/1 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査･検査方法と診断を理解する。	下顎位・早期接触の診査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
2	10/8 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査･検査方法と診断を理解する。	口腔周囲筋機能の診査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
3	10/15 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査･検査方法と診断を理解する。	顎運動解析装置を用いた検査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
4	10/22 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査･検査方法と診断を理解する。	POS を用いた診断方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
5	10/29 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット１ 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査･検査方法と診断を理解する。	矯正治療におけるインフォームドコンセントを説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
6	12/3 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	矯正治療による組織変化を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	12/10 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	矯正治療に必要な力学を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
8	12/17 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	唇舌側弧線装置、床矯正装置と拡大装置を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
9	1/7 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	機能的矯正装置を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
10	1/14 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	顎整形装置を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
11	1/21 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	マルチブラケット装置による基本的治療方法を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
12	1/28 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	保定を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
13	2/4 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の治療におけるチームアプローチ	不正咬合の治療におけるチームアプローチを理解する。	限局矯正を説明する。	卒前時に修得したチームアプローチの内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
14	2/18 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の治療におけるチームアプローチ	不正咬合の治療におけるチームアプローチを理解する。	顎変形症の病態と外科的矯正治療を説明する。	卒前時に修得したチームアプローチの内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
15	2/25 （木） 13:00～ 14:20	玉置	ユニット３ 不正咬合の治療におけるチームアプローチ	不正咬合の治療におけるチームアプローチを理解する。	口唇・口蓋裂の病態と治療を説明する。	卒前時に修得したチームアプローチの内容についてまとめておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室

矯正歯科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕
玉置幸雄、阿部朗子

〔一般目標〕
矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

〔授業到達目標〕
①口腔機能の基本的な検査方法を習得する。
②セファロ分析および模型分析の方法を習得する。

〔教科書・参考書〕
1．宮下邦彦　著『頭部エックス線規格写真法の基礎　第２版』クインテッセンス出版　2009
2．William R. Proffit 著『プロフィトの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

〔成績評価の方法・基準〕
出席 20%、分析結果作成 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～2	4/15 （水） 13:00～15:55	阿部	ユニット１ 不正咬合の機能的診査･検査方法	不正咬合の機能的診査･検査方法を習得する。	口腔周囲筋機能の診査方法を習得する。	診査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
3～4	4/22 （水） 13:00～15:55	阿部	ユニット１ 不正咬合の機能的診査･検査方法	不正咬合の機能的診査･検査方法を習得する。	下顎位・早期接触の診査方法を習得する。	診査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
5～6	5/8 （金） 13:00～15:55	阿部	ユニット１ 不正咬合の機能的診査･検査方法	不正咬合の機能的診査･検査方法を習得する。	顎運動解析装置を用いた検査方法を習得する。	検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
7～10	5/13 （水） 9:00～15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	正面セファロを用いた硬組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦著	矯正歯科診療室
11～14	5/20 （水） 9:00～15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	側面セファロを用いた硬組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦著	矯正歯科診療室
15～18	5/27 （水） 9:00～15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	側面セファロを用いた軟組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦著	矯正歯科診療室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
19 ～ 22	6/3 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	顎態模型を用い歯列・咬合の模型分析方法を習得する。	模型分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
23 ～ 26	6/10 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	予測模型の製作方法を習得し、抜歯・非抜歯の判定や外科的矯正治療の治療計画の作成に用いる。	模型分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
27 ～ 30	6/17 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 不正咬合の形態的診査･検査方法と診断	不正咬合の形態的診査･検査方法ならびに診断方法を習得する。	POS を用いた診断方法を習得する。	セファロ分析・模型分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	プロフィトの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室

矯正歯科学実習②

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕
玉置幸雄、阿部朗子

〔一般目標〕
矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

〔授業到達目標〕
①不正咬合の治療に用いる矯正装置の製作方法を習得する。
②混合歯列期の症例の診断を行い、治療計画を作成する。

〔教科書・参考書〕
1．宮下邦彦　著『頭部エックス線規格写真法の基礎　第２版』クインテッセンス出版　2009
2．石川博之　他編著『チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド』医歯薬出版　2004
3．石川博之　他編著『矯正歯科治療　この症例にこの装置　第２版』　医歯薬出版　2017

〔成績評価の方法・基準〕
出席 20%、装置製作物 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～2	6/24（水）13:00～15:55	玉置	ユニット１矯正装置の製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	床装置を製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之他編著	矯正歯科診療室・技工室
3～4	7/1（水）13:00～15:55	玉置	ユニット１矯正装置の製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	フレンケル装置を製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之他編著	矯正歯科診療室・技工室
5～6	7/8（水）13:00～15:55	玉置	ユニット１矯正装置の製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	アクチバトールを製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之他編著	矯正歯科診療室・技工室
7～8	7/15（水）13:00～15:55	阿部	ユニット１矯正装置の製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	クワドヘリックスを製作する。	卒前時に修得したリンガルアーチの製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之他編著	矯正歯科診療室・技工室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 10	7/22 （水） 13:00～ 15:55	阿部	ユニット１ 矯正装置の製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	急速拡大装置を製作する。	卒前時に修得したリンガルアーチの製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之他編著	矯正歯科診療室・技工室
11 ～ 14	7/29 （水） 9:00～ 15:55	阿部	ユニット２ 混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	混合歯列期叢生症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	セミナー室
15 ～ 18	8/5 （水） 9:00～ 15:55	阿部	ユニット２ 混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	混合歯列期上顎前突症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	セミナー室
19 ～ 22	8/12 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	混合歯列期下顎前突症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	セミナー室
23 ～ 26	8/19 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	混合歯列期開咬症例の診断と治療計画の作成および筋機能療法を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	セミナー室
27 ～ 30	8/26 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット２ 混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	混合歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	埋伏歯の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	セミナー室

矯正歯科学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕
玉置幸雄、阿部朗子

〔一般目標〕
矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

〔授業到達目標〕
①永久歯列期の症例の診断を行い、治療計画を作成する。
②顎変形症の診断を行い、治療計画を作成する。
③口唇・口蓋裂の不正咬合の診断を行い、治療計画を作成する。

〔教科書・参考書〕
1．宮下邦彦　著『頭部エックス線規格写真法の基礎　第２版』クインテッセンス出版　2009
2．石川博之　他編著『矯正歯科治療　この症例にこの装置　第２版』　医歯薬出版　2017

〔成績評価の方法・基準〕
出席 20%、予測模型の製作物 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～4	9/30（水）9:00～15:55	玉置	ユニット１永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	永久歯列期Ⅰ級叢生症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室
5～8	10/7（水）9:00～15:55	阿部	ユニット１永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	永久歯列期Ⅰ級開咬症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室
9～12	10/14（水）9:00～15:55	阿部	ユニット１永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	永久歯列期Ⅱ級症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室
13～16	10/21（水）9:00～15:55	玉置	ユニット１永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	永久歯列期Ⅲ級症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
17 ～ 20	10/28 （水） 9:00～ 15:55	玉置	ユニット１ 永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法	永久歯列期の患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	永久歯列期Ｉ級上下顎前突症例の診断と治療計画の作成を行う。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室
21 ～ 25	1/6 （水） 9:00～ 17:30	阿部	ユニット２ 不正咬合の治療におけるチームアプローチの方法	不正咬合の治療におけるチームアプローチの方法を習得する。	顎変形症患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室
26 ～ 30	1/13 （水） 9:00～ 17:30	玉置	ユニット２ 不正咬合の治療におけるチームアプローチの方法	不正咬合の治療におけるチームアプローチの方法を習得する。	口唇・口蓋裂患者の診断方法と治療計画の作成方法を習得する。	卒前時に修得した診断・治療計画の作成方法についてまとめておく。	矯正歯科治療　この症例にこの装置 石川博之他編著	矯正歯科学分野研究室

口腔外科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：池邉哲郎

〔担当教員〕
池邉哲郎、米津博文

〔一般目標〕
口腔顎顔面領域の外傷および形態異常の診断法と治療法の現状を理解し、ＥＢＭに基づいた正確で安全な手術のための問題点を抽出する力をつけ、その問題点を解決する方法論を習得する。

〔授業到達目標〕
① 歯牙の外傷の診断法と治療法を説明できる。
② 口腔・顎顔面領域の軟組織損傷の創傷治癒と治療法を説明できる。
③ 口腔・顎顔面領域の骨折の診断法、治療法と予防法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
① 宮崎　正　編　『口腔外科学』第4版　医歯薬出版
② 榎本昭二他　監修　『最新口腔外科学』　第5版　医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、レポート 30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	前期 4月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット１ 歯の外傷	歯牙の外傷の診断法と治療法を説明できる。	１．歯牙の外傷の診断法を説明できる。 ２．歯牙脱臼の治癒過程を説明できる。 ３．歯牙再植法を説明できる。 ４．脱臼歯牙の予後について説明できる。 ５．歯牙損傷の予防法つついて説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
6～10	前期 5月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット２ 軟組織の損傷	口腔･顎顔面領域の軟組織損傷の創傷治癒と治療法を説明できる。	１．創傷治癒過程を細胞・組織レベルで説明できる。 ２．顔面皮膚損傷の種類と治療法を説明できる。 ３．口腔粘膜損傷の種類と治療法を説明できる。 ４．縫合法を説明できる。 ５．上皮再生についての文献を読み、説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
11～15	前期 6月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット３ 顎骨骨折	口腔･顎顔面領域の骨折の診断法､治療法と予防法を説明できる。	１．骨の構造と骨折の修復過程を説明できる。 ２．顎骨骨折の画像を読影できる。 ３．歯槽骨骨折・下顎骨骨折の診断法と治療法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					４．上顎骨骨折・頬骨骨折の診断法と治療法を説明できる。 ５．マウスガードの意義を説明できる。			

口腔外科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：池邉哲郎

〔担当教員〕
池邉哲郎、米津博文

〔一般目標〕
口腔顎顔面領域の外傷および形態異常の診断法と治療法の現状を理解し、ＥＢＭに基づいた正確で安全な手術のための問題点を抽出する力をつけ、その問題点を解決する方法論を習得する。

〔授業到達目標〕
① 口腔・顎顔面領域の機能異常疾患の診断法と治療法を説明できる。
② 口腔・顎顔面領域の形態異常疾患の診断法と治療法を説明できる。
③ 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み内容を説明できる。

〔教科書・参考書〕
① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版
② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、レポート 30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	後期 9月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット１ 顎関節疾患	口腔・顎顔面領域の機能異常疾患の診断法と治療法を説明できる。	1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎関節症の病態を説明できる。 3. 顎関節症の診断法と治療法を説明できる。 4. 顎関節強直症の診断法と治療法を説明できる。 5. 顎関節脱臼の診断法と治療法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
6～10	後期 10月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット２ 顎変形症	口腔・顎顔面領域の形態異常疾患の診断法と治療法を説明できる	1. 顎変形症の種類と診断法を説明できる。 2. 顎変形症の手術法を説明できる。 3. 顎変形症の予後について説明できる。 4. 顎変形症と顎関節の関連を説明できる。 5. 仮骨延長術の原理と術式を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
11～15	後期 11月 月・金曜日 8:15～9:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット３ 論文読解	口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み内容を説明できる。	1. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					3. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 4. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 5. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。			

口腔外科学実習①
（臨床基礎実習）

前期３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：池邉哲郎

〔担当教員〕
池邉哲郎、平木昭光、橋本憲一郎

〔一般目標〕
口腔顎顔面領域の疾患の口腔内写真、画像（エックス線、ＣＴ，ＭＲＩ）、および病理組織像を観察し、診断力を習得する。

〔授業到達目標〕
口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し的確な診断と治療計画を立てることができる。

〔教科書・参考書〕
① 宮崎　正　編　『口腔外科学』第4版　医歯薬出版
② 榎本昭二他　監修　『最新口腔外科学』　第5版　医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～10	4月～7月 月曜日 10:00～12:00	池邉哲郎 平木昭光	ユニット１ 診断法	口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し的確な診断ができる。	1. 口腔外科外来患者を診察し臨床所見から的確な診断を行う。 2. 口腔外科外来患者を診察し画像所見から鑑別診断を列挙する。 3. 口腔外科外来患者を診察し、必要な臨床検査を選択する。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科外来診療室
11～15	4月～7月 木曜日 10:00～12:00	池邉哲郎 平木昭光	ユニット２ 治療計画	口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し治療計画を立てることができる。	1. 口腔外科外来患者を診察し、その診断から的確な治療計画を立てる。 2. 口腔外科外来患者を診察し複数の治療法を挙げてその利点欠点を説明する。 3. 選択した治療法の合併症を説明する。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科外来診療室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
16～25	9 月～11 月 月曜日 9:40～11:40	池邉哲郎 平木昭光 橋本憲一郎	ユニット３ 入院患者	口腔外科入院患者の治療上の問題点や合併症を説明できる。	1. 口腔外科入院患者の治療計画を立てる。 2. 口腔外科入院患者の全身管理ができる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	医科歯科総合病院病棟
26～30	9 月～11 月 木曜日 9:40～11:40	池邉哲郎 平木昭光 橋本憲一郎	ユニット４ 周術期管理	口腔外科入院患者の周術期の管理ができる。	1. 口腔外科入院患者の手術計画を立てる。 2. 口腔外科入院患者の周術期の指示ができる。 3. 口腔外科入院患者の術前検査をオーダーし結果を解釈する。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	医科歯科総合病院病棟

口腔外科学実習②
（口腔・顎顔面の機能修復と形態の改善法）

後期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：池邉哲郎

〔担当教員〕
池邉哲郎、米津博文

〔一般目標〕
口腔顎顔面領域の形態異常・機能異常の診断法と治療法を習得する。

〔授業到達目標〕
顎変形症手術の計画と準備ができる。

〔教科書・参考書〕
① 宮崎　正　編　『口腔外科学』第4版　医歯薬出版
② 榎本昭二他　監修　『最新口腔外科学』　第5版　医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	4 月～7 月 月曜日 水曜日 17:00～18:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット１ 顎変形症手術	顎変形症手術の計画と準備ができる。	１.顎変形症のペーパーサージェリーができる① ２.顎変形症のペーパーサージェリーができる② ３.顎変形症セファロ写真から骨片の移動量･方向を決定できる① ４.顎変形症セファロ写真から骨片の移動量･方向を決定できる② ５.顎変形症の骨片移動後の咬合を推定できる① ６.顎変形症の骨片移動後の咬合を推定できる② ７.顎変形症の術後セファロ写真を評価できる① ８.顎変形症の術後セファロ写真を評価できる② ９.顎変形症の症例プレゼンテーションができる① 10.顎変形症の症例プレゼンテーションができる② 11.術後骨組織のコンピューターシミュレ	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科 外来診療室 手術室

回	授業日 時　限	授　業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					ーションができる① 12. 術後骨組織のコンピューターシミュレーションができる② 13. 術後軟組織のコンピューターシミュレーションができる① 14. 術後軟組織のコンピューターシミュレーションができる② 15. 手術の準備ができる。			

口腔外科学実習③
（口腔・顎顔面の機能修復と形態の改善法）

後期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：池邉哲郎

〔担当教員〕
池邉哲郎、米津博文

〔一般目標〕
口腔顎顔面領域の形態異常・機能異常の診断法と治療法を習得する。

〔授業到達目標〕
顎関節症の診断に基づいた治療計画を立てることができる。

〔教科書・参考書〕
① 宮崎　正　編　『口腔外科学』第4版　医歯薬出版
② 榎本昭二他　監修　『最新口腔外科学』　第5版　医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	8 月～11 月 月曜日 水曜日 17:00～18:30	池邉哲郎 米津博文	ユニット１ 顎関節症の診断と治療	顎関節症の診断に基づいた治療計画を立てることができる。	１．顎関節症の理学療法ができる① ２．顎関節症の理学療法ができる② ３．顎関節症のマニピュレーションができる① ４．顎関節症のマニピュレーションができる② ５．顎関節症のスプリントを作製できる① ６．顎関節症のスプリントを作製できる② ７．顎関節症の薬物療法を理解できる① ８．顎関節症の薬物療法を理解できる② ９．顎関節症の画像診断ができる① 10．顎関節症の画像診断ができる② 11. 顎関節腔に穿刺ができる。 12. 顎関節腔にパンピングができる① 13. 顎関節腔にパンピングができる② 14. 顎関節鏡を操作できる① 15. 顎関節鏡を操作できる②	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科外来診療室

口腔腫瘍学講義①・②

口腔腫瘍学講義①　前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
口腔腫瘍学講義②　後期１５コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：平木昭光

〔担当教員〕
平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子

〔一般目標〕
口腔癌の病態病理、診断法と治療法、特に集学的治療と各種再建法について理解する。
癌切除標本の取り扱い方、臨床病理組織の見方、患者管理を理解する。

〔授業到達目標〕
① 口腔癌の臨床診断法・画像診断法を説明できる。
② 口腔癌の放射線療法・化学療法を説明できる。
③ 口腔癌の手術術式を説明できる。
④ 口腔再建術における各種骨・筋皮弁の設計法と適応を説明できる。
⑤ 口腔癌切除標本の取り扱いと病理組織診断の要点を説明できる。
⑥ 口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 宮崎　正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版　2019
2. 内山健志 編『サクシンクト口腔外科学 第4版』学建書院　2019

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、レポート 30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	４月 火・木 曜日 8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット１	口腔癌の臨床診断法･画像診断法を説明できる。	１．前癌病変の病態と診断法を説明できる。 ２．口腔癌の視診型、触診法を説明できる。 ３．口腔癌の検査の進め方を説明できる。 ４．口腔癌のエックス線、ＣＴ、ＭＲＩ検査を説明できる。 ５．転移リンパ節の診断法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
6～10	５月 火・木 曜日 8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット２	口腔癌の放射線療法･化学療法を説明できる。	６．術前照射と術後照射について説明できる。 ７．化学療法の投与方法と各種抗癌薬の作用機序を説明できる。 ８．放射線療法と化	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					学療法の有害事象とその対策法を説明できる。 ９．放射線療法と化学療法の併用療法の種類とその意義について説明できる。 10．集学的治療の概念を説明できる。			
11～15	６月 火・木曜日 8:10～9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット３	口腔癌の手術術式を説明できる。	11．舌癌の手術術式とその適応を説明できる。 12．下顎歯肉癌の手術術式とその適応を説明できる。 13．上顎歯肉癌の手術術式とその適応を説明できる。 14．頸部郭清術の手術術式とその適応を説明できる。 15．手術による機能障害の種類と対策法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
16～20	【後期】 ９月 火・木曜日 8:10～9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット４	口腔再建術における各種骨･筋皮弁の設計法と適応を説明できる。	16．植皮・局所皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 17．筋皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 18．骨皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 19．遊離皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 20．再建術のトラブルとその対策法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
21～25	10 月 火・木曜日 8:10～9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット５	口腔癌切除標本の取り扱いと病理組織診断の要点を説明できる。	21．口腔癌切除標本の固定法、切り出し、記録、リンパ節記録について説明できる。 22．扁平上皮癌の分化度、組織学的浸潤様式を説明できる。 23．放射線・化学療法の組織学的効果を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					24．放射線・化学療法の臨床的効果を説明できる。 25．扁平上皮癌の顎骨浸潤様式を説明できる。			
26 ～ 30	11 月 火・木 曜日 8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット６	口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。	26．口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。 27．口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。 28．口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。 29．口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。 30．口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

口腔腫瘍学実習①

３０コマ　（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：平木昭光

〔担当教員〕
平木昭光、橋本憲一郎，佐々木三奈、吉住潤子

〔一般目標〕
口腔癌の病態を理解し、治療計画立案および予後の経過観察法を習得する。

〔授業到達目標〕
① 口腔癌の病態を論文から理解する。
② 口腔癌患者の予後の経過観察ができる。
③ 臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。

〔教科書・参考書〕
1. 宮崎　正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版　2019
2. 内山健志 編『サクシンクト口腔外科学 第4版』学建書院　2019

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4 月～ 7 月 火曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット１	口腔癌の病態を論文から理解する。	1. 口腔癌細胞に関する基礎的な英語論文を読解できる。 2. 口腔癌の臨床に関する英語論文を読解できる。 3. 口腔癌の臨床に関する論文のエビデンスレベルを評価できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
16 ～ 30	4 月～ 12 月 金曜日 10:00 ～ 12:00	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット２	口腔癌患者の予後の経過観察ができる。	1. 口腔癌患者の術後経過観察ができる。 2. 口腔癌患者の術後の画像検査の評価ができる。 3. 口腔癌患者の QOL を医療面接によって評価できる。 4. 口腔癌患者の術後機能を評価できる。 5. 口腔癌患者および家族に経過を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

口腔腫瘍学実習②

３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：平木昭光

〔担当教員〕
平木昭光、橋本憲一郎，佐々木三奈、吉住潤子

〔一般目標〕
口腔癌の病態を理解し、治療計画立案および予後の経過観察法を習得する。

〔授業到達目標〕
① 口腔癌の病態を論文から理解する。
② 口腔癌患者の予後の経過観察ができる。
③ 臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。

〔教科書・参考書〕
1. 宮崎　正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版　2019
2. 内山健志 編『サクシンクト口腔外科学 第4版』学建書院　2019

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	4 月～ 3 月 月 1 回 水曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット１	臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。	症例検討会(CPC) 10 回 １回３コマ	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

口腔腫瘍学実習③
（口腔軟組織および顎骨の再建術）

３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：平木昭光

〔担当教員〕
平木昭光、橋本憲一郎，佐々木三奈、吉住潤子

〔一般目標〕
口腔軟組織および顎骨の再建術の基本技術を理解する。

〔授業到達目標〕
① 植皮術の理論と方法を説明できる。
② 有茎皮弁の理論と方法を説明できる。
③ 遊離皮弁の理論と方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
1.宮崎　正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版　2019
2.内山健志 編『サクシンクト口腔外科学 第4版』学建書院　2019

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	5 月～ 7 月 金曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット１	植皮術の理論と方法を説明できる。	１．皮膚の構造を説明できる。 ２．ダーマトームの使い方を理解する。 ３．タイオーバー法を説明できる。 ４．植皮の適応を説明できる。 ５．植皮術の手順を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
11 ～ 20	8 月～ 10 月 金曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット２	有茎皮弁の理論と方法を説明できる。	６．有茎皮弁の種類と理論を説明できる。 ７．大胸筋皮弁の設計と適応を説明できる。 ８．頸部島状皮弁の設計と適応を説明できる。 ９．D-P 皮弁の設計と適応を説明できる。 10．有茎皮弁の合併症を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	8 月～ 10 月 金曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット３	遊離皮弁の理論と方法を説明できる。	11．遊離皮弁の種類と理論を説明できる。 12．微小血管吻合の手順と危険因子を説明できる。 13．前腕皮弁の設計と適応を説明できる。 14．腹直筋皮弁の設計と適応を説明できる。 15．広背筋皮弁と肩甲骨皮弁の設計と適応を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

画像診断学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：香川　豊宏

〔担当教員〕
香川豊宏

〔一般目標〕
顎顔面領域の疾患の画像診断を適切に行うために、CT の撮像原理、CT 特有の障害陰影、画像解剖および病変の所見を理解するとともに、CT 画像を用いた臨床研究の方法および最新の読影技法を習得する。

〔授業到達目標〕
①CT の撮像原理を説明できる。
②CT の障害陰影を説明できる。
③CT 解剖を説明できる。
④病変の CT 所見を説明できる。
⑤CT に関する最新の論文を読み、その研究方法について説明できる。

〔教科書・参考書〕
Peter M Som, Hugh D Curtin 編　「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 3	前期 4 月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット１	CT 撮像原理および CT 特有の障害陰影を修得する。	1．管球と検出器との関係を説明できる。 2．CT 画像形成原理を説明できる。 3．CT 値について説明できる。 4.window 幅､window 値について説明できる。 5．部分容積効果について説明できる。 6．金属アーチファクトを説明できる。 7．動きによるアーチファクトを説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
4 ～ 8	前期 5 月 月、火曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット２	CT 解剖を修得する。	1．頭頸部の CT 解剖を説明できる。 2．頭頸部の臓器の CT 値を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 13	前期 5月、 6月 月、火 曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット３	病変の CT 所見を修得する。	１．良性腫瘍の CT 所見を説明できる。 ２．悪性腫瘍の CT 所見を説明できる。 ３．嚢胞の CT 所見を説明できる。 ４．炎症の CT 所見を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
14 ～ 15	前期 6月 月、火 曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット４	CT に関する最新の論文を読み､その研究方法について修得する。	１．文献調査のまとめを行い、最新の情報を説明できる。 ２．臨床研究法について説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

画像診断学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：香川　豊宏

〔担当教員〕
香川豊宏

〔一般目標〕
顎顔面領域の疾患の画像診断を適切に行うために、MRI の撮像原理、MRI 特有の障害陰影、画像解剖および病変の形態的および機能的所見を理解するとともに、MRI 画像を用いた臨床研究の方法および最新の読影技法を習得する。

〔授業到達目標〕
①MRI の撮像原理を説明できる。
②MRI の障害陰影を説明できる。
③MRI 解剖を説明できる。
④病変の形態的および機能的 MRI 所見を説明できる。
⑤MRI に関する最新の論文を読み、その研究方法について説明できる。

〔教科書・参考書〕
Peter M Som, Hugh D Curtin 編　「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 3	後期 9 月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット１	MRI 撮像原理および MRI 特有の障害陰影の成因を理解する。	１．MRI 画像形成原理を説明できる。 ２．T1 強調画像について説明できる。 ３．T2 強調画像について説明できる。 ４．STIR 画像について説明できる。 ５．fMRI について説明できる。 ６．金属アーチファクトを説明できる。 ７．動きによるアーチファクトを説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
4 ～ 8	後期 9 月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット２	MRI 解剖を修得する。	１．頭頸部の MRI 解剖を説明できる。 ２．頭頸部の臓器の信号強度を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 13	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット３	病変のMRI所見の記述法を修得する。	１．良性腫瘍のMRI所見を説明できる。 ２．悪性腫瘍のMRI所見を説明できる。 ３．嚢胞のMRI所見を説明できる。 ４．炎症のMRI所見を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
14 ～ 15	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット４	MRIに関する最新の論文を読み､その研究方法について修得する。	１．文献調査のまとめを行い、最新の情報を説明できる。 ２．臨床研究法について説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

画像診断学実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：香川　豊宏

〔担当教員〕
香川豊宏

〔一般目標〕
歯科疾患のエックス線検査を適切に行うために口内法エックス線撮影および読影に必要な基本的な理論および手技を修得する。

〔授業到達目標〕
①二等分法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
②平行法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
③咬翼法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
④咬合法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
⑤歯頸部投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
⑥偏心投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。

〔教科書・参考書〕
岡野友宏、他　編集　『歯科放射線学　第５版』　医歯薬出版　2013
佐野　司　他　『歯科放射線マニュアル』、南山堂、　2006

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%､実習点 60%｡実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～10	前期 4 月 水曜日、木曜日 9：00～12：00	香川	ユニット１	二等分法および平行法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	１．二等分法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 ２．平行法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
11～20	前期 4 月、5 月 水曜日、木曜日 9：00～12：00	香川	ユニット２	咬翼法および咬合法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	１．咬翼法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 ２．咬合法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
21～30	前期 5 月、6 月 水曜日、木曜日 9：00～12：00	香川	ユニット３	歯頸部投影法および偏心投影法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	１．歯頸部投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 ２．偏心投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来

画像診断学実習②

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：香川　豊宏

〔担当教員〕
香川豊宏

〔一般目標〕
顎顔面領域の疾患のエックス線検査を適切に行うために口外法撮影および読影に必要な基本的な理論および手技を修得する。

〔授業到達目標〕
①パノラマエックス線写真の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
②後頭前頭方向撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
③Waters 法の撮影技術および読影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
④顎関節撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
⑤頭部エックス線規格撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。

〔教科書・参考書〕
岡野友宏、他　編集　『歯科放射線学　第５版』　医歯薬出版　2013
佐野　司　他　『歯科放射線マニュアル』、南山堂、　2006

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	前期 6 月,7 月 水曜日, 木曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット１	パノラマエックス線写真の読影法を理解し修得する。	1．パノラマエックス線写真の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
11 ～ 20	前期 7 月,8 月 水曜日, 木曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット２	頭部単純エックス線写真の撮影技術を理解し修得する。	1，後頭前頭方向撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2．Waters 法の撮影技術および読影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
21 ～ 30	前期 8 月,9 月 水曜日, 木曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット３	頭部単純エックス線写真の読影法を理解し修得する。	1．顎関節撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2．頭部エックス線規格撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来

画像診断学実習③

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：香川　豊宏

〔担当教員〕
香川豊宏

〔一般目標〕
顎顔面領域の疾患を適切に画像検査および読影するために CT、MRI および超音波検査に必要な基本的な理論を理解し、その読影技術を修得する。

〔授業到達目標〕
①CT の撮影技術を説明し、読影できる。
②MRI の撮影技術を説明し、読影できる。
③超音波検査の走査技術を説明し、読影できる。

〔教科書・参考書〕
岡野友宏、他　編集　『歯科放射線学　第５版』　医歯薬出版　2013
佐野　司　他　『歯科放射線マニュアル』、南山堂、　2006
Peter M Som, Hugh D Curtin 編　「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10 月 水曜日, 木曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット１	CT の撮影技術および読影法を理解し修得する。	１．CT 装置の操作を説明できる。 ２．CT 検査条件を説明できる。 ３．CT 画像作成法を説明できる。 ４．CT 画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来
11 ～ 20	後期 11 月 水曜日, 木曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット２	MRI の撮影技術および読影法を理解し修得する。	１．MRI 装置の操作を説明できる。 ２．MRI 検査条件を説明できる。 ３．MRI 画像作成法を説明できる。 ４．MRI 画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来
21 ～ 30	後期 12 月, 1 月 水曜日 9：00～ 12：00	香川	ユニット３	超音波検査の走査技術および読影法を理解し修得する。	１．超音波装置の操作を説明できる。 ２．超音波検査条件を説明できる。 ３．超音波画像作成法を説明できる。 ４．超音波画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学　第５版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来

麻酔管理学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：谷口省吾

〔担当教員〕
谷口省吾、冨永晋二、野上堅太郎

〔一般目標〕
疼痛を主症状とする疾患の疼痛制御法ならびに歯科治療に伴う疼痛を制御する方法について理解する.

〔授業到達目標〕
①疼痛の原因と生体への影響について説明できる.
②各種麻酔薬の特徴と疼痛管理法について説明できる.
③疼痛性疾患の治療法について説明できる.

〔教科書・参考書〕
1. 歯科麻酔学　医歯薬出版、第 8 版、2018 年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート，口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 3	前期 4 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット 1 疼痛の原因と生体への影響	疼痛の原因と生体への影響について理解する.	1. 疼痛の発生機序を説明できる. 2. 疼痛の原因を説明できる. 3. 疼痛の生体への影響について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
4 ～ 10		谷口 冨永 野上	ユニット 2 歯科治療時の疼痛管理法	各種麻酔薬の特徴と疼痛管理法について理解する.	1. 局所麻酔薬の特徴を説明できる. 2. 局所麻酔法について説明できる. 3. 吸入麻酔薬の特徴を説明できる. 4. 吸入麻酔薬での全身麻酔法を説明できる. 5. 静脈麻酔薬や麻薬の特徴を説明できる. 6. 静脈麻酔薬や麻薬での全身麻酔法を説明できる. 7. 鎮静法について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	前期 5月, 6月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット3 疼痛性疾患の治療法	疼痛性疾患の治療法について理解する.	1. 神経ブロックについて説明できる. 2. 消炎鎮痛薬の作用機序について説明できる. 3. 抗うつ薬, 精神薬の鎮痛作用について説明できる. 4. 麻薬による鎮痛とその副作用について説明できる. 5. Drug Challenge Test の方法とその意義について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

麻酔管理学講義②

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：谷口省吾

〔担当教員〕
谷口省吾、冨永晋二、野上堅太郎

〔一般目標〕
侵襲などのストレスに対する生体の反応を理解し，有害な反応を防止するために行う麻酔の目的，作用などを理解する．また，歯科治療を受ける患者のバイタルサインの把握法，状態評価法について理解を深める．

〔授業到達目標〕
①侵襲時の生体反応に関連する生理学について説明できる．
②侵襲時の生体反応について説明できる．
③侵襲による生体反応の制御法について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 歯科麻酔学　医歯薬出版、第 8 版、2018 年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007 年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート，口頭発表

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	前期 4 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット１ 侵襲時の生体反応	侵襲時の生体反応における生理･内分泌反応について理解する．	1. 心血管系の機能を説明できる． 2. 呼吸系の機能を説明できる． 3. 内分泌系の機能を説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
6～12	前期 5 月，6 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット２ 侵襲時の生体反応	侵襲時の生体反応における代謝･神経機能およびショックの概念について理解する．	1. 代謝の変動を説明できる． 2. 自律神経機能の変動を説明できる． 3. ショックの種類と病態について説明できる． 4. 臓器障害について説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
13～15	前期 5 月，6 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット３ 侵襲による生体反応の制御法	侵襲による生体反応の制御法について理解する．	1. 侵襲による生体反応の評価法について説明できる． 2. 麻酔による生体反応の制御について説明できる． 3. 薬物による侵襲反応の制御について説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

麻酔管理学実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：谷口省吾

〔担当教員〕
谷口省吾、冨永晋二、野上堅太郎

〔一般目標〕
手術侵襲などのストレスに対する生体の反応を知り，有害な反応を防止するために行う全身麻酔の目的，作用を理解し，全身麻酔に必要な基礎的な知識と技術を習得する．歯科治療時に発生する緊急事態を把握・分析でき，救急蘇生に必要な基礎的な知識と技術を習得する．また，顎顔面痛や麻痺の発生機序を理解し，その診断と治療に必要な基礎的な知識と技術を習得する．

〔授業到達目標〕
①術前評価と麻酔計画について説明できる
②気道確保と気管挿管について説明できる．
③周術期管理について理解する．

〔教科書・参考書〕
1. 歯科麻酔学　医歯薬出版、第 8 版、2018 年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007 年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート，口頭発表

	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	前期 4 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット 1 術前評価と麻酔計画	術前評価と麻酔計画について理解する．	1. 術前状態評価を説明できる． 2. 症例の麻酔危険度を説明できる． 3. 症例と手術法に即した麻酔計画を説明できる． 4. 吸入麻酔薬の種類，特徴，吸入麻酔法を説明できる． 5. 静脈麻酔薬の種類，特徴，吸入麻酔法を説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
11 ～ 20	前期 4 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット 2 気道確保と気管挿管	気道確保と気管挿管について理解する．	1. 気道の解剖と気道確保の重要性について説明できる． 2. 気道確保の方法を説明できる． 3. 気管挿管の意義と方法を説明できる． 4. 気道確保困難な症例の対処法を説明できる． 5. 気管麻酔の適応・利点・欠点を説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	前期 5月, 6月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット3 周術期管理	周術期管理について理解する.	1. 麻酔の導入・維持・覚醒を説明できる. 2. 麻酔深度と手術侵襲の関係を説明できる. 3. 麻酔中の呼吸・循環管理を説明できる. 4. 術中輸液・輸血の意義を説明できる. 5. 術中合併症の種類を知り, その予防法・対処法を説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

麻酔管理学実習②

前期３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：谷口省吾

〔担当教員〕
谷口省吾、冨永晋二、野上堅太郎

〔一般目標〕
周術期管理における術後の合併症とその対策、小児や障害者など通常成人と異なる特徴と管理法、精神鎮静法の種類と実施法、ならびに歯科治療時の全身偶発症と治療法について理解する.

〔授業到達目標〕
①術後管理について説明できる
②小児や害者の特徴と麻酔管理上の注意点を説明できる.
③精神鎮静法について説明できる.
④歯科治療時に起こる全身的偶発症について説明できる.

〔教科書・参考書〕
1. 歯科麻酔学　医歯薬出版、第 8 版、2018 年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007 年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート，口頭発表

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～6	前期4月月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット１ 術後管理	術後管理について理解する.	1. 麻酔からの覚醒状態と抜管の時期について説明できる. 2. 術後合併症，その予防法･対処法について説明できる. 3. 日帰り全身麻酔の意義と問題点について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
7～10	前期5月，6月月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット２ 小児･障害者の麻酔管理	小児や害者の特徴と麻酔管理上の注意点を理解する.	1. 小児の特徴と麻酔管理上の注意点を説明できる. 2. 障害者の特徴と麻酔管理上の注意点について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 20	前期 5月, 6月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット３ 精神鎮静法	精神鎮静法について理解する.	1. 精神鎮静法の特徴を知り,全身麻酔法との相違点について説明できる. 2. 精神鎮静法の適応と禁忌について説明できる. 3. 笑気の特徴と吸入鎮静法について説明できる. 4. 静脈内鎮静法に使用する薬剤の種類とその使用法について説明できる. 5. 精神鎮静法の帰宅基準とその意義について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
21 ～ 30	前期 5月, 6月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット４ 救急蘇生法	歯科治療時に起こる全身的偶発症について理解する.	1. 歯科治療時に起こる全身的偶発症の種類と原因について説明できる. 2. 全身的偶発症に対する対処法について説明できる. 3. 一次救命処置の手順と方法について説明できる. 4. AEDの重要性と使用法について説明できる. 5, 二次救命処置の手順と方法について説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

麻酔管理学実習③

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：谷口省吾

〔担当教員〕
谷口省吾、冨永晋二、野上堅太郎

〔一般目標〕
バイタルサインの測定およびモニタリングにより患者の状態を正確に把握し,安全な患者管理法を習得する．顎顔面痛や麻痺の発生機序を理解し，その診断と治療に必要な基礎的な知識と技術を習得する．

〔授業到達目標〕
①バイタルサインの種類とそれぞれの項目の測定法について説明できる．
②呼吸・循環のモニタリングについて説明できる．
③ 呼吸・循環以外のモニタおよび全身麻酔関連装置について説明できる．

〔教科書・参考書〕
1. 歯科麻酔学　医歯薬出版、第８版、2018 年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007 年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート，口頭発表

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	前期 4 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット１ バイタルサインの把握	バイタルサインについて理解する．	1. バイタルサインの種類について説明できる． 2. 血圧測定について説明できる． 3. 脈拍の測定について説明できる。 4. 呼吸状態について説明できる． 5. 体温について説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
11 ～ 20	前期 5 月， 6 月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット２ 呼吸・循環のモニタリング	呼吸・循環のモニタリングについて理解する．	1. 心電図の仕組みを説明できる． 2. 心電図の判読法を説明できる． 3. パルスオキシメータ測定の意義と仕組みを説明できる． 4. カプノグラム測定の意義と仕組みを説明できる． 5. 麻酔ガス濃度測定の意義と仕組みを説明できる．	教科書・参考書の該当箇所を読む．	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	前期 5月, 6月 月曜日	谷口 冨永 野上	ユニット３ 呼吸・循環以外のモニタおよび全身麻酔関連装置	呼吸･循環以外のモニタおよび全身麻酔関連装置について理解する.	1. 体温測定の意義について説明できる. 2. 代謝のモニタリングの意義と仕組みについて説明できる. 3. 中枢神経系のモニタリングの意義と仕組みについて説明できる. 4. 麻酔器の構造と始業点検法について説明できる. 5. 人工呼吸器の構造と機能ついて説明できる.	教科書・参考書の該当箇所を読む.	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

内科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星 博明

〔一般目標〕
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕
①脳梗塞の病態を説明できる。
②脳梗塞の病態を解明する研究法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修，1990， IPC 社

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 4	前期 4 月～ 5 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット１ 脳梗塞の病態	脳梗塞の病態について説明できる。	1. 臨床研究と比較した基礎研究の意義を説明できる。 2. 脳梗塞の病態について説明できる。 3. 脳虚血の病態について説明できる。 4. 脳梗塞における炎症の役割について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室
5 ～ 8	前期 5 月～ 6 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット２ 脳梗塞の治療法	脳梗塞の治療法と問題点について説明できる。	1. 脳梗塞の急性期治療法について説明できる。 2. 脳梗塞の慢性期治療法について説明できる。 3. 脳梗塞治療法の問題点について説明できる 4. 開発中の新規治療法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室
9 ～ 11	前期 7 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット３ 脳梗塞治療の研究	脳梗塞治療の研究法について説明できる。	1. 実験動物を用いた研究について説明できる。 2. 動物を用いた脳虚血モデルについて説明できる。 3. 培養細胞を用いた虚血モデルについて説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	前期 9 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット４ 研究法の理解と創造	脳梗塞治療に関する最新の英語論文を読み､研究の方法と新しい方向性を理解する。	1. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション（1） 2. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション（2） 3. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション（3） 4. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション（4）	該当する論文を検索し、素読しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室

内科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星 博明

〔一般目標〕
新規治療法開発の重要性を理解するために、遺伝子治療研究の基礎を習得する。

〔授業到達目標〕
①遺伝子治療の理論を説明できる。
②遺伝子治療の研究法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
遺伝子治療学, JA ウォルフ編, 1998 年, Springer 社

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 4	後期 10 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット１ 遺伝子治療の概念	遺伝子治療の概念について説明できる。	1. 遺伝子治療の概念について説明できる。 2. 遺伝子治療の歴史について説明できる。 3. 遺伝子治療の倫理について説明できる。 4. 遺伝子導入の基礎について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学研究室
5 ～ 7	後期 １１月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット２ 遺伝子導入法	遺伝子導入法について説明できる。	1. 遺伝子導入ベクターについて説明できる。 2. 細胞への遺伝子導入法について説明できる。 3. 生体への遺伝子導入法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学研究室
8 ～ 10	後期 12 月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット３ 遺伝子治療研究	生活習慣病に対する遺伝子治療研究について説明できる。	1. 血管への遺伝子導入研究について説明できる。 2. 動脈硬化に対する遺伝子治療研究について説明できる。 3. 脳梗塞に対する遺伝子治療研究について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	後期 1月～ 2月 木曜日 10：35 ～ 11：55	大星	ユニット４ 研究法の理解と創造	生活習慣病の遺伝子治療に関する最新の英語論文を読み､新しい研究の方向性を理解する。	1. 生活習慣病の遺伝子治療に関する論文のプレゼンテーション（1） 2. 生活習慣病の遺伝子治療に関する論文のプレゼンテーション（2） 3. 生活習慣病の遺伝子治療に関する論文のプレゼンテーション（3） 4. 生活習慣病の遺伝子治療に関する論文のプレゼンテーション（4） 5. 生活習慣病の遺伝子治療に関する論文のプレゼンテーション（5）	該当する論文を検索し、素読しておく。	配付プリント・参考書	内科学研究室

内科学実習①
（内科学基礎演習Ｉ）

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星 博明

〔一般目標〕
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕
①脳梗塞の病態を説明できる。
②脳梗塞の病態を解明する実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修，1990， IPC 社

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 9 月～ 10 月 金曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット１ 脳梗塞の病態の理解	実験動物の扱いに関する基礎を修得する	実験動物の扱いに関する基礎を修得する	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学
16 ～ 30	後期 10 月～ 12 月 金曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット２ 脳梗塞の病態の解明	脳梗塞の病態を解明する手技を修得する。	実験動物を用いた脳梗塞実験の技法を修得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学

内科学実習②
（内科学基礎演習Ⅱ）

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星 博明

〔一般目標〕
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕
①脳梗塞の病態を説明できる。
②脳梗塞の病態を解明する実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修，1990， IPC 社

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	後期 12 月～ 1 月 金曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット１ 脳梗塞の新規治療法を探究（I）	脳梗塞の新規治療法を探究する手技を修得する(I)	治療薬を用いた脳梗塞実験の技法を修得する	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学
11 ～ 20	後期 ２月 金曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット２ 脳梗塞の新規治療法の探究（II）	脳梗塞の病態を解明する手技を修得する(II)	組織サンプルの解析技法を修得する	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学
21 ～ 30	後期 ３月 金曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット３ １脳梗塞の新規治療法の探究(III)	脳梗塞の病態を解明する手技を修得する(III)	解析結果を統計解析し、考察を行う。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学

内科学実習③
（内科学基礎演習Ⅲ）

後期３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕
大星 博明

〔一般目標〕
新規治療法開発の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕
①遺伝子治療実験を説明できる。
②遺伝子治療実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
遺伝子治療学, JA ウォルフ編, 1998 年, Springer 社

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 6	後期 10 月 火曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット 1 遺伝子導入の基礎(I)	遺伝子導入の基礎を理解し､実験手技を修得する(I)	1. 遺伝子導入ベクターの取り扱いを修得する。 2. 遺伝子導入ベクターの取り扱いを修得する。 3. 細胞への遺伝子導入法を修得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学
7 ～ 15	後期 11 月 火曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット 2 遺伝子導入の基礎(II)	遺伝子導入の基礎を理解し､実験手技を修得する(II)	1. 細胞への遺伝子導入法を修得する。 2. 生体への遺伝子導入法を修得する。 3. 生体への遺伝子導入法を修得する。 4. 発現遺伝子の解析法を修得する	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学
16 ～ 22	後期 12 月～ 1 月 火曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット 3 遺伝子導入法の応用(I)	遺伝子導入法を用いて生活習慣病に対する新規治療を探究する手技を修得する(I)	1. 生活習慣病モデルへの遺伝子導入法を修得する。 2. 生活習慣病モデルへの遺伝子導入法を修得する。 3. 生活習慣病モデルへの遺伝子導入法を修得する。 4. 組織サンプルの解析技法を修得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
23 ～ 30	後期 1月～ 2月 火曜日 13：00 ～ 15：55	大星	ユニット4 遺伝子導入法の応用(II)	遺伝子導入法を用いて生活習慣病に対する新規治療を探究する手技を修得する(II)	1.組織サンプルの解析技法を修得する。 2.解析結果を統計解析し、考察を行う。 3.解析結果を統計解析し、考察を行う。 4.解析結果を統計解析し、考察を行う。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内科学分野研究室 アニマルセンター 九州大学

心療内科学講義①
（ストレス医療学）

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：金光芳郎

〔担当教員〕
金光芳郎

〔一般目標〕
ストレス理論、ストレスモデルについて理解し、代表的なストレス疾患である心身症、生活習慣病、精神疾患について、その病態と診断法、治療法について習得する。

〔授業到達目標〕
① 代表的なストレス関連疾患について述べることができる。
② ストレスモデルを説明できる。
③ ストレス評価法を説明できる。
④ 生活習慣病の行動変容の技法について述べることができる。

〔教科書・参考書〕
特になし

〔成績評価の方法・基準〕
出席 40%。各ユニットにおけるレポート 40%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	4～5 月 火曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット１	ストレスモデルについて理解する。	1. ストレス学説について説明できる。 2. 心身相関について説明できる。 3. ストレス評価法について説明できる。 4. 対処行動について説明できる。 5. ストレス診断法について説明できる。	ストレス学説について理解しておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
6 ～ 10	6～7 月 火曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット２	ストレス関連疾患について理解する。	6. ストレスによる自律神経系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 7. ストレスによる内分泌系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 8. ストレスによる免疫系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 9. 生活習慣病について、病態、症状、治療法について説明できる。 10. うつ病について病態、症状、診断法、治療法について説明できる。	ストレス性身体疾患について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	8～9 月 火曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット３	ストレス関連疾患の治療法･行動療法について理解する。	11. 学習理論について説明できる。 12. 行動理論と行動療法について説明できる。 13. 自律訓練法とﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ法について説明できる。 14. 生活習慣病の行動変容法について説明できる。 15. ストレス対処法について説明できる。	学習理論について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

心療内科学講義②
（心身症）

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：金光芳郎

〔担当教員〕
金光芳郎

〔一般目標〕
心身症について、その病態と診断法、治療法について習得し、代表的な口腔領域の心身症について、心身医学的に理解する。

〔授業到達目標〕
① 代表的な心身症を述べることができる。
② 心身症の病態、成り立ちを説明できる。
③ 心身症の診断法を説明できる。
④ 心身症の治療法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
特になし

〔成績評価の方法・基準〕
出席 40%。各ユニットにおけるレポート 40%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	10～11月 木曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット１	心身症について理解する。	1. 心身症の病態について説明できる。 2. 心身症の診断法について説明できる。 3. 心理テストについて説明できる。 4. 代表的な精神障害(統合失調症、気分障害、不安障害)について説明できる。 5. 代表的な心身症について説明できる。	心身症の病態・診断法、代表的な心身症について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
6 ～ 10	12～1月 木曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット２	口腔領域の心身症について理解する。	6. 舌痛症について文献を読み、理解する。 7. 顎関節症について文献を読み、理解する。 8. 口臭症について文献を読み、理解する。 9. 慢性疼痛について文献を読み、理解する。 10. 慢性疲労症候群、線維筋痛症について文献を読み、理解する。	代表的な心身症の概念について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	2～3 月 木曜日 16：10～ 17：30	金光	ユニット３	心身症の治療法について理解する。	11. 自律訓練法について説明できる。 12. 交流分析について説明できる。 13. 心理療法について説明できる。 14. 認知行動療法について説明できる。 15. 全人的医療について説明できる。	心身症の治療法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

心療内科学実習①
（心身医学臨床演習１）

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：金光芳郎

〔担当教員〕
金光芳郎

〔一般目標〕
心身医学的な診断法と治療法を演習と実習により習得する。

〔授業到達目標〕
① 診断において心理社会的な背景を聴取し、疾患発症に及ぼす影響を推察できる。
② 心理テストの判定を行い、心理面の評価を習得する。
③ 心理療法のうち、簡易精神療法、行動療法、自律訓練法について演習を通じ習得する。

〔教科書・参考書〕
特になし

〔成績評価の方法・基準〕
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4～5 月 金曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット１	心身症の診断を心理社会的背景を含めて行うことができる。	演習ならびに臨床の場において、心理社会的な背景を聴取して、心身症の発症や経過に及ぼす影響について判定できる。 1. インテーク面接（初診面接）を理解する。 2. 心理テストの実施について理解する。	心身症の診断法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来
16 ～ 30	5～6 月 金曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット２	ストレス関連疾患について理解する。	演習ならびに臨床の場において、下記の心身医学的な治療法ができるように習得する。 1. 自律訓練法 2. バイオフィードバック法 3. 行動療法 4. 簡易精神療法	心身医学的治療法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来

心療内科学実習②
（心身医学臨床演習２）

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：金光芳郎

〔担当教員〕
金光芳郎

〔一般目標〕
心身医学的な診断法と治療法を演習と実習により習得する。

〔授業到達目標〕
① 指導教官のもとで診療に参加し、インテーク面接・心理テストの実地の技術を習得する。
② 指導教官のもとで診療に参加し、心理面接の実地の技術を習得する。

〔教科書・参考書〕
特になし

〔成績評価の方法・基準〕
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	7～8 月 金曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット１	インテーク面接･心理テスト	実際の臨床の場で、インテーク面接、心理テストを行い、心身医学的診断および治療について理解する。	インテーク面接、心理テストについて調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来
16 ～ 30	8～9 月 金曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット２	心理面接	実際の臨床の場で、心理面接（同伴）を行い、心身医学的診断および治療について理解する。	心理面接について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来

心療内科学実習③
（自律神経機能検査）

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：金光芳郎

〔担当教員〕
金光芳郎

〔一般目標〕
心身症の診断に用いられる代表的な自律神経機能検査法について理解する。

〔授業到達目標〕
① 心拍変動パワースペクトル解析法
② 発汗検査法
③ 起立試験
④ 各種試験

〔教科書・参考書〕
特になし

〔成績評価の方法・基準〕
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	10～ 11 月 水曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット１	発汗の生理を理解し演習により発汗検査法を理解する。	発汗検査法の理論について理解する。	発汗検査法について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来
11 ～ 20	12～1 月 水曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット２	心拍を利用した自律神経機能検査法について理解し演習により理解する。	心拍変動パワースペクトル解析法の理論を理解する。	心拍変動解析について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来
21 ～ 30	2～3 月 水曜日 13：00～ 17：30	金光	ユニット３	低血圧、起立性低血圧について理解し演習により起立試験を理解する。	起立試験の理論を理解する。	起立試験について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来

外科学講義①
（がんの浸潤・転移の基礎と臨床）

前期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
外科学分野指導教員

〔一般目標〕
　がんの特異的生物学的特徴である浸潤・転移について、病理学的・細胞生物学的・分子生物学にメカニズムを理解し、それに基づいて、がん治療を外科腫瘍学的に考察する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

〔教科書・参考書〕
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9th ed.」
Lippincott Williams & Wilkins　2008
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学　第４版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕

回	授業日時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	４月５限	外科学分野指導教員	ユニット１がんの浸潤・転移	癌の病因と疫学を理解する。	癌の病因と疫学を臨床腫瘍学の基礎として説明できる。	新臨床腫瘍学 3 がんの病因と疫学の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第４版	医科実習室
2				がんの特異的性質を臨床病理学的な点から理解する。	がんの特異的性質を臨床病理学的な点から説明できる。	1 がんの発生と進展機構の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第４版	
3				がんの特異的性質を細胞生物学的な点から理解する。	がんの特異的性質を細胞生物学的な点から説明できる。		新臨床腫瘍学第４版	
4				がんの特異的性質を分子生物学的な点から理解する。	がんの特異的性質を分子生物学的な点から説明できる。		新臨床腫瘍学第４版	

回	授業日時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
5	5月 5限			がん転移のメカニズムを統合的に理解する（I）	がん転移のメカニズムを統合的に説明できる（I）	8．浸潤と転移, 9．血管新生, 10．がん幹細胞の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
6	5月 5限			がん転移のメカニズムを統合的に理解する（II） がん転移のメカニズムを統合的に理解する（III）	がん転移のメカニズムを統合的に説明できる（II） がん転移のメカニズムを統合的に説明できる（III）		新臨床腫瘍学第4版	
7							新臨床腫瘍学第4版	医科実習室
8		外科学分野指導教員	ユニット2 がん転移巣の治療	がん転移に対する治療方針を理解する（手術治療）。	がん転移に対する治療方針を説明できる（手術治療）	8 外科療法の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
9	6月 5限			がん転移に対する治療方針を理解する（非手術治療）。	がん転移に対する治療方針を説明できる（非手術治療）。	9 放射線治療 14 各種抗がん薬の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
10				がん転移巣の治療における外科手術の役割を理解する。	がん転移巣の治療における外科手術の役割を説明できる。	7 がんの診断, 8 外科療法の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
11				がん転移巣の治療における外科手術の適応を理解する。	がん転移巣の治療における外科手術の適応を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
12				がん転移巣の外科手術による治療効果を理解する。	がん転移巣の外科手術による治療効果を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
13	7月 5限			がん転移巣の外科手術による術後合併症を理解する。	がん転移巣の外科手術による術後合併症を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
14				がん転移に対する最新（開発中）の治療法を理解する。	がん転移に対する最新（開発中）の治療法を説明できる。	分子標的治療薬の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版 インターネット	
15	7月 5限			がん医療におけるチーム医療の重要性を理解する。	がん医療におけるチーム医療の重要性を説明できる。	がん医療におけるチーム医療の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版 インターネット	

外科学講義②
（外科合併症管理学入門）

後期１５コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：　池田　哲夫

〔担当教員〕
外科学分野指導教員

〔一般目標〕
外科手術後の合併症の病態とその管理方法を理解し、歯科手術後の合併症との共通点および相違点について考察する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

〔教科書・参考書〕
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9th ed.」
Lippincott Williams & Wilkins　2008
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学　第４版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9 月 5 限	外科学分野指導教員	ユニット 1 外科手術後合併症の全体像	外科手術後の合併症を、その原因別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の合併症を、その原因別に分類し、病名を説明できる。	CDC ガイドラインを読んでおく	特に指定しない。	医科実習室
2				外科手術後の合併症を、その病態別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の合併症を、その病態別に分類し、病名を説明できる。	CDC ガイドラインを読んでおく		
3			ユニット 2 手術部位感染(SSI)	手術部位感染(SSI)の発生要因と分類について理解する。	手術部位感染(SSI)の発生要因と分類について説明できる。	CDC ガイドラインを読んでおく	特に指定しない。	
4				手術部位感染(SSI)の治療について、分類別に理解する。	手術部位感染(SSI)の治療について、分類別に説明できる。			
5	10 月 5 限			手術部位感染(SSI)の予防について理解する。	手術部位感染(SSI)の予防について説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6	10 月 5 限	外科学分野指導教員	ユニット 3 呼吸器系･循環器系合併症	術後無気肺の発生要因と予防・治療を理解する。 術後肺炎の発生要因と予防・治療を理解する	術後無気肺の発生要因と予防･治療を説明できる。 術後肺炎の発生要因と予防・治療を説明できる。		特に指定しない。	
7						分かりやすい内科学を読んでおく.	特に指定しない。	医科実習室
8				不整脈の発生要因と予防・治療を理解する。	不整脈の発生要因と予防・治療を説明できる。			
9			ユニット 4 糖尿病の管理	糖尿病の術前管理について理解する。	糖尿病の術前管理について説明できる。		特に指定しない。	
10	11 月 5 限			糖尿病の術中・術後管理について理解する。	糖尿病の術中･術後管理を説明できる。			
11			ユニット 5 術後イレウス	術後イレウスの分類と診断について理解する。	術後イレウスの分類と診断について説明できる。		特に指定しない。	
12				術後イレウスの治療について病態別について理解する。	術後イレウスの治療について病態別に説明できる。			
13			ユニット 6 体液バランスの異常と輸液管理	電解質バランス異常の種類と各々の病態について理解する。	電解質バランス異常の種類と各々の病態について説明できる。		特に指定しない。	
14	12 月 5 限			酸塩基平衡の仕組みとその異常による病態について理解する。	酸塩基平衡の仕組みとその異常による病態について説明できる。			
15				バランスシートによる輸液管理法について理解する。	バランスシートによる輸液管理法について説明できる。			

外科学実習①
（悪性腫瘍の診断・治療の実際と今後の展望）

前期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：　池田　哲夫

〔担当教員〕
外科学分野指導教員

〔一般目標〕
悪性腫瘍の画像診断法、外科的治療法、化学療法を理解し、さらに実践することから外科腫瘍学的考察法を体得する

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

〔教科書・参考書〕
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9th ed.」
Lippincott Williams & Wilkins　2008
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学　第４版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	４月 4・5 限	外科学分野指導教員	ユニット１ 消化管の画像診断法	胃および大腸Ｘ線検査法について理解する。	胃Ｘ線検査法について説明し，読影できる。	CDC ガイドラインを読んでおく	特に指定しない。	医科実習室
					胃内視鏡検査法について説明し，読影できる。	CDC ガイドラインを読んでおく		
					大腸Ｘ線検査法について説明し，読影できる。	CDC ガイドラインを読んでおく		
					大腸内視鏡検査法について説明し，読影できる。			
			ユニット２ 実質臓器の画像診断法	胸腹部ＣＴ検査法について理解し、実際の画像を読影する。	胸部ＣＴ検査法について説明し、実際の画像を読影できる。	CDC ガイドラインを読んでおく		
	５月 4・5 限							

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
	5月 4・5限	外科学分野指導教員		超音波検査法について理解し、実際の画像を読影する。	腹部ＣＴ検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
					腹部エコー検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
					乳線エコー検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
			ユニット3 悪性腫瘍の進行度分類と進行度に応じた治療方針	悪性腫瘍の進行度分類と進行度に応じた治療方針を理解する。	胃癌の進行度分類と進行度に応じた治療方針を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく.		
	6月 4・5限				大腸癌の進行度分類と進行度に応じた治療方針を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく.		
					乳癌の進行度分類と進行度に応じた治療方針を説明できる。			
			ユニット4 悪性腫瘍に対する外科手術の役割と適応	悪性腫瘍に対する外科手術の役割と適応を理解する。	胃癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく.		
					胃癌手術を見学し、その外科解剖を説明できる。			
	7月 4・5限				大腸癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。			
					乳癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。			
					乳癌手術を見学し、その外科解剖を説明できる。			

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
	７月 4・5限	外科学分野指導教員	ユニット５ 悪性腫瘍に対する化学療法の役割と適応	悪性腫瘍に対する化学療法の役割と適応を理解する。	消化器癌化学療法施行症例の診療録を熟読し、その症例について役割と適応を説明できる。			
					乳癌化学療法施行症例の診療録を熟読し、その症例について役割と適応を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく.		

外科学実習②
（外科学臨床基礎演習）

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
外科学分野指導教員

〔一般目標〕
外科の周術期管理方法を理解し、歯科周術期との共通点および相違点について考察する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕
出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

〔教科書・参考書〕
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9th ed.」
Lippincott Williams & Wilkins　2008
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学　第４版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問，レポート

回	授業日 時　限	授業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	9 月～11 月 4・5 限	外科学分野指導教員	ユニット 1 呼吸器系の周術期管理と合併症	呼吸器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する。	呼吸器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく．	特に指定しない。	医　科 実　習 室
				呼吸器系の周術期管理に関する重要点を理解する。	呼吸器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。			
					呼吸器系の周術期管理に関する重要点を説明できる。			
				外科手術後の呼吸器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の呼吸器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ，説明できる。			
	9 月～11 月 4・5 限		ユニット 2 循環器系の周術期管理と合併症	循環器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する。	循環器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。			

回	授業日 時　限	授業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
				循環器系の周術期管理に関する重要点を列記する。	循環器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。			
					循環器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。			
					循環器系の周術期管理に関する重要点を説明できる。			
				外科手術後の循環器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の循環器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ，説明できる。			
			ユニット３ 糖尿病の周術期管理と合併症	糖尿病を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する。	糖尿病を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。			
				糖尿病の周術期管理に関する重要点を理解する。	糖尿病の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。			
					糖尿病の周術期管理に関する重要点を説明できる。			
				外科手術後の糖尿病合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の糖尿病合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ，説明できる。			

外科学実習③
（外科学臨床基礎演習）

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
外科学分野指導教員

〔一般目標〕
外科の周術期管理方法を理解し、歯科周術期との共通点および相違点について考察する。

〔教育方法〕
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

〔教科書・参考書〕
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9th ed.」
Lippincott Williams & Wilkins　2008
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学　第 4 版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
口頭試問, レポート

回	授業日 時　限	授業 担当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	12 月～ 3 月 4・5 限	外科学 分野指 導教員	ユニット 1 手術創の周術期管理と合併症	手術部位感染(SSI)に関するガイドラインを理解する。	手術部位感染(SSI)に関するガイドラインを説明できる。	CDC ガイドラインを読んでおく.	特に指定しない。	医科実習室
				SSI の発生要因と分類について理解する。	SSI の発生要因と分類について説明できる。			
				SSI の治療について、分類別について理解する。	SSI の治療について、分類別について説明できる。			
				SSI の予防について理解する。	SSI の予防について説明できる。			
			ユニット 2 抗生剤使用と合併症	抗生剤使用と合併症について理解する。	周術期における予防投与に関する文献を選択し、説明する。			

回	授業日 時　限	授業 担当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	12 月～ 3 月 4・5 限				歯科周術期との抗生剤の違いと合併症について説明する。			
			ユニット 5 体液バランスの周術期管理と合併症	体液ﾊﾞﾗﾝｽ異常を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点について理解する。	酸体液ﾊﾞﾗﾝｽ異常を有する患者の診療録を熟読し､その周術期管理に関する問題点について説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく.		
				体液ﾊﾞﾗﾝｽの周術期管理について理解する。	体液ﾊﾞﾗﾝｽの周術期管理について熟読する。			
					体液ﾊﾞﾗﾝｽの周術期管理について説明できる。			
				外科手術後の体液ﾊﾞﾗﾝｽ異常を、その病因別および病態別に分類し、病名を列記する。	外科手術後の体液ﾊﾞﾗﾝｽ異常を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ, 説明できる。			

耳鼻咽喉科学講義①
（嚥下機能検査）

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕
山野貴史

〔一般目標〕
嚥下に関連する構造・機能について理解するとともに、嚥下障害の病態、原因疾患に関する基本的知識を習得し、最新の嚥下機能検査を理解する。

〔授業到達目標〕
咽頭喉頭の構造について説明できる。
従来の嚥下検査を説明できる。
最新の嚥下検査を説明できる。
日常よくみる嚥下障害について理解する

〔教科書・参考書〕
参考書　なし

〔成績評価の方法・基準〕
レポート

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	【前期】 ４月 火・水 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット１	嗅覚の基礎について理解する。	1. 咽頭喉頭の形態が説明できる。 2. 咽喉喉頭の構造が説明できる。 3. 嚥下の生理機能を説明できる。 4. 嚥下障害の病態が説明できる。 5. 嚥下障害の原因について説明できる。	教科書などで咽頭、喉頭の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
6～8	前期】 ５月 火・水 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット２	これまでの嚥下機能検査について理解する。	6. スクリーニングについて説明できる。 7. 嚥下障害を疑う所見について説明できる。 8. 嚥下障害の障害認定について説明できる。	嚥下機能検査について教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
9～12	【前期】 ６月 火・水 曜日	山野	ユニット３	新しい嚥下機能検査について理解する。	9. 水飲みテストについて説明できる。 10. 嚥下内視鏡検査	嚥下機能検査ついて教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	16：10～ 17：30				について説明できる。 11. 嚥下造影検査について説明できる。 12. ストロボスコピーについて説明できる。			
13～15	【前期】 ７月 火・水曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット４	日常よくみる嚥下障害疾患について理解する。	13. 神経疾患による嚥下障害が説明できる。 14. 頭頸部癌術後後の嚥下障害が説明できる。 15. 声帯麻痺による嚥下障害が説明できる。	嚥下障害を来す疾患について教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室

耳鼻咽喉科学講義②
（鼻副鼻腔疾患）

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕
山野貴史

〔一般目標〕
歯科との境界領域である、上顎洞炎などの鼻副鼻腔に関連する構造・機能について理解するとともに、歯性上顎洞炎などの病態、原因疾患に関する基本的知識を習得し、その予後を左右する因子について理解する。

〔授業到達目標〕
鼻副鼻腔の解剖生理について理解する
CT 検査について理解する
診断について理解する
内視鏡手術について理解する

〔教科書・参考書〕
参考書　なし

〔成績評価の方法・基準〕
レポート

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 ４月 木・金 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット１	鼻副鼻腔の基礎について理解する。	1. 鼻副鼻腔の形態が説明できる。 2. 鼻副鼻腔の構造が説明できる。 3.　鼻副鼻腔の生理機能を説明できる。 4. 鼻腔形態の正常異常が説明できる。 5. 副鼻腔炎について説明できる。	教科書などで鼻副鼻腔解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
6 ～ 8	【前期】 ５月 木・金 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット２	鼻副鼻腔の検査について理解する。	6. 単純ＸＰの所見について説明できる。 7. ＣＴ検査所見について説明できる。 8. その他特殊嗅覚、検査について説明できる。	教科書などで鼻副鼻腔生理を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
9 ～ 12	【前期】 ６月 木・金 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット３	鼻副鼻腔疾患の治療について理解する。	9. アレルギ―性鼻炎説明できる。 10. 慢性副鼻腔炎について説明できる。	教科書などで聴覚生理を理解しておく	参考書 なし	耳鼻咽喉科学 研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					11. 上顎洞癌について説明できる。 12. 内視鏡手術について説明できる。			
13 ～ 15	【前期】 ７月 木・金 曜日 16：10～ 17：30	山野	ユニット４	鼻副鼻腔疾患の疫学について理解する。	13. ロジスティック回帰分析が説明できる。 14. 歯性上顎洞炎の予後因子が説明できる。 15. 上顎洞根治術とESS の違いが説明できる。	鼻副鼻腔疾患の疫学について理解する。	参考書 なし	耳鼻咽喉科学 研究室

耳鼻咽喉科学実習①

後期４６コマ（ユニット１～２：３単位）
評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕
山野貴史

〔一般目標〕
耳鼻科領域の臨床研究の基盤となる診断、予防及び治療の基礎的事項を理解し、基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①耳鼻咽喉科診察を理解し、修得する
②耳鼻咽喉科における画像診断の基礎を理解し、基本的手技を実践する

〔教科書・参考書〕
参考書
NEW 耳鼻咽喉科・頭頚部外科　　南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 23	後期 10 月～ 12 月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット１	耳鼻咽喉科診察を理解し、修得する	1. 顎帯鏡、ライト使用法を理解する。 2. 耳鏡、拡大耳鏡使用法を修得する。 3. 鼻鏡使用法を修得する 4. 後鼻鏡、喉頭鏡使用法を修得する。 5. 耳鼻科領域の打診、触診を説明できる 6. 内視鏡使用した診察を修得する 7. 診察所見を図示し、説明できる	耳鼻咽喉科の疾患について代表的なものを理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
24 ～ 46	後期 1 月～ 3 月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット２	耳鼻咽喉科における画像診断の基礎を理解し、基本的手技を実践する	8. 耳鼻科領域の単純Ｘ線撮影法を理解する 9. 単純Ｘ線撮影のオーダー法を理解する	画像診断の読影方法について理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室

回	授業日 時　限	授 業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					10. 単純Ｘ線撮影の読影を理解する 11. 各撮影法の異常所見を説明できる 12. 耳鼻科領域の超音波検査を説明する 13. ＭＲＩ検査による耳鼻科疾患の診断の基礎を説明する 14. ＣＴ検査による耳鼻科疾患の診断の基礎を説明する 15. 耳鼻科における各種画像診断の診断的価値を評価する			

耳鼻咽喉科学実習②

後期４８コマ（ユニット１～３：３単位）
評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕
山野貴史

〔一般目標〕
耳鼻科領域の臨床研究の基盤となる診断、予防及び治療の基礎的事項を理解し、基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①嗅覚検査、味覚検査基礎を理解し、修得する
②平衡機能検査を理解し、修得する
③耳鼻咽喉科内視鏡検査を理解し、修得する

〔教科書・参考書〕
参考書
NEW 耳鼻咽喉科・頭頚部外科　　南江堂

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 16	後期 10 月～ 11 月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット１	嗅覚検査､味覚検査基礎を理解し､修得する	1. 嗅覚の基礎を説明できる 2. 味覚の基礎を説明できる 3. 基準嗅力検査を修得する 4. 味覚検査（ディスク法）を修得する 5. 新しい嗅覚検査および味覚検査を説明できる	教科書などで耳･鼻の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来
17 ～ 32	後期 12 月～ 1 月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット２		6. 平衡覚の基礎を理解する 7. 眼振を理解する 8. 重心計の原理を理解する 9. 眼振記録を修得する 10. 重心計検査を修得する	教科書などで耳･鼻の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					11. 各種平衡障害を説明できる			
33 ～ 48	後期 2 月～ 3 月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット３	耳鼻咽喉科内視鏡検査を理解し、修得する	12. 内視鏡の原理を理解する 13. 鼻・咽喉内視鏡を修得する 14. その他の内視鏡検査を説明できる 15. 内視鏡手術を説明できる	教科書などで咽頭喉頭の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来

眼科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：川野　庸一

〔担当教員〕
川野　庸一

〔一般目標〕
血管新生について病理学的・細胞生物学的・分子生物学にメカニズムを理解し、それに基づいて、眼内血管新生病の治療について考察する。

〔授業到達目標〕
① 失明原因疾患の時代的変遷とその背景について説明する。
② 眼内血管新生病について説明する。
③ 血管新生について病理学的・細胞生物学的・分子生物学的に説明する。
④ 血管新生のメカニズムに基づき、眼内血管新生病の治療について説明する。

〔教科書・参考書〕
参考文献
Dorrel M, et al. Ocular neovascularisation: Basic mechanisms and therapeutic advances. Survey of Ophthalmology 52:S3-S19,2007.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%。

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場　所 備　考
1 2 3	前期 6 月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット１ 失明原因疾患	失明原因疾患の時代的変遷とその背景について理解する。	1. 日本における失明原因について説明する。 2. 日本における失明原因の疫学について説明する。 3. 日本における失明原因の時代的変遷とその背景について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
4 5 6 7	前期 ７月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット２ 眼内血管新生病	眼内血管新生病について理解する	4. 糖尿病網膜症について説明する。 5. 加齢黄斑変性について説明する。 6. 網膜静脈閉塞症について説明する。 7. 血管新生緑内障について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場　所 備　考
8 9 10 11	前期 ８月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット３ 血管新生の 生物学	血管新生について病理学的･細胞生物学的･分子生物学的に理解する。	8. 血管新生について病理学的に説明する。 9. 血管新生について細胞生物学的に説明する。 10. 血管新生について分子生物学的に説明する。 11. 血管新生について総合的に説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
12 13 14 15	前期 ９月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット４ 血管新生病の治療	血管新生のメカニズムに基づき､眼内血管新生病の治療について理解する。	12. 眼内血管新生病に対するレーザー治療について説明する。 13. 眼内血管新生病に対する手術治療について説明する。 14. 眼内血管新生病に対する薬物治療について説明する。 15. 眼内血管新生病に関する今後の展望について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室

眼科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～６：２単位）
評価責任者：川野　庸一

〔担当教員〕
川野　庸一

〔一般目標〕
眼科領域の主な疾患及び病態生理を理解し、また顕微鏡を用いた手術治療について学ぶ。

〔授業到達目標〕
① 眼瞼および涙器について理解する。
② 角・結膜について理解する。
③ 水晶体について理解する。
④ 緑内障について理解する。
⑤ ぶどう膜について理解する。
⑥ 網膜・硝子体について理解する。
⑦ 斜視・弱視について理解する。
⑧ 視神経について理解する。
⑨ 眼外傷および腫瘍について理解する。
⑩ 眼科手術について理解する。

〔参考書〕
大野　重昭ほか編集　「標準眼科学」　医学書院　2007

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所 備　考
1 2	後期 ９月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット１ 前眼部疾患	前眼部疾患について理解する。	1. 眼瞼および涙器に関する疾患について説明する。 2. 結膜に関する疾患について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
3 4 5	後期 ９月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット２ 角膜・水晶体・緑内障	角膜・水晶体・緑内障について理解する。	3. 角膜に関する疾患について説明する。 4. 水晶体に関する疾患について説明する。 5. 緑内障について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
6 7 8	後期 １０月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット３ ぶどう膜および網膜硝子体疾患	ぶどう膜および網膜硝子体疾患について理解する。	6. ぶどう膜に関する疾患について説明する。 7. 網膜・硝子体に関する疾患の分類と診断について説明する。 8. 網膜・硝子体に関する疾患の治療について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所 備　考
9 10	後期 １０月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット４ 斜視弱視、視神経疾患	斜視弱視および視神経疾患について理解する。	9.斜視・弱視について説明する。 10. 視神経に関する疾患について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
11 12	後期 １１月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット５ 眼腫瘍、眼外傷	眼腫瘍および眼外傷について理解する。	11. 眼腫瘍について説明する 12. 眼外傷について説明する	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室
13 14 15	後期 １１月 水曜日 16:10 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット６ 眼科手術	眼科手術について理解する。	13. 眼科手術の消毒法および麻酔法について説明する。 14. 顕微鏡を用いた眼科手術について説明する。 15. 眼科治療の今後の展望について説明する。	参考書の該当項目	参考書	総合医学講座実習室

眼科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：川野　庸一

〔担当教員〕
川野　庸一

〔一般目標〕
眼科疾患の画像診断、外科的治療法を理解しさらに実践する。

〔授業到達目標〕
① 眼底画像検査について説明し、実際の画像を読影する。
② 細隙灯顕微鏡検査について説明し、実践する。
③ 眼エコー検査法について説明し、実際の画像を読影する。
④ 頭部ＣＴ及びＭＲＩ検査法について説明し、実際の画像を読影する。
⑤ 眼科疾患に対する外科手術の役割と適応を説明する。

〔参考書〕
大野　重昭ほか編集　「標準眼科学」　医学書院　2007

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所備考
1～6	前期4月月曜日16：10～17：30	川野庸一	ユニット１眼底の画像診断法	1. 眼底写真について理解する。 2. 蛍光眼底造影検査について理解する。 3. 光干渉断層計について理解する。 4. 細隙灯顕微鏡検査について理解する。	1. 眼底写真について説明し、症例画像を読影する。 2. 蛍光眼底造影検査について説明し、症例画像を読影する。 3. 光干渉断層計について説明し、症例画像を読影する。 4. 細隙灯顕微鏡検査について説明し、実践する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書診療録	総合医学講座実習室、外来
7～12	前期５月月曜日16：10～17：30	川野庸一	ユニット２眼窩の画像診断法	1. ＣＴ検査法について理解する。 2. MRI 検査法について理解する。 3. 眼エコーについて理解する。 4. 病理検査について理解する。	1. ＣＴ検査法について説明し、症例画像を読影する。 2. MRI 検査法について説明し、症例画像を読影する。 3. 眼エコーについて説明し、症例画像を読影する。 4. 病理検査について説明し、症例画像を読影する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書診療録	総合医学講座実習室、外来
13～18	前期６月月曜日16:10～17:30	川野庸一	ユニット３前眼部疾患の画像診断法	5. 眼瞼結膜疾患について理解する。 6. 角膜疾患について理解する。 7. 水晶体疾患について理解する。	5. 眼瞼結膜疾患について説明し、症例画像を読影する。 6. 角膜疾患について説明し、症例画像を読影する。 7. 水晶体疾患について説明し、症例画像を読影する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書診療録	総合医学講座実習室、外来

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所 備　考
19 ～ 24	前期 ６月 火曜日 13:00 ～ 17:30	川野庸一	ユニット４ 眼科手術	1. 白内障手術を見学し、その手技を理解する。 2. 白内障手術を理解する。 3. 緑内障手術を見学し、その手技を理解する。 4. 緑内障に対する手術の適応を理解する。 5. 硝子体手術を見学し、その手技を理解する。 6. 硝子体手術の適応を理解する。	1. 白内障手術を見学し、その手技を説明する。 2. 白内障に対する外科手術の役割と適応を説明する。 3. 緑内障手術を見学し、その手技を説明する。 4. 緑内障に対する外科手術の役割と適応を説明する。 5. 硝子体手術を見学し、その手技を説明する。 6. 硝子体手術の役割と適応を説明する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	手術室
25 ～ 30	前期 7 月 月曜日 16:10 ～ 17:30	川野庸一	ユニット５ ぶどう膜炎に対する外科治療	1. ぶどう膜炎症例について理解する。 2. ぶどう膜炎症例の治療ついて理解する	1. ぶどう膜炎症例の診療録を熟読し、その症例の診断について説明する。 2. ぶどう膜炎症例の診療録を熟読し、その治療について説明する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	総合医学講座実習室、外来

眼科学実習②

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：川野　庸一

〔担当教員〕
川野　庸一

〔一般目標〕
眼科領域における血管新生に関連する疾患の病態を理解し、考察する。

〔授業到達目標〕
① 糖尿病網膜症について理解する。
② 加齢黄斑変性について理解する。
③ 網膜静脈分枝閉塞症について理解する。

〔参考書〕
J.J.Kanski & B.Bowling (eds.) Clinical Ophthalmology,7th ed. - A Systemic Approach
BUTTERWORTH-HEINEMANN 2011

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号　項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場　所 備　考
1 ～ 10	後期 9 月 月曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット１ 糖尿病網膜症	糖尿病網膜症について理解する。	1. 糖尿病網膜症を有する患者の診療録を熟読し、その治療における問題点を列記する。 2. 糖尿病網膜症に関する文献を選択し、熟読する。 3. 糖尿病網膜症治療とその予後を、病態別に分類し説明する。	参考書の該当項目	参考書 診療録	総合医学講座実習室、外来、図書館
11 ～ 20	後期 9 月 金曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット２ 加齢黄斑変性	加齢黄斑変性について理解する。	1. 加齢黄斑変性を有する患者の診療録を熟読し、その診断における問題点を列記する。 2. 加齢黄斑変性の治療における問題点を列記する。 3. 加齢黄斑変性に関する文献を選択し、熟読する。 4. 加齢黄斑変性の治療法とその予後を、病態別に分類し説明する。	参考書の該当項目	参考書 診療録	総合医学講座実習室、外来、図書館
21 ～ 30	後期 10 月 月曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット３ 網膜静脈分枝閉塞症	網膜静脈分枝閉塞症について理解する。	1. 網膜静脈分枝閉塞症を有する患者の診療録を熟読し、その診断における問題点を列記する。 2. 網膜静脈分枝閉塞症に関する文献を選択し、熟読する。 3. 網膜静脈分枝閉塞症治療法とその予後を、病態別に分類し説明する。	参考書の該当項目	参考書 診療録	総合医学講座実習室、外来、図書館

眼科学実習③
（眼科学臨床基礎演習）

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：川野　庸一

〔担当教員〕
川野　庸一

〔一般目標〕
眼科領域における炎症性疾患の病態を理解し、考察する。

〔授業到達目標〕
① アレルギー性結膜炎について理解する。
② 眼窩炎症性疾患について理解する。
③ ぶどう膜炎について理解する。

〔参考書〕
J.J.Kanski & B.Bowling (eds.) Clinical Ophthalmology,7th ed. - A Systemic Approach
BUTTERWORTH-HEINEMANN 2011

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号　項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所備考
1～10	後期 10 月 金曜日 13:00～17:30	川野 庸一	ユニット１ アレルギー性結膜炎	アレルギー性結膜炎について理解する。	1.アレルギー性結膜炎を有する患者の診療録を熟読し、その治療における問題点を列記する。 2.アレルギー性結膜炎に関する文献を選択し、熟読する。 3.アレルギー性結膜炎を、病因別および病態別に分類し、病名を列記する。	参考書の該当項目	診療録 参考書	総合医学講座実習室、外来、図書館
11～20	後期 11 月 月曜日 13:00～17:30	川野 庸一	ユニット２ 眼窩炎症性疾患	眼窩炎症性疾患について理解する。	1.眼窩炎症性疾患を有する患者の診療録を熟読し、その治療における問題点を列記する。 2.シェーグレン症候群に関する文献を選択し、熟読する。 3.IgG4 関連疾患に関する文献を選択し、熟読する。 4.眼窩炎症性疾患の治療法とその予後を、病態別に分類し説明する。	参考書の該当項目	診療録 参考書	総合医学講座実習室、外来、図書館
21～30	後期 11 月 金曜日 13:00～17:30	川野 庸一	ユニット３ ぶどう膜炎	ぶどう膜炎について理解する。	1.ぶどう膜炎を有する患者の診療録を熟読し、その治療における問題点を列記する。 2.ベーチェット病に関する文献を選択し、熟読する。 3.ぶどう膜炎の治療法とその予後を、病態別に分類し説明する。	参考書の該当項目	診療録 参考書	総合医学講座実習室、外来、図書館

小児科学講義①

前期　１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：鳥巣　浩幸

〔担当教員〕
鳥巣　浩幸

〔一般目標〕
小児の特性および小児期特有の疾患について理解する。

〔授業到達目標〕
① 小児の成長・発達について説明できる。
② 小児に多い感染症の特徴を解説できる。
③ 小児に多いアレルギー疾患の特徴を解説できる。

〔教科書・参考書〕
・Nelson Textbook of Pediatrics 20th ed Saunders
・小児科学（第３版）　医学書院
・小児科学（改訂 10 版）文光堂

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、ユニット毎に提出するレポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 7	前期 ４月 ～5 月 火曜日 10：35 ～ 11：55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット１	小児の成長･発達について説明できる。	1. 小児の成長を説明できる。 2. 小児の精神的発達を説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	小児科 外来
8 ～ 15	前期 ６月～ ７月 火曜日 10：35 ～ 11：55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット２	小児期に多い疾患の特徴について､解説できる。	1. 感染症の病態が理解できる。 2. アレルギー疾患の病態が説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	小児科 外来

小児科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：鳥巣　浩幸

〔担当教員〕
鳥巣　浩幸

〔一般目標〕
小児の特性および小児期特有の疾患について理解する。

〔授業到達目標〕
① 小児に多い神経疾患を説明できる。
② 先天性疾患・遺伝性疾患を解説できる。
③ 小児期の発達障害の特徴を説明できる。

〔教科書・参考書〕
・Nelson Textbook of Pediatrics 20th ed Saunders
・小児科学（第３版）　医学書院
・小児科学（改訂 10 版）文光堂

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、ユニット毎に提出するレポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 7	後期 10 月 ～ 11 月 火曜日 10：35 ～ 11：55	鳥巣	ユニット１	小児期に多い疾患の特徴について､解説できる。	1. 小児に多い神経疾患の病態が理解できる。 2. 先天性疾患・遺伝性疾患の病態が説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	小児科 外来
8 ～ 15	後期 12 月 ～ 1 月 火曜日 10：35 ～ 11：55	鳥巣	ユニット２	小児期の発達障害の特徴を説明できる。	1. 自閉症スペクトラム障害の病態が理解できる。 2. 注意欠陥多動症の病態と対応が説明できる。 3. 学習障害の病態と対応が説明できる。	講義内で指定される資料をあらかじめ読んでおく。	教科書・参考書	小児科 外来

小児科学実習①
（基礎演習）

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：鳥巣　浩幸

〔担当教員〕
鳥巣　浩幸

〔一般目標〕
小児の特性および小児期特有の疾患を理解するために、小児の接し方や診察法を修得する。

〔授業到達目標〕
① 小児の問診法を理解する。
② 小児の計測法を理解できる。
③ 小児の診察法を理解できる。

〔教科書・参考書〕
・Nelson Textbook of Pediatrics 20th ed Saunders
・開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	前期 4月 ～ 5月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット１	小児の接し方を理解する	小児の問診法・計測法を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16 ～ 30	前期 6月 ～ 7月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科担 当教員	ユニット２	小児の診察法を理解する	小児の診察法を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

小児科学実習②
（基礎演習）

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：鳥巣　浩幸

〔担当教員〕
鳥巣　浩幸

〔一般目標〕
小児の特性および小児期特有の疾患を理解するために、小児診療での検査とその適応・解釈について理解する。

〔授業到達目標〕
① 小児の検査法を理解する。
② 小児の検査結果を解釈できる。

〔教科書・参考書〕
・Nelson Textbook of Pediatrics 20th ed Saunders
・開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～15	後期 10 月 ～ 11 月 水曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット１	小児検査について理解する	小児の診療における検査法について理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16～30	後期 12 月 ～ 1 月 水曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット２	小児における検査結果の解釈ができる	1. 小児における検査の選択について理解する 2. 検査結果を解釈ができる	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

小児科学実習③
（基礎演習）

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：鳥巣　浩幸

〔担当教員〕
鳥巣　浩幸

〔一般目標〕
小児の特性および小児期特有の疾患を理解する

〔授業到達目標〕
① 小児の感染症について理解し、対応法・治療法について説明できる
② 小児のアレルギー性疾患について理解し、対応法・治療法について説明できる

〔教科書・参考書〕
・Nelson Textbook of Pediatrics 20th ed Saunders
・開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10 月 ～ 11 月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット１	小児の感染症について理解し、対応法･治療法について説明できる	1.診断法を理解する 2.抗菌薬の使い方を理解する 3.解熱剤等の使い方を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16 ～ 30	後期 12 月 ～ 1 月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巣 小児科 担当教員	ユニット２	小児のアレルギーについて理解し､対応法･治療法について説明できる	1.診断法を理解する 2.抗アレルギー薬の使い方を理解する 3.吸入剤等の使い方を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

整形外科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：井上　敏生

〔担当教員〕
井上　敏生、加島　伸浩、永野　智子

〔一般目標〕
１．運動学・運動力学を、歩行分析を通して理解する。
２．骨折の病態と、治療の考え方を理解する。
３．骨長調整の手法と原理について理解する。

〔授業到達目標〕
１．正常歩行における下肢の関節の動きを、運動学・運動力学的に説明できる。
２．骨折治療法の原理を説明できる。
３．仮骨延長法における骨形成の原理を説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、レポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 4	前期 ４月～ ５月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット１	歩行の力学(歩行の原理について基礎的知識を理解する。)	1. 歩行の原理について具体的に説明する。 2. 運動学・運動力学について説明する。 3. 下肢の関節の機能について説明する。 4. 異常歩行の種類とその病態について説明する。	力学の概念（位置、速度、加速度、質量、力）について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室
5 ～ 8	前期 ５月～ ６月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット２	骨折の病態(骨折の病態について基礎的知識を理解する。)	5. 骨構造について説明する。 6. 骨折の病態について具体的に説明する。 7. 骨折の分類と特徴について具体的に説明する。 8. 開放骨折、病的骨折について具体的に説明する。	主な骨の名称と骨形態について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 11	前期 ７月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット３	骨折の治療(骨折の治療について基礎的知識を理解する。)	9.骨折の治癒過程について具体的に説明する。 10.骨折の保存的治療について具体的に説明する。 11.骨折の観血的治療について具体的に説明する。	主な骨の名称と骨形態について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室
12 ～ 15	前期 9月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット４	骨長調整の手法と原理(骨長調整について基礎的知識を理解する。)	12.骨長調整の必要となる病態、疾患について説明する。 13.骨長調整の手法と原理について具体的に説明する。 14.仮骨延長法の基礎と原理について具体的に説明する。 15.仮骨延長法の実際について具体的に説明する。	長管骨の骨構造について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室

整形外科学講義②

後期１５コマ（ユニット５～８：２単位）
評価責任者：井上　敏生

〔担当教員〕
井上　敏生、加島　伸浩、永野　智子

〔一般目標〕
１．関節の構造を理解する。
２．運動学・運動力学を、関節の動きを通して理解する。
３．関節拘縮の原因と治療の考え方について理解する。

〔授業到達目標〕
１．関節の構成要素を説明できる。
２．関節モーメントについて説明できる。
３．関節拘縮の種類と病態について説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、レポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 4	後期 10月～ 11月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット５	関節の構造(関節について基礎的知識を理解する。)	1. 関節の構造ついて解剖学的に説明する。 2. 関節周囲の構造について解剖学的に説明する。 3. 関節の種類について説明する。 4. 関節の種類別の特徴について説明する。	主な関節の名称を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室
5 ～ 8	後期 11月～ 12月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット６	関節の運動(関節の運動学･運動力学について理解する。)	5. 関節の運動学について総論的に説明する。 6. 関節の運動学について具体的に説明する。 7. 関節の運動力学について総論的に説明する。 8. 関節の運動力学について具体的に説明する。	四肢の関節を動かす主な筋の名称を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 11	後期 １月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット７	関節拘縮の病態(関節拘縮の原因と病態を理解する。)	9. 関節拘縮の原因について具体的に説明する。 10. 関節拘縮の病態について具体的に説明する。 11. 関節拘縮の全身への影響について具体的に説明する。	主な関節の正常可動域を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室
12 ～ 15	後期 ２月 水曜日 14：35 ～ 15：55	井上 加島 永野	ユニット８	関節拘縮の治療(関節拘縮の治療の考え方と実際について理解する。))	12. 関節拘縮の治療の考え方について総論的に説明する。 13. 関節拘縮の治療の考え方について具体的に説明する。 14. 関節拘縮の治療の実際について具体的に説明する。 15. 関節拘縮の治療の限界について具体的に説明する。	四肢の関節を動かす主な筋の名称を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室

整形外科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：井上　敏生

〔担当教員〕
井上　敏生、加島　伸浩、永野　智子

〔一般目標〕
１．運動学・運動力学を、歩行分析を通して理解する。
２．歩行分析により実際の歩行を理解する。
３．歩行分析により正常歩行および異常歩行を理解する。

〔授業到達目標〕
１．歩行分析の方法について具体的に説明する。
２．実際の歩行について具体的に説明する。
３．正常歩行と異常歩行の違いについて説明する。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、レポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	前期 4月 月・金 曜日 14：30 ～ 17：30	井上 加島 永野	ユニット１	歩行の力学 1（歩行分析の方法を理解する。）	1. 歩行分析の方法について具体的に説明する①。 2. 歩行分析の方法について具体的に説明する②。 3. 歩行分析の方法について具体的に説明する③。	自分で歩いてみて、下肢の動きのイメージ、足の衝撃、緊張する筋を体感する。	配布プリント	整形外科 外来
11 ～ 20	前期 4月, 5月 月・金 曜日 14：30 ～ 17：30	井上 加島 永野	ユニット２	歩行の力学２（実際の歩行を分析する。）	1. 実際の歩行について具体的に説明する①。 2. 実際の歩行について具体的に説明する②。 3. 実際の歩行について具体的に説明する③。	非高齢者の歩行を観察する。	配布プリント	整形外科学 外来
21 ～ 30	前期 5月, 6月 月・金 曜日 14：30 ～ 17：30	井上 加島 永野	ユニット３	歩行の力学３（正常歩行と異常歩行の違いを理解する。）	1. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する①。 2. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する②。 3. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する③。	高齢者の歩行を観察する。	配布プリント	整形外科学 外来

整形外科学実習②

前期３０コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：井上　敏生

〔担当教員〕
井上　敏生、加島　伸浩、永野　智子

〔一般目標〕
１．骨折の治療について具体的方法を理解する。
２．骨折の治療法の選択の意義を理解する。
３．骨長調整の手法を理解する。

〔授業到達目標〕
１．骨折の治療について具体的に説明する。
２．骨折の治療法の選択の意義について説明する。
３．骨長調整の手法について具体的に説明する。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～10	前期６月、７月・金曜日 14：30～17：30	井上 加島 永野	ユニット４	骨折の治療１(骨折の治療について具体的方法を理解する。)	1.骨折の治療について具体的に説明する①。 2.骨折の治療について具体的に説明する②。 3.骨折の治療について具体的に説明する③。	主な四肢の骨の名称を調べる。	配布プリント	整形外科外来
11～20	前期７月、８月・金曜日 14：30～17：30	井上 加島 永野	ユニット５	骨折の治療２(骨折の治療法の選択の意義を理解する。)	1.骨折の治療法の選択の意義について説明する①。 2.骨折の治療法の選択の意義について説明する②。 3.骨折の治療法の選択の意義について説明する③。	骨折時の骨折部の組織の状態およびその後の経時的変化を調べる。	配布プリント	整形外科学外来
21～30	前期８月、９月・金曜日 14：30～17：30	井上 加島 永野	ユニット６	骨長調整の手法(骨長調整の手法を理解する。)	1.骨長調整の手法について具体的に説明する①。 2.骨長調整の手法について具体的に説明する②。 3.骨長調整の手法について具体的に説明する③。	骨長調整の手法（骨長調整の手法を理解する。)	配布プリント	整形外科学外来

整形外科学実習③

後期３０コマ（ユニット７～９：２単位）
評価責任者：井上　敏生

〔担当教員〕
井上　敏生、加島　伸浩、永野　智子

〔一般目標〕
１．関節の構造を理解する。
２．運動学・運動力学を、関節の動きを通して理解する。
３．関節拘縮の原因と治療の考え方について理解する。

〔授業到達目標〕
１．関節の構造を模型等を使い理解する。
２．関節の動きを、画像や実際の人の関節の動きを見て理解する。
３．関節拘縮の治療の具体的方法を、画像等を使い理解する。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、レポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10 月 月・金 曜日 14：30 ～ 17：30	井上 加島 永野	ユニット７	関節の構造(関節の解剖を理解する。)	1. 関節の構造ついて具体的に説明する①。 2. 関節の構造ついて具体的に説明する②。 3. 関節の構造ついて具体的に説明する③。	主な関節の名称を調べる。	配布プリント	整形外科 外来
11 ～ 20	後期 10月、11月 月・金 曜日 14：30 ～ 17:300	井上 加島 永野	ユニット８	関節の運動学･運動力学(関節の動きを分析する。)	1. 関節の動きについて具体的に説明する①。 2. 関節の動きについて具体的に説明する②。 3. 関節の動きについて具体的に説明する③。	主な関節の種類を調べる。	配布プリント	整形外科学 外来
21 ～ 30	後期 11月、12月 月・金 曜日 14：30 ～ 17：30	井上 加島 永野	ユニット９	関節の拘縮(病態と治療を理解する。)	1. 関節の拘縮の病態について説明する。 2. 関節の拘縮の治療について説明する。 3. 関節拘縮の治療の限界について説明する。	主な関節の正常可動域を調べる。	配布プリント	整形外科学 外来

皮膚科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：古村 南夫

〔担当教員〕
古村 南夫

〔一般目標〕
本来は非自己を認識して攻撃する生体防御機構が，自己を攻撃する自己免疫によって起こる自己免疫疾患のなかで，自己免疫性水疱症は発症機構が最も解明されている。その発症機構を、1. 自己抗原，2. リンパ球，3. 水疱形成の 3 段階に分けて習得し、自己免疫についての理解を深める。

〔授業到達目標〕
①自己免疫性水疱症の病態について説明できる。
②自己免疫性水疱症の治療法と問題点について説明できる。
③自己免疫性水疱症の診断および治療法の新規開発ための研究アプローチを説明できる。
④自己免疫性水疱症発症病態解明に関する最新の英語論文を読み、研究の方法と新しい研究の方向性を理解する。

〔教科書・参考書〕
参考書
自己免疫性水疱症－今日の進歩、 医学のあゆみ vol.236, No.11 医歯薬出版株式会社、2011
水疱症の治療 最前線、 MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、各ユニットの終了時に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時 限	授 業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4 月～7 月 月曜日 13:00～14:20	古村	ユニット１ 自己免疫性水疱症:病態の理解	自己免疫性水疱症の病態について理解する。	臨床研究と比較した基礎研究の意義を説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学学生実習室（４Ｆ）
2					天疱瘡の病態について説明できる。			
3					水疱性類天疱瘡の病態について説明できる。			
4					自己免疫性水疱症における慢性炎症の役割について説明できる。			
5		古村	ユニット２ 自己免疫性水疱症:治療法と問題点	自己免疫性水疱症の治療法と問題点について理解する。	自己免疫性水疱症の免疫抑制療法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	水疱症の治療 最前線	総合医学学生実習室（４Ｆ）

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6		古村	ユニット２自己免疫性水疱症:治療法と問題点	自己免疫性水疱症の治療法と問題点について理解する。	自己免疫性水疱症の大量γグロブリン静注療法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	水疱症の治療 最前線	総合医学学生実習室（４Ｆ）
7					自己免疫性水疱症治療法の問題点について説明できる			
8					開発中の新規治療法について説明できる。			
9		古村	ユニット３自己免疫性水疱症：診断･治療法新規開発	自己免疫性水疱症の診断および治療法の新規開発のための研究アプローチについて理解する。	蛍光抗体法や免疫電顕を用いた研究について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学学生実習室（４Ｆ）
10					動物を用いた自己免疫性水疱症発症モデルについて説明できる。			
11					培養細胞を用いた特異抗体による発症モデルについて説明できる。			
12		古村	ユニット４自己免疫性水疱症:発症病態解明と最新の知見	自己免疫性水疱症発症病態解明に関する最新の英語論文を読み､研究の方法と新しい方向性を理解する。	自己免疫性水疱症治療に関する英語論文のプレゼンテーション（１）	該当する論文を検索し、素読しておく。	発表用資料の配布	総合医学学生実習室（４Ｆ）
13					自己免疫性水疱症治療に関する英語論文のプレゼンテーション（２）			
14					自己免疫性水疱症治療に関する英語論文のプレゼンテーション（３）			
15					自己免疫性水疱症治療に関する英語論文のプレゼンテーション（４）			

皮膚科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：古村　南夫

〔担当教員〕
古村　南夫

〔一般目標〕
新規治療法開発の重要性を理解するために、分子標的治療の開発と研究の基礎を習得する。

〔授業到達目標〕
①分子標的治療の概念について説明できる。
②がんや関節リウマチ、尋常性乾癬の分子標的治療薬について説明できる。
③種々の免疫学的異常を呈する慢性炎症性皮膚疾患である尋常性乾癬に対する分子標的治療の研究について説明できる。
④尋常性乾癬の分子標的治療に関する最新の英語論文を読み、新しい研究の方向性を理解する。

〔教科書・参考書〕
参考書
分子標的治療薬マスターガイド　弦間 昭彦(編)、中外医学社、2014

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、各ユニットの終了時に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	９月～12月月曜日13：00～14：20	古村	ユニット１分子標的治療の概念	分子標的治療の概念について理解する。	分子標的治療の概念について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	分子標的治療薬マスターガイド	総合医学学生実習室（４Ｆ）
2					分子標的治療の歴史について説明できる。			
3					分子標的治療の倫理について説明できる。			
4					分子標的薬の基礎について説明できる。			
5		古村	ユニット２分子標的薬の分子レベルでの治療標的に対する作用	分子標的薬の分子レベルでの治療標的に対する働きについて理解する。	分子標的薬の種類を説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	分子標的治療薬マスターガイド	総合医学学生実習室（４Ｆ）
6					がんの増殖や転移に必要な分子を特異的に抑える機序を説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7		古村	ユニット２ 分子標的薬の分子レベルでの治療標的に対する作用	分子標的薬の分子レベルでの治療標的に対する働きについて理解する。	関節リウマチや尋常性乾癬などの炎症性疾患で炎症に関わる分子を特異的に抑える機序について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	分子標的治療薬マスターガイド	総合医学学生実習室（４Ｆ）
8		古村	ユニット３ がんや慢性炎症性疾患に対する分子標的治療の研究	がんや慢性炎症性疾患に対する分子標的治療の研究について理解する。	分子標的薬によるがん治療の研究について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	分子標的治療薬マスターガイド	総合医学学生実習室（４Ｆ）
9					分子標的薬による関節リウマチ治療の研究について説明できる。			
10					分子標的薬による尋常性乾癬治療の研究について説明できる。			
11		古村	ユニット４ 尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関連した最新知見	尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する最新の英語論文を読み、新しい研究の方向性を理解する。	尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する論文のプレゼンテーション（１）	該当する論文を検索し、素読しておく。	発表用資料の配布	総合医学学生実習室（４Ｆ）
12					尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する論文のプレゼンテーション（２）			
13					尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する論文のプレゼンテーション（３）			
14					尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する論文のプレゼンテーション（４）			
15					尋常性乾癬の新規分子標的薬治療法開発に関する論文のプレゼンテーション（５）			

皮膚科学基礎実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：古村 南夫

〔担当教員〕
古村 南夫

〔一般目標〕
自己免疫性水疱症の発症病態を解明する実験の基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①自己免疫性水疱症で知られている病態を理解し病態をさらに解明する手技を修得する。
②自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
自己免疫性水疱症－今日の進歩、　医学のあゆみ vol.236, No.11　医歯薬出版株式会社、2011
水疱症の治療 最前線、 MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～8	4 月～7 月 月・木曜日 14：30～17：30	古村	ユニット１自己免疫性水疱症:基本的免疫血清学的診断手技（1）	自己免疫性水疱症の病態を理解し、基本的な免疫血清学的診断の手技を修得する。	蛍光抗体法を用いた実験法の基礎を修得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室
9～15					イムノブロット法を用いた実験法の基礎を修得する。			
16～22		古村	ユニット２自己免疫性水疱症:基本的免疫血清学的診断手技（2）	自己免疫性水疱症の病態を解明する手技を修得する。	ELISA 法を用いた研究に関する基礎を習得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室
23～30		古村	ユニット２自己免疫性水疱症:基本的免疫血清学的診断手技（2）	自己免疫性水疱症の病態を解明する手技を修得する。	ELISA 法を用いた研究に関する基礎を習得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室

皮膚科学基礎実習②

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：古村　南夫

〔担当教員〕
古村　南夫

〔一般目標〕
自己免疫性水疱症の発症病態を解明する実験の基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕
①自己免疫性水疱症の病態を理解し、さらなる病態を解明する手技を修得する。
②自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
自己免疫性水疱症－今日の進歩、　医学のあゆみ vol.236, No.11　医歯薬出版株式会社、2011
水疱症の治療 最前線、 MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～10	9月～12月月・木曜日14：30～17：30	古村	ユニット１自己免疫性水疱症:新規治療の探求（１）	自己免疫性水疱症の新規治療を探求する手技を理解する（１）	免疫血清学的解析をもとにした特異抗原の同定の手法と治療標的の検索方法を習得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室
11～20		古村	ユニット２自己免疫性水疱症:新規治療の探求（２）	自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する（２）	組織サンプルの解析技法を修得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室
21～30		古村	ユニット３自己免疫性水疱症:新規治療の探求（３）	自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する（３）	解析結果を統合して診断アルゴリズムを理解したうえで、具体的な治療方法開発の可能性について考察を行う。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症－今日の進歩	総合医学講座実験室

皮膚科学基礎実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：古村　南夫

〔担当教員〕
古村　南夫

〔一般目標〕
新規治療法の開発の重要性を理解するために、ゲノム解析による遺伝子変異の同定から分子標的薬が創薬される過程について理解する。

〔授業到達目標〕
①遺伝子クローニング実験において頻繁に行われるインサートチェックをコロニーPCR の手法で確認し、その増幅産物を使って塩基配列を決定する実験手技を修得する。
②ゲノム変異に基づいた分子標的療法を用いた新規治療を探究する方法を理解するための基本的知識として、ヒト遺伝子に関連する情報のインターネット上での入手、解析方法を習得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
これからのゲノム医療を知る―遺伝子の基本から分子標的薬、オーダーメイド医療まで 中村 祐輔編、羊土社、2009
Entrez Gene クイックスタート PDF 形式のファイルを下記アドレスでダウンロードする。
(www.jst.go.jp/nbdc/bird/minicourses/gene.pdf)

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	1月～3月月・木曜日 14：30～17：30	古村	ユニット１遺伝子クローニング技術	遺伝子クローニングの基礎を理解し、実験手技を修得する。	遺伝子クローニング実験の流れを理解する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	これからのゲノム医療を知る―遺伝子の基本から分子標的薬、オーダーメイド医療まで	総合医学講座実験室
6～10					クローニング用ベクターの取り扱いを習得する（１）。			
11～15					クローニング用ベクターの取り扱いを習得する（２）。			
16～20					大腸菌への遺伝子導入法とコロニーPCR の手技を習得する。			
21～25					遺伝子導入した大腸菌の増幅産物を用いて遺伝子配列を決定する。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 ～ 28		古村	ユニット２ 遺伝子関連情報の処理	mRNA やゲノム配列情報、遺伝子構造情報（エクソン、イントロンの位置）、機能、変異と関連する表現型といったヒト遺伝子に関連する情報をどのように手に入れるかを学ぶ。	NCBI の Entrez Gene で、特定のタンパク質のヒトのエントリを検索し遺伝子情報確認後、場所をゲノムマップ上で確認し、機能、別名、遺伝子の変異に関連した表現型を調べる。 RefSeq の mRNA のデータでアノーテートされた選択的スプライス転写産物と真核生物ホモログ確認。 Alignment Scores 表示で相同性やアライメントを調べる方法を習得する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	Entrez Gene クイックスタート PDF 形式のファイル	総合医学講座研究室
29 ・ 30					SNP:GeneView にて遺伝子上にアノーテートされた塩基置換を確認し、非同義置換の変異やコード領域にある既知の SNP s が表現型に関連するか SNP レポート中の OMIM データにアクセスする方法を習得する。 発現タンパク質の変異による立体構造の変化を比較する方法を習得する。			

内視鏡学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
池田　哲夫

〔一般目標〕
内視鏡と内視鏡外科手術の現状と必要な機器の原理と開発の基礎を習得する。

〔教科書・参考書〕
参考書　クリニカルエンジニアリング 24―2―臨床工学ジャーナル 特集:内視鏡外科手術―腹腔鏡下手術など―をサポートする臨床工（単行本）廣瀬稔（著）学研メディカル秀潤社（2013/1/1）

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～4	前期４月～５月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット１内視鏡と内視鏡機器の歴史	内視鏡と内視鏡機器の歴史について説明できる。	１．内視鏡技術の歴史について説明できる。 ２．内視鏡技術と機器開発について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター
5～8	前期５月～６月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット２高周波電気手術器機(電気メス、超音波切開凝固装置)	高周波電気手術器機（電気メス、超音波切開凝固装置）の原理と応用	4. 電気メスの原理について説明できる。 5. 生体内無線電力伝送方法について説明できる。 6. 生体内無線電力伝送方法の応用技術と実験方法について説明できる	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター
9～11	前期７月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット３光学画像診断装置	光学画像診断装置の原理と応用ついて説明できる。	7. 近赤外線を用いた診断装置の研究について説明できる。 8. Hb 色素に着目した生体定量イメージング装置の原理と応用について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	前期 ９月 木曜日 10：35 ～ 11：55	池田	ユニット４ 組織接合方法	組織接合方法の現状と新しい方向性を理解する。	9. コラーゲン繊維の構造と生体材料について説明できる 10．コラーゲンの嵌合現症について説明できる	該当する論文を検索し、素読しておく。	配付プリント	内視鏡センター

内視鏡学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
池田　哲夫

〔一般目標〕
常在細菌が操る人の健康と疾患の基礎と研究方法を習得する。

〔教科書・参考書〕
参考書　医学のあゆみ 264 巻 1 号 腸内細菌と臨床医学　医歯薬出版（2018/1/5）

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～4	後期１０月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット１ヒト常在菌の概念。	腸内細菌叢の基礎と研究の歴史について説明できる。	１．腸内細菌叢と口腔内常在菌について説明できる。 ２．腸内細菌叢の研究方法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内視鏡センター
5～7	後期１１月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット２腸内細菌叢と肥満、メタボリックシンドローム	腸内細菌叢と肥満、メタボリックシンドロームの関係について説明できる	3. 腸内細菌叢と肥満について説明できる。 4. 腸内細菌叢とメタボリックシンドロームの関係について。 ７．腸内細菌叢の役割について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター
8～10	後期１２月木曜日 10：35～11：55	池田	ユニット３腸内細菌叢とアレルギー、動脈硬化その他の疾患	腸内細菌叢とアレルギー、動脈硬化その他の疾患ついて説明できる。	4. 腸内細菌叢とアレルギー性疾患について説明できる。 5. 腸内細菌叢と動脈硬化の関係について。 6. 腸内細菌叢とエネルギー代謝について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・参考書	内視鏡センター

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	後期 １月～ ２月 木曜日 10：35 ～ 11：55	池田	ユニット４ 腸内細菌叢解析方法と健全化治療	腸内細菌叢解析方法と健全化治療を理解する。	7. 次世代シーケンサーを用いた腸内細菌叢解析方法の原理について説明できる。 8. 腸内細菌叢解析の臨床応用に関して説明できる。 9. プロバイオティクスの有用性と投与方法について説明できる。 10. 食事とプレバイオティクスについて説明できる。	該当する論文を検索し、素読しておく。	配付プリント・参考書	内視鏡センター

内視鏡センター実習①

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
池田　哲夫、橋本　直隆、堤　亮介

〔一般目標〕
上部消化管内視鏡検査および処置を理解するために、実際の技法および評価項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕
上部消化管内視鏡検査および処置の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕
消化器内視鏡ハンドブック改訂第２版　日本消化器内視鏡学会監修, 2017 年, 日本メディカルセンター
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014 年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 9 月、10 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット 1 上部消化管内視鏡検査の理解	上部消化管内視鏡検査の手技･評価方法を取得する	上部消化管内視鏡検査の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 内視鏡室
9-15	後期 9 月、10 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット 2 上部消化管内視鏡処置の理解	上部消化管内視鏡処置の手技･評価方法を取得する	上部消化管内視鏡処置の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 内視鏡室

内視鏡センター実習②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
池田　哲夫、橋本　直隆、堤　亮介

〔一般目標〕
下部消化管内視鏡検査および処置を理解するために、実際の技法および評価項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕
下部消化管内視鏡検査および処置の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕
消化器内視鏡ハンドブック改訂第２版　日本消化器内視鏡学会監修, 2017 年, 日本メディカルセンター
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014 年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 11 月、12 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット１ 下部消化管内視鏡検査の理解	下部消化管内視鏡検査の手技･評価方法を取得する	下部消化管内視鏡検査の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 内視鏡室
9-15	後期 11 月、12 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット２ 下部消化管内視鏡処置の理解	下部消化管内視鏡処置の手技･評価方法を取得する	下部消化管内視鏡処置の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 内視鏡室

内視鏡センター実習③

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：池田　哲夫

〔担当教員〕
池田　哲夫、橋本　直隆、堤　亮介

〔一般目標〕
腹腔鏡下手術を理解するために、実際の技法および観察項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕
腹腔鏡下手術の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕
消化器内視鏡ハンドブック改訂第２版　日本消化器内視鏡学会監修, 2017 年, 日本メディカルセンター
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014 年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 1 月、2 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット 1 腹腔鏡下手術の理解	腹腔鏡下手術の実際を理解する	腹腔鏡下手術の現場を見学し、内容を理解する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 手術室
9-15	後期 1 月、2 月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田 橋本 堤	ユニット 2 腹腔鏡下手術の体験	腹腔鏡下手術の技術を取得する	生体モデルを用いた腹腔鏡下手術のデモンストレーションを行い、手技を獲得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局 手術室

口腔健康科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
埴岡　隆、谷口奈央、島津　篤

〔一般目標〕
口臭、歯周病、オーラルフレイル等歯科疾患の臨床疫学研究開発に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①口腔疾患の疫学研究開発の基本について説明できる。
②人を対象とする医学系研究倫理指針の臨床疫学研究開発への適用について説明できる。
③口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。
④歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について説明できる。
⑤喫煙・食生活と口腔疾患の関係に関する臨床疫学研究開発について説明できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学　第 3 版、医学書院、2012 年
（疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3240 円）
２．川村　孝、臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント、医学書院、2016 年
（EBM 時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4536 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%
３．選択論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	４月 第２週 月　・ 水・金 16:10 ～ 17:30	埴岡　隆	１・疫学基礎１	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	生物統計学の基礎と応用について説明できる。	生物統計学の基礎と応用	参考書 1,2	研究室
2		谷口奈央	１・疫学基礎２	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	口腔疾患の疫学指標と特徴について説明できる。	口腔疾患の疫学指標と特徴	参考書 1,2	研究室
3		島津　篤	１・疫学基礎３	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	口腔疫学固有の特徴について説明できる。	口腔疾患固有の特徴	参考書 1,2	研究室
4	５月 第２週 月・水・金 16:10 ～ 17:30	埴岡　隆	２・臨床疫学１	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	臨床疫学研究の方法について説明できる。	臨床疫学研究の方法	参考書 1,2	研究室
5		谷口奈央	２・臨床疫学２	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	臨床疫学研究のすすめ方について説明できる。	臨床疫学研究のすすめ方	参考書 1,2	研究室
6		島津　篤	２・臨床疫学３	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	倫理指針の実践について説明できる。	ヒトを対象とする医学系研究倫理指針	参考書 1,2	研究室
7	６月 第２週 月・水・金	谷口奈央	３・臨床疫学開発１・口臭１	口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学指標について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学指標	参考書 1,2 指定論文	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
8	16:10 ～ 17:30	谷口奈央	３・臨床疫学開発１・口臭２	口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学研究のすすめ方について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学研究のすすめ方	参考書1,2 指定論文	研究室
9		谷口奈央	３・臨床疫学開発１・口臭３	口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学知見について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学知見	参考書1,2 指定論文	研究室
10	７月 第２週 月・水・金 16:10 ～ 17:30	島津　篤	３・臨床疫学２・歯周病１	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学指標について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学指標	参考書1,2 指定論文	研究室
11		島津　篤	３・臨床疫学２・歯周病２	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学研究のすすめ方について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学研究のすすめ方	参考書1,2 指定論文	研究室
12		埴岡　隆	３・臨床疫学２・歯周病３	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学知見について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学知見	参考書1,2 指定論文	研究室
13	９月 第２週 月・水・金 16:10 ～ 17:30	埴岡　隆	３・臨床疫学３・喫煙１	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について説明できる。	喫煙・食生活に関連する疫学指標について説明できる。	喫煙・食生活に関連する疫学指標	参考書1,2 指定論文	研究室
14		埴岡　隆	３・臨床疫学３・喫煙２	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について説明できる。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学研究のすすめ方について説明できる。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学研究のすすめ方	参考書1,2 指定論文	研究室
15		埴岡　隆	３・臨床疫学３・喫煙３	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について説明できる。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学知見について説明できる。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学知見	参考書1,2 指定論文	研究室

口腔健康科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
埴岡　隆、谷口奈央、島津　篤

〔一般目標〕
口臭、歯周病およびオーラルフレイルの臨床疫学知見による全身の健康とのコモンリスクファクター・アプローチの研究開発に関する知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①健康教育、行動変容および健康政策研究開発の基本について説明できる。
②口臭・ホロバイオント異常の予防開発研究について説明できる。
③歯周病・オーラルフレイルの予防研究開発について説明できる。
④歯科におけるタバコ対策・食生活改善に係る予防研究開発について説明できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー:健康教育の新しいキーワード、2016
（健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2052 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%
３．選択論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10 月第２週 月・水・金 16:10～17:30	島津　篤	１・健康教育１	健康教育研究開発を説明できる。	健康教育研究の方法について説明できる。	健康教育	参考書１	研究室
2		埴岡　隆	１・健康教育２	健康教育研究開発を説明できる。	健康教育研究のすすめ方について説明できる。	健康教育研究	参考書１	研究室
3		谷口奈央	２・行動科学１	行動科学研究開発を説明できる。	行動科学研究の方法について説明できる。	行動科学	参考書１	研究室
4	11 月第２週 月・水・金 16:10～17:30	谷口奈央	２・行動科学２	行動科学研究開発を説明できる。	行動科学研究のすすめ方について説明できる。	行動科学研究	参考書１	研究室
5		埴岡　隆	３・健康政策学１	健康政策研究開発を説明できる。	健康政策研究の方法について説明できる。	健康政策研究の方法	参考書１指定文献	研究室
6		島津　篤	３・健康政策学２	健康政策研究開発を説明できる。	健康政策研究のすすめ方について説明できる。	健康政策研究のすすめ方	参考書１指定文献	研究室
7	12 月第２週 月・水・金 16:10～17:30	谷口奈央	４・口腔疾患予防研究開発１・口臭１	口臭・ホロバイオントの予防研究開発を説明できる。	口臭・ホロバイオント異常のリスク要因研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントのリスク要因	参考書１指定文献	研究室
8		谷口奈央	４・口腔疾患予防研究開発１・口臭２	口臭・ホロバイオントの予防研究開発を説明できる。	口臭・ホロバイオント異常と口腔機能・全身疾患の関係研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントと口腔機能・全身疾患の関係	参考書１指定文献	研究室

回	授業日 時　限	授　業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9		谷口奈央	４・口腔疾患予防研究開発１・口臭３	口臭・ホロバイオントの予防研究開発を説明できる。	口臭・ホロバイオント異常ならびに全身疾患の予防介入研究開発を説明できる。	口臭・ホロバイオントならびに全身疾患の予防介入	参考書１ 指定文献	研究室
10	１月 第２週 月・水・金 16:10 ～ 17:30	島津　篤	４・口腔疾患予防研究開発２・歯周病１	歯周病予防研究開発を説明できる。	歯周病・オーラルフレイルのリスク要因研究開発について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルのリスク要因	参考書１ 指定文献	研究室
11		島津　篤	４・口腔疾患予防研究開発２・歯周病２	歯周病予防研究開発を説明できる。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患との関係研究開発について説明できる。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患との関係	参考書１ 指定文献	研究室
12		埴岡　隆	４・口腔疾患予防研究開発２・歯周病３	歯周病予防研究開発を説明できる。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患の予防介入研究開発を説明できる。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患の予防介入	参考書１ 指定文献	研究室
13	２月 第２週 月・水・金 16:10 ～ 17:30	埴岡　隆	４・口腔疾患予防研究開発３・タバコ使用・食生活１	タバコ対策・食生活改善研究開発を説明できる。	喫煙・食生活と口腔疾患との関係研究開発を説明できる。	喫煙・食生活と口腔疾患との関係	参考書１ 指定文献	研究室
14		埴岡　隆	４・口腔疾患予防研究開発３・タバコ使用・食生活２	タバコ対策・食生活改善研究開発を説明できる。	受動喫煙・栄養成分と口腔疾患との関係研究開発を説明できる。	受動喫煙・栄養成分と口腔疾患との関係	参考書１ 指定文献	研究室
15		埴岡　隆	４・口腔疾患予防研究開発３・タバコ使用・食生活３	タバコ対策・食生活改善研究開発を説明できる。	口腔疾患と全身疾患のコモンリスクファクター・アプローチ研究を説明できる。	口腔疾患と全身疾患のコモンリスクファクター・アプローチ	参考書１ 指定文献	研究室

口腔健康科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
埴岡　隆、谷口奈央、島津　篤

〔一般目標〕
口臭、歯周病・オーラルフレイル等歯科疾患の臨床疫学研究開発について論文に基づいて批判する。

〔授業到達目標〕
①口腔疾患の疫学研究開発の基本について研究論文をもとに批判する。
②人を対象とする医学系研究倫理指針の臨床疫学研究開発への適用について研究論文をもとに批判する。
③口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。
④歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。
⑤食生活・喫煙と口腔疾患の関係に関する臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学　第 3 版、医学書院、2012 年
（疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3240 円）
２．川村　孝、臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント、医学書院、2016 年
（EBM 時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4536 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文（原著１編）の批判的プレゼンテーション 30%
３．選択論文（原著１編）の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	４月第３週 月・水・金 14:35～17:30	埴岡　隆	１・疫学基礎１	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	生物統計学の基礎と応用について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
2		谷口奈央	１・疫学基礎２	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	口腔疾患の疫学指標と特徴について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
3		島津　篤	１・疫学基礎３	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	口腔疫学固有の特徴について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
4	５月第３週 月・水・金 14:35～17:30	埴岡　隆	２・臨床疫学１	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	臨床疫学研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
5		谷口奈央	２・臨床疫学２	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
6		島津　篤	２・臨床疫学３	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	倫理指針の実践について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書 1,2 検索した文献	研究室

回	授業日 時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7	６月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	谷口奈央	３・臨床疫学開発・１口臭・ホロバイオント１	口臭･ホロバイオント異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭･ホロバイオント異常に関連する臨床疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
8		谷口奈央	３・臨床疫学開発１・口臭・ホロバイオント２	口臭･ホロバイオント異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭･ホロバイオント異常に関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
9		谷口奈央	３・臨床疫学開発１・口臭・ホロバイオント３	口臭･ホロバイオント異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭･ホロバイオント異常に関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
10	７月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	島津　篤	３・臨床疫学２・歯周病・オーラルフレイル１	歯周病･オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病･オーラルフレイルに関連する臨床疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
11		島津　篤	３・臨床疫学２・歯周病・オーラルフレイル２	歯周病･オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病･オーラルフレイルに関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
12		埴岡　隆	３・臨床疫学２・歯周病・オーラルフレイル３）	歯周病･オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病･オーラルフレイルに関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
13	９月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	埴岡　隆	３・臨床疫学３・１喫煙・食生活	喫煙･食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙･食生活に関連する疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
14		埴岡　隆	３・臨床疫学３・２喫煙・食生活	喫煙･食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙･食生活に関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
15		埴岡　隆	３・臨床疫学３・３喫煙・食生活	喫煙･食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙･食生活に関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室

口腔健康科学実習②

後期　３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
埴岡　隆、谷口奈央、島津　篤

〔一般目標〕
口臭、歯周病等歯科疾患およびオーラルフレイルの臨床疫学知見による全身の健康とのコモンリスクファクター・アプローチの研究開発に関する研究を論文に基づいて批判する。

〔授業到達目標〕
①健康教育、行動変容および健康政策研究開発の基本についての研究を論文に基づいて批判する。
②口臭・ホロバイオント異常の予防開発研究についての研究を論文に基づいて批判する。
③歯周病・オーラルフレイルの予防研究開発についての研究を論文に基づいて批判する。
④歯科におけるタバコ対策・食生活に係る予防研究開発についての研究を論文に基づいて批判する。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー:健康教育の新しいキーワード、2016
（健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2052 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%
３．選択論文（総説１編）のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	10 月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	島津　篤	１・ 健康教育１	健康教育研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康教育研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
2		埴岡　隆	１・ 健康教育２	健康教育研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康教育研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
3		谷口奈央	２・ 行動科学１	行動科学研究開発について研究論文をもとに批判する。	行動科学研究の方法にについて研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
4	11 月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	谷口奈央	２・ 行動科学２	行動科学研究開発について研究論文をもとに批判する。	行動科学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
5		埴岡　隆	３・ 健康政策学１	健康政策研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康政策研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
6		島津　篤	３・ 健康政策学２	健康政策研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康政策研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
7	12 月 第３週 月・水・金	谷口奈央	４・ 口腔疾患予防研究開発１・口臭１	口臭・ホロバイオント異常の予防研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオント異常のリスク要因研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室

回	授業日 時　限	授　業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
8	14:35 ～ 17:30	谷口奈央	４・ 口腔疾患予防研究開発１・口臭２	口臭・ホロバイオント異常の予防研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオント異常とオーラルフレイル・全身疾患の関係研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
9		谷口奈央	４・ 口腔疾患予防研究開発１・口臭３	口臭・ホロバイオント異常の予防研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオント異常ならびに全身疾患の予防介入研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
10	１月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	島津　篤	４・ 口腔疾患予防研究開発２・ 歯周病１	歯周病・オーラルフレイル研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルのリスク要因研究開発について研究論文を・もとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
11		島津　篤	４・ 口腔疾患予防研究開発２・ 歯周病２	歯周病・オーラルフレイル研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患との関係研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
12		埴岡　隆	４・ 口腔疾患予防研究開発２・ 歯周病３	歯周病・オーラルフレイル研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルと全身疾患の予防介入研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
13	２月 第３週 月・水・金 14:35 ～ 17:30	埴岡　隆	４・ 口腔疾患予防研究開発３・ 食生活・タバコ使用１	タバコ対策・食生活改善研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙・食生活と口腔疾患との関係研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
14		埴岡　隆	４・ 口腔疾患予防研究開発３・ 食生活・タバコ使用２	タバコ対策・食生活改善研究開発について研究論文をもとに批判する。	受動喫煙と口腔疾患との関係研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室
15		埴岡　隆	４・ 口腔疾患予防研究開発３・ 食生活・タバコ使用３	タバコ対策・食生活改善研究開発について研究論文をもとに批判する。	口腔疾患と全身疾患のコモンリスクファクター・アプローチ研究について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書３ 検索した文献	研究室

口腔健康科学実習③

後期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
埴岡　隆、谷口奈央、島津　篤

〔一般目標〕
口腔疫学研究ならびに口腔健康教育および口腔予防医学研究に関する技能を身につける。

〔授業到達目標〕
①疫学研究に関係する研究倫理指針および口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。
②口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する口腔疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の研究結果を纏めて論文に記述できる。
③口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する口腔疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の研究結果の考察を論文に記述できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学　第 3 版、医学書院、2012 年
（疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3240 円）
２．川村　孝、臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント、医学書院、2016 年
（EBM 時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4536 円）
３．福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー:健康教育の新しいキーワード、2016
（健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2052 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）30%
２．選択した課題に対する仮想研究のプレゼンテーション 70%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10 月・11 月 火 13:00 ～ 15:55	埴岡　隆	１・研究目的方法１・研究提案	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究開発提案に関する基本項目を整理する。	研究開発提案	既存研究の既存資料、参考書 1-3	研究室
2		埴岡　隆	１・研究目的方法２・目的意義	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の目的・意義を吟味する。	研究の目的・意義	既存研究の既存資料	研究室
3		埴岡　隆	１・研究目的方法３・対象	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の対象を選定する。	研究の対象の選定	既存研究の既存資料	研究室
4		埴岡　隆	１・研究目的方法４・方法	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の方法を立案する。	研究の方法立案	既存研究の既存資料	研究室
5		埴岡　隆	１・研究目的方法５・記述	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の目的・意義、方法について論文に記述する。	研究目的意義方法の記述	既存研究の既存資料	研究室
6	11 月・12 月 火	谷口奈央	２・研究結果１・情報収集	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	既存研究の結果に関する情報を収集する。	研究結果情報の収集	既存研究の既存資料、参考書 1-3	研究室

7	13:00 ～ 15:55	谷口奈央	２・研究結果２・ 情報整理	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	既存研究の資料を整理する。	研究資料整理	既存研究の既存資料	研究室
8		谷口奈央	２・研究結果３・ 情報分析	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	既存研究の結果を分析する。	研究結果分析	既存研究の既存資料	研究室
9		谷口奈央	２・研究結果４・ 結果提示	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	結果を図表に提示する。	結果図表提示	既存研究の既存資料	研究室
10		谷口奈央	２・研究結果５・ 記述	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	結果について論文に記述する。	結果論文記述	既存研究の既存資料	研究室
11	１月・２月 火 13:00 ～ 15:55	島津　篤	３・考察１・結果整理要約	臨床疫学および健康介入の既存研究の結果に関する考察を論文に記述できる。	結果に関連する資料を収集する。	結果関連資料収集	既存研究の既存資料、参考書 1-3	研究室
12		島津　篤	３・考察２・関連文献収集	臨床疫学および健康介入の既存研究の結果に関する考察を論文に記述できる。	結果に関連する研究を整理する。	結果関連研究を整理	既存研究の既存資料	研究室
13		島津　篤	３・考察３・目的結果関係整理	臨床疫学および健康介入の既存研究の結果に関する考察を論文に記述できる。	結果と研究目的の関係を整理する。	結果研究目的関係整理	既存研究の既存資料	研究室
14		島津　篤	３・考察４・研究限界	臨床疫学および健康介入の既存研究の結果に関する考察を論文に記述できる。	研究の限界を整理する。	研究限界整理	既存研究の既存資料	研究室
15		埴岡　隆	３・考察５・記述	臨床疫学および健康介入の既存研究の結果に関する考察を論文に記述できる。	考察について論文に記述する。	考察論文記述	既存研究の既存資料	研究室

社会歯科学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：渡辺　猛

〔担当教員〕
渡辺　猛

〔一般目標〕
我が国の医療・介護・福祉の制度における歯科医師の立ち位置に関する研究の目的を理解すると共に、社会歯科学研究を遂行する上で必要とされる基本的な着目点・情報収集技術・考察の加え方を習得する。

〔授業到達目標〕
①児童虐待防止対策のあり方を説明できる。
②生活保護制度のあり方を説明できる。
③年金制度のあり方を説明できる。
④地域包括ケアシステムのあり方を説明できる。
⑤高齢者医療制度のあり方を説明できる。

〔教科書・参考書〕
①厚生労働省「厚生労働白書　障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」
日経印刷、2019年、WA525（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料　2019年版　口腔保健・歯科医療の統計」
口腔保健協会、2019年、WU30（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

〔成績評価の方法・基準〕
授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	前期 4月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット１ 児童福祉	児童虐待防止対策を考える。	児童虐待防止対策の沿革と課題を説明できる。	児童虐待防止対策の沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
2		渡辺			少子化対策の沿革と課題を説明できる。	少子化対策の沿革と課題を調べる。		
3		渡辺			児童虐待防止対策のあり方を説明できる。	児童虐待防止対策のあり方について調べる。		
4	前期 5月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット２ 所得保障	生活保護制度のあり方を理解する。	生活保護制度の沿革を説明できる。	生活保護制度の沿革を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
5		渡辺			生活保護制度の課題を説明できる。	生活保護制度の課題を調べる。		
6		渡辺			生活保護制度のあり方を説明できる。	ベーシックインカムについて調べる。		
7	前期 6月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺		年金制度のあり方を考える。	年金制度の沿革を説明できる。	年金制度の沿革を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
8		渡辺			年金制度の課題を説明できる。	年金制度の課題を調べる。		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9		渡辺			年金制度のあり方を説明できる。	年金制度のあり方について調べる。		
10	前期 7月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット３ 介護保険	地域包括ケアシステムのあり方を考える。	地域包括ケアシステムの沿革と課題を説明できる。	地域包括ケアシステムの沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
11		渡辺			介護保険の沿革と課題を説明できる。	介護保険の沿革と課題を調べる。		
12		渡辺			地域包括ケアシステムのあり方を説明できる。	地域包括ケアシステムのあり方について調べる。		
13	前期 8月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット４ 医療保険	高齢者医療制度のあり方を考える。	医療保険の沿革と課題を説明できる。	医療保険の沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
14		渡辺			高齢者医療制度の沿革と課題を説明できる。	高齢者医療制度の沿革と課題を調べる。		
15		渡辺			高齢者医療制度のあり方を説明できる。	高齢者医療制度のあり方について調べる。		

社会歯科学講義②

後期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：渡辺　猛

〔担当教員〕
渡辺　猛

〔一般目標〕
我が国の医療制度における歯科医師の立ち位置に関する研究の目的を理解すると共に、社会歯科学研究を遂行する上で必要とされる基本的な着目点・情報収集技術・考察の加え方を習得する。

〔授業到達目標〕
①診療報酬改定のあり方を説明できる。
②歯科診療所経営のあり方を説明できる。
③将来の歯科衛生士像を述べる。
④将来の歯科技工士像を述べる。
⑤将来の歯科医師の需給を説明できる。

〔教科書・参考書〕
①厚生労働省「厚生労働白書　障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」
日経印刷、2019年、WA525（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料　2019年版　口腔保健・歯科医療の統計」
口腔保健協会、2019年、WU30（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

〔成績評価の方法・基準〕
授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	後期10月金曜日9:00～10:20	渡辺	ユニット１診療報酬	診療報酬の改定について理解する。	診療報酬改定の歴史を説明できる。	診療報酬改定の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
2		渡辺			診療報酬改定の課題を説明できる。	診療報酬改定の課題を調べる。		
3		渡辺			診療報酬改定のあり方を説明できる。	診療報酬改定のあり方について調べる。		
4	後期11月金曜日9:00～10:20	渡辺	ユニット２歯科診療所の経営	歯科診療所の経営状態について理解する。	医療経済実態調査について説明できる。	医療経済実態調査について調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
5		渡辺			歯科診療所の経営状態の推移を説明できる。	歯科診療所の経営状態の推移を調べる。		
6		渡辺			歯科診療所経営のあり方を説明できる。	歯科診療所経営のあり方について調べる。		
7	後期12月金曜日9:00～10:20	渡辺	ユニット３歯科衛生士	歯科衛生士の業務を理解する。	歯科衛生士の歴史を説明できる。	歯科衛生士の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
8		渡辺			歯科衛生士業務の課題を説明できる。	歯科衛生士業務の課題を調べる。		
9		渡辺			将来の歯科衛生士像を述べる。	将来の歯科衛生士像について調べる。		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10	後期 1月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット４ 歯科技工士	歯科技工士の業務を理解する。	歯科技工士の歴史を説明できる。	歯科技工士の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
11		渡辺			歯科技工士業務の課題を説明できる。	歯科技工士業務の課題を調べる。		
12		渡辺			将来の歯科技工士像を述べる。	将来の歯科技工士像について調べる。		
13	後期 2月 金曜日 9:00～ 10:20	渡辺	ユニット５ 歯科医師の需給	歯科医師の需給問題を理解する。	歯科医師の需給問題の経緯を説明できる。	歯科医師の需給問題の経緯を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
14		渡辺			歯科医師の需給問題を説明できる。	歯科医師の需給問題を調べる。		
15		渡辺			将来の歯科医師の需給を説明できる。	将来の歯科医師の需給について調べる。		

社会歯科学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：渡辺　猛

〔担当教員〕
渡辺　猛

〔一般目標〕
社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

〔授業到達目標〕
①個人単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
②データを点検し、データベースを構築する方法を修得する。
③基礎統計量を記述する方法を修得する。

〔教科書・参考書〕
①厚生労働省「厚生労働白書　障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」
日経印刷、2019年、WA525（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料　2019年版　口腔保健・歯科医療の統計」
口腔保健協会、2019年、WU30（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

〔成績評価の方法・基準〕
レポート５篇と試問（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	前期 4月～ 5月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット１ 個人単位のデータ～歯科受診	個人単位のデータの取り扱い方法(1) 住民の歯科受診に関するデータ	住民の生活習慣と歯科受診に関する調査の概要を説明する。	住民の生活習慣に関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	住民の歯科受診に関するデータを収集する。		
		渡辺			データを点検し、データベースを構築する。	住民の歯科受診に関する論文を見つける。		
		渡辺			基礎統計量を記述する。	上記データの基礎統計量を観察する。		
		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記の結果を考察する。		
16 ～ 30	前期 6月～ 7月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット２ 個人単位のデータ～医院経営	個人単位のデータの取り扱い方法(2) 歯科診療所の経営状態に関するデータ	歯科診療所の診療形態と経営状態に関する調査の概要を説明する。	歯科診療所の診療形態に関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	歯科診療所の経営状態に関するデータを収集する。		
		渡辺			データを点検し、データベースを構築する。	関連する文献を見つける。		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		渡辺			基礎統計量を記述する。	上記データの基礎統計量を観察する。		
		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記の結果を考察する。		

社会歯科学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：渡辺　猛

〔担当教員〕
渡辺　猛

〔一般目標〕
社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

〔授業到達目標〕
①市町村単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
②重回帰分析法を修得する。
③ロジスティック回帰分析法を修得する。

〔教科書・参考書〕
①厚生労働省「厚生労働白書　障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」
日経印刷、2019年、WA525（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料　2019年版　口腔保健・歯科医療の統計」
口腔保健協会、2019年、WU30（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

〔成績評価の方法・基準〕
レポート５篇と試問（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10月～ 11月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット１ 市町村単位のデータ～医療費	市町村単位のデータの取り扱い方法:高齢者の歯科医療費に関するデータ	市町村単位の高齢者の現在歯数と歯科医療費に関する調査の概要を説明する。	高齢者の現在歯数に関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	高齢者の歯科医療費に関するデータを収集する。		
		渡辺			データベースを構築し、基礎統計量を記述する。	関連する文献を見つける。		
		渡辺			重回帰分析を行い、解析結果を記述する。	重回帰分析について調べる。		
		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記結果を考察する。		
16 ～ 30	後期 11月～ 12月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット２ 個人単位のデータ～就業状態	個人単位のデータの取り扱い方法(3) 歯科医師の就業状態に関するデータ	歯科医師の免許取得後年数と就業状態に関する調査の概要を説明する。	歯科医師の就業状態に関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	関連する文献を見つける。		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		渡辺			データベースを構築し、基礎統計量を記述する。	基礎統計量を観察する。		
		渡辺			ロジスティック回帰分析を行い、解析結果を記述する。	ロジスティック回帰分析について調べる。		
		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記の結果を考察する。		

社会歯科学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：渡辺　猛

〔担当教員〕
渡辺　猛

〔一般目標〕
社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

〔授業到達目標〕
①都道府県単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
②テキストデータを分析する方法を修得する。
③ウェブ上に公開されている統計データを吟味して収集する方法を修得する。

〔教科書・参考書〕
①厚生労働省「厚生労働白書　障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に」
日経印刷、2019年、WA525（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料　2019年版　口腔保健・歯科医療の統計」
口腔保健協会、2019年、WU30（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

〔成績評価の方法・基準〕
レポート５篇と試問（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	後期 1月～ 2月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット１ 個人単位のデータ～ヒヤリ･ハット	個人単位のデータの取り扱い方法(4)歯科医師のヒヤリ･ハットに関するデータ	歯科医師のヒヤリ・ハットに関する調査の概要を説明する。	歯科医師のヒヤリ・ハットに関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
2		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	関連する文献を見つける。		
3		渡辺			データを点検し、基礎統計量を記述する。	上記データの基礎統計量を観察する。		
4		渡辺			テキストデータを分析し、解析結果を記述する。	テキストデータの統計処理方法を調べる。		
5		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記の結果を考察する。		
6	後期 2月～ 3月 水曜日 13:00～ 17:30	渡辺	ユニット２ 都道府県単位のデータ～受療状況	都道府県単位のデータの取り扱い方法:住民の受療状況に関するデータ	都道府県単位の住民の受療状況に関する調査の概要を説明する。	住民の受療状況に関するデータを収集する。	配付プリント	口腔保健学研究室
7		渡辺			関連する文献を読み、研究計画書を作成する。	関連する文献を見つける。		
8		渡辺			データを点検し、基礎統計量を記述する。	データの基礎統計量を観察する。		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9		渡辺			重回帰分析を行い、解析結果を記述する。	重回帰分析の結果を予測する。		
10		渡辺			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記結果を考察する。		

医療統計学講義①

前期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
島津篤

〔一般目標〕
口腔医学論文を題材にして、確率論的なものの見方を理解し、統計的推測の原理と方法を理解するとともに、口腔医学においてよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点と統計解析ソフトウェアの利用に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 母集団と標本、誤差とランダムについて説明する。
② データの要約、データの分布について説明する。
③ 信頼区間について説明する。
④ 連続量の２群間比較について説明する。
⑤ 分割表の解析について説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．加納克己、高橋秀人著『基礎医学統計学』改訂第６版　南江堂 2011
２．丹後俊郎著『統計学のセンス -デザインする視点・データを見る目-』朝倉書店 1998
３．折笠秀樹著『臨床研究デザイン』真興交易㈱医書出版部 1995
４．永田靖、棟近雅彦著『多変量解析入門』サイエンス社 2001

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席点 40%
２．課題レポート（各ユニット）30%
３．英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	【前期】 ４月 木曜日 10:35 ～ 11:55	島津篤	ユニット１ 統計的推測の基礎	母集団と標本､誤差とランダムについて説明する。	1) 標本調査と実験研究について説明する。 2) 誤差について説明する。 3) ランダムについて説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
4 5 6	【前期】 ５月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット２ データと分布	データの要約､データの分布について説明する。	1) データの分布の中心性を表す指標について説明する。 2) データのばらつきを表す指標について説明する。 3) 代表的な確率分布について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
7 8 9	【前期】 ６月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット３ 信頼区間	信頼区間について説明する。	1) 標本平均値の分布について説明する。 2) 標準誤差について説明する。 3) 信頼区間について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10 11 12	【前期】 ７月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット４ 連続量の２群間比較	連続量の２群間比較について説明する。	1) 対応のないｔ検定について説明する。 2) 等分散の検定について説明する。 3) 対応のあるｔ検定について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
13 14 15	【前期】 ８月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット５ 分割表の解析	分割表の解析について説明する。	1) χ^2 検定について説明する。 2) ２つの母比率の差の検定について説明する。 3) マンテル・ヘンツェル検定について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室

医療統計学講義②

後期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
島津　篤

〔一般目標〕
口腔医学論文を題材にして、確率論的なものの見方を理解し、統計的推測の原理と方法を理解するとともに、口腔医学においてよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点と統計解析ソフトウェアの利用に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 分散分析と多重比較について説明する。
② ノンパラメトリック検定法について説明する。
③ 相関と回帰について説明する。
④ 生存分析について説明する。
⑤ メタ・アナリシスについて説明する。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．加納克己、高橋秀人著『基礎医学統計学』改訂第６版　南江堂 2011
２．丹後俊郎著『統計学のセンス -デザインする視点・データを見る目-』朝倉書店 1998
３．折笠秀樹著『臨床研究デザイン』真興交易㈱医書出版部 1995
４．永田靖、棟近雅彦著『多変量解析入門』サイエンス社 2001
５．丹後俊郎著『メタ・アナリシス入門 -エビデンスの統合をめざす統計手法-』朝倉書店 2002

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席点 40%
２．課題レポート（各ユニット）30%
３．英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3	【後期】10 月 木曜日 10:35 ～ 11:55	島津篤	ユニット１ 分散分析	分散分析と多重比較について説明する。	1) 分散分析について説明する。 2) 反復測定分散分析について説明する。 3) 多重比較について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
4 5 6	【後期】11 月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット２ ノンパラメトリック検定法	ノンパラメトリック検定法について説明する。	1) マン・ホイットニーの U 検定について説明する。 2) ウィルコクソンの符号付き順位検定について説明する。 3) クラスカル・ウォリスの検定について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7 8 9	【後期】 11－12月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット３ 相関と回帰	相関と回帰について説明する。	1) 相関係数の有意性の検定について説明する。 2) 回帰係数の有意性の検定について説明する。 3) ロジスティック回帰分析について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
10 11 12	【後期】 １月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット４ 生存分析	生存分析について説明する。	1) カプランマイヤー法について説明する。 2) ログランク検定について説明する。 3) コックス回帰分析について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室
13 14 15	【後期】 ２月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット５ メタ･アナリシス	メタ･アナリシスについて説明する。	1) 無作為化比較試験について説明する。 2) 無作為化比較試験と疫学研究の違いについて説明する。 3) メタ・アナリシスの方法について説明する。	指定された論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された論文	研究室

医療統計学実習①

前期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
島津　篤

〔一般目標〕
臨床・基礎の研究における研究デザイン、データ収集、統計解析の方法、アウトプットの解釈、データ解析のまとめ方について、研究論文に基づいて批判する。

〔授業到達目標〕
① ２群間比較について研究論文をもとに批判する。
② 多重比較について研究論文をもとに批判する。
③ 回帰分析について研究論文をもとに批判する。
④ メタ・アナリシスについて研究論文をもとに批判する。
⑤ 各自の研究に関連した研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．加納克己、高橋秀人著『基礎医学統計学』改訂第６版　南江堂 2011
２．丹後俊郎著『統計学のセンス -デザインする視点・データを見る目-』朝倉書店 1998
３．永田靖、棟近雅彦著『多変量解析入門』サイエンス社 2001
４．丹後俊郎著『メタ・アナリシス入門 -エビデンスの統合をめざす統計手法-』朝倉書店 2002
５．福田剛志、森本康彦、徳山豪著『データマイニング』共立出版 2001
６．Stephen B. Hulley 他『医学的研究のデザイン第３版』メディカル・サイエンス・インターナショナル 2009

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文の批判的プレゼンテーション 30%
３．選択論文の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3 4 5 6	【前期】 ４月 金曜日 14:35～ 17:30	島津篤	ユニット１ ２群間比較	２群間比較について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
7 8 9 10 11 12	【前期】 ５月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット２ 多重比較	多重比較について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14 15 16 17 18	【前期】 ６月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット３ 回帰分析	回帰分析について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
19 20 21 22 23 24	【前期】 ７月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット４ メタ･アナリシス	メタ･アナリシスについて研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
25 26 27 28 29 30	【前期】 ８月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット５ 種々の統計手法	各自の研究に関連した研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室

医療統計学実習②

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
島津　篤

〔一般目標〕
臨床・基礎の研究における研究デザイン、データ収集、統計解析の方法、アウトプットの解釈、データ解析のまとめ方について、研究論文に基づいて批判する。

〔授業到達目標〕
① 多変量解析について研究論文をもとに批判する。
② アンケート調査の解析について研究論文をもとに批判する。
③ データマイニングについて研究論文をもとに批判する。
④ 高度なデータ解析手法について研究論文をもとに批判する。
⑤ 最新の研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．加納克己、高橋秀人著『基礎医学統計学』改訂第６版　南江堂 2011
２．丹後俊郎著『統計学のセンス -デザインする視点・データを見る目-』朝倉書店 1998
３．永田靖、棟近雅彦著『多変量解析入門』サイエンス社 2001
４．丹後俊郎著『メタ・アナリシス入門 -エビデンスの統合をめざす統計手法-』朝倉書店 2002
５．福田剛志、森本康彦、徳山豪著『データマイニング』共立出版 2001
６．Stephen B. Hulley 他『医学的研究のデザイン第３版』メディカル・サイエンス・インターナショナル 2009

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文の批判的プレゼンテーション 30%
３．選択論文の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5 6	【後期】10 月 金曜日 14:35～17:30	島津篤	ユニット１ 多変量解析	多変量解析について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
7 8 9 10 11 12	【後期】11 月 金曜日 14:35～17:30		ユニット２ アンケート調査	アンケート調査について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14 15 16 17 18	【後期】 11－12 月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット３ データマイニング	データマイニングについて研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
19 20 21 22 23 24	【後期】 １月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット４ 高度なデータ解析手法	高度なデータ解析手法について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室
25 26 27 28 29 30	【後期】 ２月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット５ 統計解析の動向	最新の研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された研究論文に目を通しておく。	指定された研究論文	研究室

医療統計学実習③

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：埴岡　隆

〔担当教員〕
島津　篤

〔一般目標〕
基礎・臨床の研究を計画・実施していくうえで必要となるデータベース作成・管理法、統計解析ソフトウェアの利用法、アウトプットの解釈の仕方、データ解析のまとめ方について、具体的なデータを用いた実習を通じて習得する。

〔授業到達目標〕
① 統計処理の基本を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータの基礎的な扱い方を習得する。
② ２群の比較法の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
③ 分散分析と多重比較の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
④ 相関と回帰の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
⑤ 各自のテーマに関係する統計解析の技法を習得する。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．加納克己、高橋秀人著『基礎医学統計学』改訂第６版　南江堂 2011
２．丹後俊郎著『統計学のセンス -デザインする視点・データを見る目-』朝倉書店 1998
３．対馬栄輝、石田水里著『医療系データのとり方・まとめ方』東京図書 2013
４．対馬栄輝著『SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析』東京図書 2008
５．神田善伸著『EZR でやさしく学ぶ統計学』改訂２版　中外医学社 2015

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席点 50%
２．実習レポート 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3 4 5 6	【後期】 10 月 金曜日 9:00～ 11:55	島津篤	ユニット１ 統計ソフトウェアの基本操作	統計処理の基本を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータの基礎的な扱い方を習得する。	1) データの形と適切な統計処理について説明する。 2) データを整理し、グラフ表現を用いて特徴を説明する。 3) 基礎統計量と区間推定を求める。	統計処理の基本について調べておく。	指定されたデータ	研究室
7 8 9 10 11 12	【後期】 11 月 金曜日 9:00～ 11:55		ユニット２ ２群の比較	２群の比較法の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。	1) ２群間の平均値の差を検定する。 2) カイ２乗検定法を利用する。 3) マン・ホイットニーの U 検定を利用する。	２群の比較法の基本について調べておく。	指定されたデータ	研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14 15 16 17 18	【後期】 11－12 月 金曜日 9:00～ 11:55		ユニット３ 分散分析	分散分析と多重比較の基本を理解し､具体的な扱い方とまとめ方を習得する。	1) 一元配置の分散分析と多重比較をする。 2) 反復測定による一元配置の分散分析をする。 3) クラスカル・ウォリスの検定を利用する。	分散分析と多重比較の基本について調べておく。	指定されたデータ	研究室
19 20 21 22 23 24	【後期】 １月 金曜日 9:00～ 11:55		ユニット４ 相関と回帰	相関と回帰の基本を理解し､具体的な扱い方とまとめ方を習得する。	1） 相関係数を算出し、有意性を検定する。 2) 直線回帰について説明し、回帰係数の有意性を検定する。 3) ロジスティック回帰分析をする。	相関と回帰の基本について調べておく。	指定されたデータ	研究室
25 26 27 28 29 30	【後期】 ２月 金曜日 9:00～ 11:55		ユニット５ 種々の解析法	各自のテーマに関係する統計解析の技法を習得する。	1） データの型と特徴、適切な統計解析について説明する。 2） 統計解析を行い、レポートを作成する。 3） データ、方法、結果、考察について発表し、討論する。	各自のテーマに関係する統計解析方法について調べておく。	各自の準備したデータ	研究室

医療倫理学講義①

前期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：永嶋哲也

〔担当教員〕
永嶋哲也

〔一般目標〕
診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理学的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 伝統的な医療倫理の価値観について説明できる。
② 生命倫理学の成り立ちと内実について説明できる。
③ 医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。
④ いわゆる「四原則」を具体的事例へ適用できる。

〔教科書・参考書〕
教科書
１．James T. Rule, Robert M. Veatch『デンタル・エシックス』クインテッセンス出版、2001 年
（実質上唯一の歯科医療専門の倫理学概説書。7,020 円）
２．アルバート・R・ジョンセン『生命倫理学の誕生』勁草書房、2009 年
（生命倫理学の成り立ちについて当事者の立場からの歴史的解説。7,992 円）
３．トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス『生命医学倫理　第五版』麗澤大学出版会、2009 年
（生命倫理学の「古典的」概説書。7,800 円）

参考書
１．グレゴリー・Ｅ・ペンス『医療倫理』みすず書房、2000 年
（歴史的転換点となった事例を紹介しながら、生命倫理学の全体像を解説。上下巻。）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文のプレゼンテーション 30%
３．選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4 月火曜日 VI 限	永嶋	ユニット１伝統的な医療倫理	伝統的な医療倫理の価値観について説明できる。	歯科医療における倫理の位置付けについて概観できる	『デンタル・エシックス』第 1 章	J.Rule, R.Veatch『デンタル・エシックス』	講座研究室
2					倫理学の基礎理論を説明できる	同書、第 2 章		
3					現実事例を倫理学基礎理論と関連させて説明できる	同書、第 3-4 章		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
4	5 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット２ 生命倫理学の誕生	生命倫理学の成り立ちと内実について説明できる。	1950 年代以前の倫理状況について説明できる	『生命倫理学の誕生』第 1 章	A. ジョンセン『生命倫理学の誕生』 G. ペンス『医療倫理』	講座研究室
5					1960-70 年代の倫理状況について説明できる	同書、第 2 章		
6					1970-80 年代の倫理状況について説明できる	同書、第 3 章		
7					生命倫理学とは何かについて説明できる	同書、第 4 章		
8	6 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット３ 医療倫理の「四原則」	医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。	「ベルモント・レポート」といわゆる「四原則」との関連について説明できる	『生命医学倫理』第 1 章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』	講座研究室
9					自律尊重原則について説明できる			
10					無加害原則と与益原則について説明できる			
11					正義原則について説明できる			
12	7 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット４ 「四原則」の事例適用	いわゆる「四原則」を具体的事例へ適用できる。	自律尊重原則を具体的事例に適用できる	同書、第 3 章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』 G. ペンス『医療倫理』	講座研究室
13					無加害原則と与益原則を具体的事例に適用できる	同書、第 4 章		
14					無加害原則と与益原則が対立する具体的事例に対処できる	同書、第 5 章		
15					正義原則を具体的事例に適用できる	同書、第 6 章		

医療倫理学講義②

後期１５コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：永嶋哲也

〔担当教員〕
永嶋哲也

〔一般目標〕
診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理学的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 医療倫理における一般原則について説明できる。
② 臨床倫理学のアプローチについて説明できる。
③ 臨床倫理学の手法を用いて医療における道徳的ジレンマに対処できる。
④ 主要な倫理規範について説明できる。

〔教科書・参考書〕
教科書
１．James T. Rule, Robert M. Veatch『デンタル・エシックス』クインテッセンス出版、2001 年
（実質上唯一の歯科医療専門の倫理学概説書。7,200 円）
２．Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade『臨床倫理学　第５版』新興医学出版社、2006 年
（四分割のよる症例検討シートが提案されている臨床倫理学の基本テキスト。3,564 円）
３．アルバート・R・ジョンセン『生命倫理学の誕生』勁草書房、2009 年
（生命倫理学の成り立ちについて当事者の立場からの歴史的解説。7,992 円）
４．『WMA 医の倫理マニュアル』日本医師会、2007 年
（世界医師会作成、日本医師会翻訳・発行の「医の倫理」説明書。1,620 円）

参考書
１．ジョージ・J・アナス『患者の権利　第三版』明石書店、2007 年
（患者の権利についての「古典的」概説書。8,208 円）

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文のプレゼンテーション 30%
３．選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9 月火曜日 VI 限	永嶋	ユニット１医療倫理の一般原則	医療倫理における一般原則について説明できる。	歯科的「益・善」について説明できる	『デンタル・エシックス』第 5-9 章	J. Rule, R. Veatch『デンタル・エシックス』	講座研究室
2					説明義務について説明できる			
3					守秘義務について説明できる			
4					応召義務について説明できる			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	10 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット２ 臨床倫理学のアプローチ	臨床倫理学のアプローチについて説明できる。	臨床倫理学とはどういうものか説明できる	『デンタル・エシックス』第 13 章 『臨床倫理学』序文	J. Rule, R. Veatch『デンタル・エシックス』 A. Jonsen, M. Siegler, W. Winslade『臨床倫理学』	講座研究室
6					臨床倫理学における事例検討シートについて説明できる			
7					臨床倫理学における事例検討を実践できる			
8	11 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット３ 道徳的ジレンマへの対処	臨床倫理学の手法を用いて医療における道徳的ジレンマに対処できる。	歯学部における倫理問題について説明できる	『デンタル・エシックス』第 10 章	J. Rule, R. Veatch『デンタル・エシックス』 A. Jonsen, M. Siegler, W. Winslade『臨床倫理学』	講座研究室
9					歯科医学研究の倫理的ジレンマについて説明できる	同書、第 12 章		
10					専門家としての倫理問題について説明できる	同書、第 14 章		
11	12 月 火曜日 VI 限	永嶋	ユニット４ 医療における主要な倫理規範	主要な倫理規範について説明できる。	「ヒポクラテスの誓い」と「ジュネーブ宣言」について説明できる	『生命倫理学の誕生』第 1 章 『WMA 医の倫理マニュアル』はじめに、第 1 章	A. ジョンセン『生命倫理学の誕生』 日本医師会『WMA 医の倫理マニュアル』	講座研究室
12					「ニュルンベルグ綱領」と「ヘルシンキ宣言」について説明できる			
13					「ベルモント・レポート」と「ヘルシンキ宣言」東京改訂について説明できる			
14	1 月 火曜日 VI 限				「患者の権利章典」と「リスボン宣言」について説明できる			
15					「歯科医師の倫理綱領」と「歯科医師の職業倫理」について説明できる			

医療倫理学演習①

前期４５コマ（ユニット１～２：３単位）
評価責任者：永嶋哲也

〔担当教員〕
永嶋哲也

〔一般目標〕
診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理学的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 現代倫理学の基本的立場とその理論について説明できる。
② 功利主義倫理学について説明できる。

〔教科書・参考書〕
教科書
１．伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008 年、3,024 円
２．ピーター・シンガー『実践の倫理　新版』昭和堂、1999 年、3,078 円

参考書
１．川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1995 年、3,780 円
２．ピーター・シンガー『生と死の倫理』昭和堂、1998 年、2,484 円

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文のプレゼンテーション 30%
３．選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～25	4-6 月月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット１伝統的な医療倫理	現代倫理学の基本的立場とその理論について説明できる。	メタ倫理学について概説する	『動物からの倫理学入門』序章	伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』 川本隆史『現代倫理学の冒険』	講座研究室
					規範倫理学について概説する			
					応用倫理学について概説する			
					功利主義倫理学について概説する	同書、第１章		
					義務論倫理学について概説する			
					社会契約説倫理学について概説する	同書、第３章		
					徳倫理学について概説する	同書、第７章		
					共同体主義倫理学について概説する			
					ケア倫理学について概説する			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 ～ 45	6-7 月 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット２ 功利主義倫理学	功利主義倫理学について説明できる。	倫理性の基礎について功利主義的に説明する	『実践の倫理』第 1 章	P. シンガー『実践の倫理』 P. シンガー『生と死の倫理』	講座研究室
					平等と公平性について功利主義的に説明する	同書、第 2 章		
					動物解放について功利主義的に説明する	同書、第 3 章		
					人を殺すこと、死なせることの是非について功利主義的に説明する	同書、第 4 章		
					富の再分配について功利主義的に説明する	同書、第 8 章		
					自然環境の問題について功利主義的に説明する	同書、第 10 章		

医療倫理学演習②

後期４５コマ（ユニット１～２：３単位）
評価責任者：永嶋哲也

〔担当教員〕
永嶋哲也

〔一般目標〕
診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理学的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 徳倫理について説明できる。
② 医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。

〔教科書・参考書〕
教科書
１．アラスデア・マッキンタイア『美徳なき時代』みすず書房、1993 年、5,940 円
２．トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス『生命医学倫理　第五版』麗澤大学出版会、2009 年、7,800 円

参考書
１．J・ピーパー『四枢要徳について』知泉書館、2007 年
２．ロザリンド・ハーストハウス『徳倫理学について』知泉書館、2014 年、5,616 円
３．加藤尚武・児玉聡（監訳）『徳倫理学基本論文集』勁草書房、2015 年、4,104 円
４．グレゴリー・Ｅ・ペンス『医療倫理』みすず書房、2000 年

〔成績評価の方法・基準〕
１．課題レポート（各ユニット）40%
２．指定論文のプレゼンテーション 30%
３．選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 20	9-10 月 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット１ 徳倫理学	徳倫理学について説明できる。	徳の概念について現代倫理学の徳理論から説明する	『美徳なき時代』第１章	A. マッキンタイア『美徳なき時代』 J. ピーパー『四枢要徳について』 R. ハーストハウス『徳倫理学について』	講座研究室
					道徳に関する情緒主義を徳理論から批判する	同書、第 2- 3 章		
					道徳に関する啓蒙主義を徳理論から批判する	同書、第 4- 6 章		
					道徳に関する近代的英雄主義を徳理論から批判する	同書、第 10 章		
					正義について徳理論から説明する	同書、第 17 章		
21 ～ 45	11-1 月 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット２ 医療倫理の「四原則」	医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。	道徳規範について生命倫理学から説明する	『生命医学倫理』第１章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』	講座研究室
					道徳的人格について生命倫理学から説明する	同書、第 2 章		

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					自律尊重原則について生命倫理学から説明する	同書、第３章	G.ペンス『医療倫理』	
					無加害原則について生命倫理学から説明する	同書、第４章		
					与益原理について生命倫理学から説明する	同書、第５章		
					正義原則について生命倫理学から説明する	同書、第６章		
					専門家-患者関係について生命倫理学から説明する	同書、第７章		
					道徳に関する現代の諸理論を生命倫理学から批判する	同書、第８章		
					道徳的正当化のモデルについて生命倫理学から説明する	同書、第９章		
					プロフェッショナリズムについて生命倫理学との関係から説明する			

言語情報学講義 ①

前期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕
壬生正博

〔一般目標〕
医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から講義する。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本講義の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、講義ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れつつ、知的・精神史的な変遷の概要を把握することを目的とする。

〔授業到達目標〕
① The History of Disease について説明できる。
② The Rise of Medicine について説明できる。
③ What is Disease ? について説明できる。
④ Primary Care について説明できる。
⑤ Medical Science について説明できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．The Cambridge Illustrated History of Medicine (Cambridge University Press) 2009
２．The History of Medicine: A Very Short Introduction (Oxford University Press) 2008
３．A Brief History of Disease, Science & Medicine (Asklepiad Press) 2004

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席　40%
２．各ユニットでのプレゼンテーション 30%
３．課題レポート 30%

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3	４月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット１ The History of Disease について	The History of Disease について説明できる。	The Rise of New Diseases について英語の文献を読み説明できる。 New Plagues について英語の文献を読み説明できる。 Nutritional Diseases について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
4 5 6	5月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット２ The Rise of Medicine について	The Rise of Medicine について説明できる。	Greek Medicine について英語の文献を読み説明できる。 The Christian View of the Sick について英語の文献を読み説明できる。 Medicine in the Dark Ages について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
7 8 9	6月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット３ What is Disease？について	What is Disease？について説明できる。	Disease and Illness について英語の文献を読み説明できる。 The Medical View of Illness について英語の文献を読み説明できる。 The Sick Role について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
10 11 12	7月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット４ Primary Care について	Primary Care について説明できる。	What the Traditional Patient Wanted について英語の文献を読み説明できる。 New Medications について英語の文献を読み説明できる。 Shifting the Site of Primary Care について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
13 14 15	９月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット５ Medical Science について	Medical Science について説明できる。	Anatomical Foundations について英語の文献を読み説明できる。 Medicine Becomes Scientific について英語の文献を読み説明できる。 Twentieth-Century Breakthroughs について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

言語情報学講義 ②

後期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕
壬生正博

〔一般目標〕
医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から講義する。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本講義の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、講義ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れつつ、知的・精神史的な変遷の概要を把握することを目的とする。

〔授業到達目標〕
① Hospitals and Surgery について説明できる。
② Drug Treatment and the Rise of Pharmacology について説明できる。
③ Mental Illness について説明できる。
④ Medicine, Society, and the State について説明できる。
⑤ Looking to the Future について説明できる。

〔教科書・参考書〕
参考書
１．The Cambridge Illustrated History of Medicine (Cambridge University Press) 2009
２．The History of Medicine: A Very Short Introduction (Oxford University Press) 2008
３．A Brief History of Disease, Science & Medicine (Asklepiad Press) 2004

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席　40%
２．各ユニットでのプレゼンテーション 30%
３．課題レポート 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	10 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット１ Hospitals and Surgery について	Hospitals and Surgery について説明できる。	Traditional Surgery について英語の文献を読み説明できる。 The Traditional Hospital について英語の文献を読み説明できる。 The Age of Anaesthesia について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
4 5 6	11 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット２ Drug Treatment and the Rise of Pharmacology について	Drug Treatment and the Rise of Pharmacology について説明できる。	Greek and Roman Remedies について英語の文献を読み説明できる。 Pharmacology Comes of Age について英語の文献を読み説明できる。 The Chemotherapy of Cancer について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
7 8 9	12 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット３ Mental Illness について	Mental Illnes について説明できる。	The Greek Tradition について英語の文献を読み説明できる。 Psychiatric Techniques について英語の文献を読み説明できる。 Modern Psychological Medicine について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
10 11 12	1 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット４ Medicine, Society, and the State について	Medicine, Society, and the State について説明できる。	Medical Markets in Enlightenment Europe について英語の文献を読み説明できる。 Science and Morals について英語の文献を読み説明できる。 Health Services After the Second World War について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
13 14 15	2 月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット５ Looking to the Future について	Looking to the Future について説明できる。	The Promise of Medicine について英語の文献を読み説明できる。 Computers in Medicine について英語の文献を読み説明できる。 The Flight from Science について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

言語情報学演習 ①

前期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕
壬生正博

〔一般目標〕
医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神史的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

〔授業到達目標〕
① 人類と医療の歴史について概略を説明できる。
② 医学の起源について説明できる。
③ 古代社会の医療文化について説明できる。
④ 医療と信仰について文化史的に説明できる。
⑤ 中世ヨーロッパ社会の医療文化について説明できる。

〔教科書・参考書〕
１．The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
２．Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
３．Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
４．Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
５．Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席　40%
２．各ユニットでのプレゼンテーション 30%
３．課題レポート 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
１ ～ ６	４月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット１ 人類と医療の歴史	人類と医療の歴史について概略を理解する。	人類史における医療文化について研究論文をもとに概略できる（1）。 人類史における医療文化について研究論文をもとに概略できる（2）。 医療文化史上の重要な人物や事象について研究論文をもとに概略できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7 ～ 12	５月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット２ 医学の起源	医学の起源について理解する。	People and Plagues について研究論文をもとに説明できる。 Plague について研究論文をもとに説明できる。 Approaches to Healing について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
13 ～ 18	５月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット３ 古代社会の医療文化	古代社会の医療文化について理解する。	古代ギリシアの医療文化について研究論文をもとに説明できる（１）。 古代ギリシアの医療文化について研究論文をもとに説明できる（２）。 古代ローマの医療文化について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
19 ～ 24	６月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット４ 医療と信仰	医療と信仰について文化史的に理解する。	医療と信仰について研究論文をもとに説明できる（１）。 医療と信仰について研究論文をもとに説明できる（２）。 医療と信仰について研究論文をもとに説明できる（３）。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 ～ 30	６月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット５ 中世ヨーロッパ社会の医療文化	中世ヨーロッパ社会の医療文化について理解する。	中世ヨーロッパ社会の宗教について研究論文をもとに説明できる 中世ヨーロッパ社会の医療と一般庶民との関係について研究論文をもとに説明できる。 中世ヨーロッパ社会の身体の捉え方について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書･参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

言語情報学演習 ②

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕
壬生正博

〔一般目標〕
医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神史的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

〔授業到達目標〕
① ルネサンス期の医療文化について説明できる。
② ルネサンス期に生じた新たな医学思想について説明できる。
③ 科学革命期の医療文化について説明できる。
④ 19 世紀の医療文化について説明できる（１）。
⑤ 19 世紀の医療文化について説明できる（２）。

〔教科書・参考書〕
１．The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
２．Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
３．Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
４．Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
５．Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席　40%
２．各ユニットでのプレゼンテーション 30%
３．課題レポート 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
１ ～ ６	７月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット１ ルネサンス期の医療文化	ルネサンス期の医療文化について理解する。	中世とルネサンスの文化的相違について研究論文をもとに説明できる。 ルネサンス期の解剖学の捉え方について研究論文をもとに説明できる。 ルネサンス期の外科的処置の方法について研究論文をもとに説	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					明できる。			
7 ～ 12	９月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:3	壬生	ユニット２ ルネサンス期に生じた新たな医学思想	ルネサンス期に生じた新たな医学思想について理解する。	医化学について研究論文をもとに説明できる。 人体の捉え方について研究論文をもとに説明できる。 ルネサンス期の医学思想について説明できる。	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
13 ～ 18	９月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット３ 科学革命期の医療文化	科学革命期の医療文化について理解する。	科学革命期の病気に対する考え方について研究論文をもとに説明できる。 科学革命期の治療学について研究論文をもとに説明できる。 科学革命期の医療と一般庶民との関係について研究論文をもとに説明できる。	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
19 ～ 24	10 月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット４ 19 世紀の医療文化	19 世紀の医療文化について理解する(1)。	フランスにおける医学上の文化史的事象について研究論文をもとに説明できる。 ドイツにおける医学上の文化史的事象について研究論文をもとに説明できる。 イギリスにおける医学上の文化史的事象について研究論文をもとに説明できる。	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 ～ 30	10 月 水曜日 金曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット５ 19 世紀の医療文化	19 世紀の医療文化について理解する（２）。	フランスにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。 ドイツにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。 イギリスにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

言語情報学演習 ③

後期３０コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕
壬生正博

〔一般目標〕
医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神史的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

〔授業到達目標〕
① 公衆医学について文化史的に説明できる。
② 医学と国家、国民との関わりについて文化史的に説明できる。
③ フランスにおける現代の医療と文化について説明できる。
④ ドイツにおける現代の医療と文化について説明できる。
⑤ イギリスにおける現代の医療と文化について説明できる。

〔教科書・参考書〕
１．The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
２．Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
３．Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
４．Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
５．Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

〔成績評価の方法・基準〕
１．出席　40%
２．各ユニットでのプレゼンテーション 30%
３．課題レポート 30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～6	11 月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット１ 公衆医学	公衆医学について文化史的に理解する。	公衆衛生についての文化史的事象を研究論文をもとに説明できる。 公衆衛生と政治についての文化史的事象を研究論文をもとに説明できる。 健康状態の強化について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7 ～ 12	11 月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:3	壬生	ユニット２ 医学と国家、国民とのかかわり	医学と国家、国民との関わりについて文化史的に理解する。	医学と国家との関わりについて研究論文をもとに説明できる（1）。 医学と国家との関わりについて研究論文をもとに説明できる（2）。 医学と国民との関わりについて研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
13 ～ 18	12 月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット３ フランスにおける現代の医療と文化	フランスにおける現代の医療と文化について理解する。	フランスにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる（1）。 フランスにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる（2）。 フランスにおける現代の医療と文化についてネットで検索し説明、批判する。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内
19 ～ 24	12 月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット４ ドイツにおける現代の医療と文化	ドイツにおける現代の医療と文化について理解する。	ドイツにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる（1）。 ドイツにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる（2）。 ドイツにおける現代の医療と文化についてネットで検索し説明、批判する。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 ～ 30	1月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット５ イギリスにおける現代の医療と文化	イギリスにおける現代の医療と文化について理解する。	イギリスにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる(1)。 イギリスにおける現代の医療と文化について研究論文をもとに説明できる(2)。 イギリスにおける現代の医療と文化についてネットで検索し説明、批判する。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に１．および２．	医療人間学講座内

生化学講義①

前期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：梅津 桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子

〔一般目標〕
様々なDNA修復機構について、研究の歴史的な経緯や発展を理解した上で、遺伝学・生化学・分子生物学・構造生物学を中心とした最新の知見を習得し、未解決の問題点や今後の進展について考察する。また、ゲノム維持機構の破綻とヒト疾患との関連について理解し、研究の医学的応用について考察する。

〔授業到達目標〕
○ゲノム維持機構に関する重要な研究について、研究の展開における意義を背景や解析方法の開発と関連付けて検証できる。
○ゲノム維持機構研究の現状を把握し、今後の問題点について具体的に指摘できる。
○科学的知見が確立するまでの過程について、具体的な歴史的経緯を踏まえて追体験する。
○文献の検索や情報収集を行い、内容を総括して発表することができる。

〔教科書・参考書〕
使用テキスト："DNA Repair and Mutagenesis", 2nd Edition, Errol C. Friedberg *et. al*, ASM Press (Washington, D.C.)
上記テキスト中の引用文献

〔成績評価の方法・基準〕
テキスト"DNA Repair and Mutagenesis"の内容や引用文献について各自予め調べておき、順次時間中に発表した上で、内容について討論するゼミナール方式とする。テーマに関して予め充分に調査し、その結果を適切に説明できているか、また、調査の結果に基づいて発展的な討論ができているかを判断基準とする。
出席点20%、発表と討論の内容80%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	4月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット１ DNA修復総論	DNA 損傷の原因と生物学的影響やDNA 修復の関係を理解する 文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	DNA修復研究の歴史的な経緯を概説できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室
4 5 6	5月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津			DNA修復研究の進展においてエポックとなった研究について検証できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室
7 8 9	6月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津			DNA 修復機構について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる。	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室
10 11 12	7月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット２ DNA損傷に対する細胞応答	DNA 損傷によって誘導される細胞応答について理解する	細胞周期チェックポイント研究の歴史的な経緯を概説できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 4 に対応	生化学分野 教授室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 14 15	8月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	DNA ダメージチェックポイントや DNA 損傷に対する転写応答について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 4 に対応	生化学分野教授室

生化学講義②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：梅津 桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子

〔一般目標〕
様々なDNA修復機構について、研究の歴史的な経緯や発展を理解した上で、遺伝学・生化学・分子生物学・構造生物学を中心とした最新の知見を習得し、未解決の問題点や今後の進展について考察する。また、ゲノム維持機構の破綻とヒト疾患との関連について理解し、研究の医学的応用について考察する。

〔授業到達目標〕
○ゲノム維持機構に関する重要な研究について、研究の展開における意義を背景や解析方法の開発と関連付けて検証できる。
○ゲノム維持機構研究の現状を把握し、今後の問題点について具体的に指摘できる。
○科学的知見が確立するまでの過程について、具体的な歴史的経緯を踏まえて追体験する。
○文献の検索や情報収集を行い、内容を総括して発表することができる。

〔教科書・参考書〕
使用テキスト："DNA Repair and Mutagenesis", 2nd Edition, Errol C. Friedberg *et. al*, ASM Press (Washington, D.C.)
上記テキスト中の引用文献

〔成績評価の方法・基準〕
テキスト"DNA Repair and Mutagenesis"の内容や引用文献について各自予め調べておき、順次時間中に発表した上で、内容について討論するゼミナール方式とする。テーマに関して予め充分に調査し、その結果を適切に説明できているか、また、調査の結果に基づいて発展的な討論ができているかを判断基準とする。
出席点20%、発表と討論の内容80%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	10月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット１ ヒトゲノム解析と疾患の診断	ヒトゲノム解析について理解し、疾患の診断への応用を考察する	遺伝的多型解析の進展について説明し、それぞれの限界や問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part５ Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室
4 5 6	11月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	ハプロタイプマッピングの原理を説明し、その利用の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part５ Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室
7 8 9	12月 1月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津			SNIP 解析と疾患の診断について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part５ Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10 11 12	2月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット２ DNA 損傷に対する細胞応答の欠損と疾患	DNA 損傷に対する細胞応答が欠損することによって引き起こされると考えられる様々な疾患について理解する	高発がん家系について、HNPCC やファンコニ貧血を代表例として取り上げ、疾患解析の経緯や最新の知見を概説できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part５ Chapters 28-29 に対応	生化学分野 教授室
13 14 15	3月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し､重要な情報を収集して総括する	ヒト症候群のうち、DNA 損傷に対する細胞応答の欠損が認められるものについて、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読しておき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part５ Chapters 28-29 に対応	生化学分野 教授室

生化学実習①

前期　３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：梅津 桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子、藤田 亜美、林　道夫、橋口 一成、石井 健士

〔一般目標〕
酸化ストレスに対するゲノム維持機構について、新規性を持った研究プロジェクトに積極的に参加し、研究を遂行する上で必要な能力を養う
基本的な実験技術を修得すると共に、高度な解析方法についても理解して応用することを学ぶ

〔授業到達目標〕
○研究目的に応じて研究計画を立案できる
○実験データを解析し、論理的に結論を導き出して考察できる
○研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる
○得られた実験結果を論理的に解析し、結果に基づいて次の展開を立案できる
○指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる

〔教科書・参考書〕
適宜指摘する文献と共に、自ら検索すること

〔成績評価の方法・基準〕
研究の進展状況から総合的に判断する

指導方針は以下の通りである
○緻密な討論を通じて、論理的な研究が展開できるよう指導する
○独立した研究者の育成を目指して、独自のアイデアについて尊重した指導を行う
○究結果の発表や他の研究者との討論を積極的に行う機会を持つよう促す

以上の方針に基づき、ユニット４の遂行を前提として随時ユニット１－３を実施する

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1－12	原則として毎週月曜日の午後	梅津または藤田	ユニット１研究計画立案（演習）	研究目標に応じて研究計画を立案する	得られた実験結果に基づいて、次の展開を立案できる 研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	関連論文や実験書を参考に自分なりに研究の方向性を考えておく	特に指定しない 自分で検索した関連論文や実験書	生化学分野教授室
13－24	原則として毎週金曜日の午後	梅津または藤田	ユニット２実験結果の解析（演習）	実験結果を解析し、論理的に説明する	得られた実験結果を多角的に解析できる 実験手法や解析法の問題点を検討できる 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	実験結果を分析し、得られる結論をまとめておく 必要に応じて図表を準備すること	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野教授室

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
25－36	原則として隔週水曜日の午前9:00～12:00	梅津 藤田 林 橋口 石井	ユニット３ 研究進捗発表（演習）	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ	自身の研究について目的を明確に示し、研究計画や実験データを解り易く説明できる 実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる 他者の研究発表について充分に理解し、討論に積極的に参加することができる	研究の進捗について目的や問題点を含めて明確に記したレジメを準備しておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野セミナー室
全期間	授業・演習への参加と準備以外の時限	梅津 または 藤田	ユニット４ 研究プロジェクトの遂行（実験）	研究計画に従って研究を遂行する	実験プロトコールを立案できる 実験プロトコールに従って、確実に実験を実施できる 高度な解析方法についても理解して応用できる	関連論文や実験書を参考に具体的なプロトコールを立てシミュレーションしておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野研究室 先端科学研究センター

生化学実習②

後期　３０コマ（ユニット１～４：２単位）
評価責任者：梅津 桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子、藤田 亜美、林　道夫、橋口 一成、石井 健士

〔一般目標〕
酸化ストレスに対するゲノム維持機構について、新規性を持った研究プロジェクトに積極的に参加し、研究を遂行する上で必要な能力を養う
基本的な実験技術を修得すると共に、高度な解析方法についても理解して応用することを学ぶ

〔授業到達目標〕
○研究目的に応じて研究計画を立案できる
○実験データを解析し、論理的に結論を導き出して考察できる
○研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる
○得られた実験結果を論理的に解析し、結果に基づいて次の展開を立案できる
○指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる

〔教科書・参考書〕
適宜指摘する文献と共に、自ら検索すること

〔成績評価の方法・基準〕
研究の進展状況から総合的に判断する

指導方針は以下の通りである
○緻密な討論を通じて、論理的な研究が展開できるよう指導する
○独立した研究者の育成を目指して、独自のアイデアについて尊重した指導を行う
○究結果の発表や他の研究者との討論を積極的に行う機会を持つよう促す

以上の方針に基づき、ユニット４の遂行を前提として随時ユニット１－３を実施する

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1－12	原則として毎週月曜日の午後	梅津または藤田	ユニット１研究計画立案（演習）	研究目標に応じて研究計画を立案する	得られた実験結果に基づいて、次の展開を立案できる 研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	関連論文や実験書を参考に自分なりに研究の方向性を考えておく	特に指定しない 自分で検索した関連論文や実験書	生化学分野教授室
13－24	原則として毎週金曜日の午後	梅津または藤田	ユニット２実験結果の解析（演習）	実験結果を解析し、論理的に説明する	得られた実験結果を多角的に解析できる。 実験手法や解析法の問題点を検討できる。 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる。	実験結果を分析し、得られる結論をまとめておく 必要に応じて図表を準備すること	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野教授室

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
25－36	原則として隔週水曜日の午前9:00～12:00	梅津 藤田 林 橋口 石井	ユニット３ 研究進捗発表（演習）	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ	自身の研究について目的を明確に示し、研究計画や実験データを解り易く説明できる。 実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる。 他者の研究発表について充分に理解し、討論に積極的に参加することができる。	研究の進捗について目的や問題点を含めて明確に記したレジメを準備しておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野セミナー室
全期間	授業・演習への参加と準備以外の時限	梅津 または 藤田	ユニット４ 研究プロジェクトの遂行（実験）	研究計画に従って研究を遂行する	実験プロトコールを立案できる。 実験プロトコールに従って、確実に実験を実施できる。 高度な解析方法についても理解して応用できる。	関連論文や実験書を参考に具体的なプロトコールを立てシミュレーションしておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野研究室 先端科学研究センター

生化学実習③

通年　３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：梅津　桂子

〔担当教員〕
梅津 桂子、藤田 亜美、林　道夫、橋口 一成、石井 健士（生化学分野）
感染生物学分野、分子機能制御学分野・生物学担当のメンバーも参加する

〔一般目標〕
関連研究分野の学術論文を理解し、研究者仲間に紹介することで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める
これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ

〔授業到達目標〕
○実験データを理解し、論理的な結論を導き出す過程をフォローすることができる
○科学論文の結果や結論について、自らの論理で検討できる
○指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる
○実験データや結論を分かりやすく呈示して説明することができる

〔教科書・参考書〕
予め次回に紹介予定の論文３報については、１週間前迄にメールで周知する
自らが論文を紹介する際には、対象論文を十分に理解する為に、引用論文等についても適宜検討する必要がある

〔成績評価の方法・基準〕
自らが紹介する場合については、選んだ論文についての説明やプレゼンテーション、ならびに、質疑に対する応答を評価対象とする
他者の論文紹介については、説明に対する理解や討論への参加等を評価対象とする
科学的思考や問題解決能力の習得度合いを評価する

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-30	原則として毎月第2水曜日の午後13:30～17:30	梅津 藤田 林 橋口 石井	ユニット１ ジャーナルクラブ （論文抄読会）	関連研究分野の学術論文について理解することで､科学的思考と問題解決能力の習得に努める 科学的データや議論のプレゼンテーション法を学ぶ	論文の研究について目的や研究計画を論理的に説明できる 実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる 他者の研究発表について充分に理解し、討論に積極的に参加することができる	紹介論文は予めメールで周知されるので事前に目を通しておく 自分が紹介する際には説明に合わせたスライドとレジメを準備しておく	紹介論文 毎回３報 自分が紹介する際には引用論文等も含む	本館７階 大学院セミナー室

感染生物学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕
田中芳彦、永尾潤一、成田由香、有田健一

〔一般目標〕
感染論を理解するために、微生物と免疫の概要、微生物・宿主の相互関係、ならびに感染症に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 生物としての病原体について説明できる。
② 微生物の病原因子と宿主の防御因子・機構について説明できる。
③ 免疫の概要とアレルギー疾患について説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕
講義内容に関する討論、指定した科学英語論文のプレゼンテーション。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	火・水曜日 9：00～10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット１ 感染の概要	「Koch の条件」について理解する。	「Koch の条件」について説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
2				集団の感染と個体の感染について理解する。	集団の感染と個体の感染について説明できる。			
3				感染と発病について理解する。	感染と発病について説明できる。			
4				感染症について理解する。	感染症について説明できる。			
5				感染予防の概念について理解する。	感染予防の概念について説明できる。			
6	火・水曜日 9：00～10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット２ 微生物の概要	細菌の分類について理解する。	細菌の分類について説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
7				細菌の形態について理解する。	細菌の形態について説明できる。			
8				細菌の増殖と代謝について理解する。	細菌の増殖と代謝について説明できる。			
9				細菌の変異と遺伝について理解する。	細菌の変異と遺伝について説明できる。			
10				ウイルスについて理解する。	ウイルスについて説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11	火・水 曜日 9：00 ～ 10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット３ 免疫の概要	免疫系の構成要素と生体防御における役割を理解する。	免疫系の構成要素と生体防御における役割を説明できる。	「口腔微生物学ー感染と免疫ー」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
12				自然免疫について理解する。	自然免疫について説明できる。			
13				獲得免疫について理解する。	獲得免疫について説明できる。			
14				免疫細胞のシグナル伝達について理解する。	免疫細胞のシグナル伝達について説明できる。			
15				アレルギーについて理解する。	アレルギーについて説明できる。			

感染生物学講義②

後期１５コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕
田中芳彦、永尾潤一、成田由香、有田健一

〔一般目標〕
感染論を理解するために、微生物と免疫の概要、微生物・宿主の相互関係、ならびに感染症に関する新しい情報や考え方を習得する。

〔授業到達目標〕
①組織レベルと全身レベルでの感染について説明できる。
②微生物学、免疫学、感染症に関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕
講義内容に関する討論、指定した科学英語論文のプレゼンテーション。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	火・水曜日 9：00～10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット４ 微生物学、免疫学、感染症に関する最新の情報や考え方	微生物に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	微生物に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
2				自然免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	自然免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
3				獲得免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	獲得免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
4				シグナル伝達に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	シグナル伝達に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
5				感染症に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	感染症に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
6	火・水曜日 9：00～10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット５ 感染における微生物と宿主の関係	宿主の感受性について理解する。	宿主の感受性について説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
7				病原体の感染性と病原性について理解する。	病原体の感染性と病原性について説明できる。			
8				細菌由来の毒性物質について理解する。	細菌由来の毒性物質について説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9				ウイルス感染の細胞病理について理解する。	ウイルス感染の細胞病理について説明できる。			
10				細菌感染について理解する。	細菌感染について説明できる。			
11	火・水 曜日 9：00 ～ 10：20	田中 永尾 成田 有田	ユニット６ 組織レベルおよび全身レベルにおける感染と発病	組織における病原体の増殖について理解する。	組織における病原体の増殖について説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
12				感染と炎症について説明できる。	感染と炎症について説明できる。			
13				体内における感染の展開について理解する。	体内における感染の展開について説明できる。			
14				正常細菌叢について理解する。	正常細菌叢について説明できる。			
15				急性感染と慢性感染の生物学について理解する。	急性感染と慢性感染の生物学について説明できる。			

感染生物学実習①

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕
田中芳彦、永尾潤一、成田由香、有田健一

〔一般目標〕
微生物学を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 微生物の安全な取り扱いができる。
② 微生物の観察方法を説明できる。
③ 微生物の同定方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕
演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット１ 微生物学	微生物の実験や研究に必要な機器､器具を理解する。	微生物の実験や研究に必要な機器、器具の説明ができる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
4 5 6				微生物の消毒･滅菌方法について理解する。	微生物の消毒・滅菌方法について説明できる。			
7 8 9				安全な微生物実験の手技について理解する。	安全な微生物実験の手技について説明できる。			
10 11 12				微生物の培養方法について理解する。	微生物の培養方法について説明できる。			
13 14 15				嫌気性細菌の取り扱い方法について理解する。	嫌気性細菌の取り扱い方法について説明できる。			
16 17 18	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット１ 微生物学	細菌の毒素精製方法について理解する。	細菌の毒素精製方法について説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
19 20 21				細菌の酵素精製方法について理解する。	細菌の酵素精製方法について説明できる。			
22 23 24				化学療法薬の効果判定方法について理解する。	化学療法薬の効果判定方法について説明できる。			
25 26 27				ウェスタンブロッティングによる蛋白質の検出について説明できる。	ウェスタンブロッティングによる蛋白質の検出について説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
28 29 30				感染実験の方法について理解する。	感染実験の方法について説明できる。			

感染生物学実習②

前期３０コマ（ユニット２：２単位）
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕
田中芳彦、永尾潤一、成田由香、有田健一

〔一般目標〕
免疫学を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 生体における免疫細胞の分布について説明できる。
② 免疫学的解析に用いる基本的な実験方法について説明できる。
③ 免疫細胞の分化・活性化・遊走などの高次機能について説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕
演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット２ 免疫学	免疫の実験や研究に必要な機器､器具を理解する。	免疫の実験や研究に必要な機器、器具の説明ができる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
4 5 6				フローサイトメトリーの原理について理解する。	フローサイトメトリーの原理について説明できる。			
7 8 9				一次リンパ組織､二次リンパ組織の免疫細胞のプロファイルについて理解する。	一次リンパ組織、二次リンパ組織の免疫細胞のプロファイルについて説明できる。			
10 11 12				脾臓の組織免疫染色について理解する。	脾臓の組織免疫染色について説明できる。			
13 14 15				T細胞やB細胞など免疫細胞の単離方法を理解する。	T細胞やB細胞など免疫細胞の単離方法を説明できる。			
16 17 18	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット２ 免疫学	T細胞の抗原提示細胞認識について理解する。	T細胞の抗原提示細胞認識について説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
19 20 21				自己と非自己の認識について理解する。	自己と非自己の認識について説明できる。			
22 23 24				免疫細胞の遊走について理解する。	免疫細胞の遊走について説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 26 27				食細胞の異物貪食について理解する。	食細胞の異物貪食について説明できる。			
28 29 30				受容体からのシグナル伝達について理解する。	受容体からのシグナル伝達について説明できる。			

感染生物学実習③

後期３０コマ（ユニット３～４：２単位）
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕
田中芳彦、永尾潤一、成田由香、有田健一

〔一般目標〕
感染症を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 微生物の分子生物学的試験方法について説明できる。
② 微生物と宿主の相互関係を理解し、感染症と生体防御について説明できる。

〔教科書・参考書〕
特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕
演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット３ 微生物の同定方法	グラム陽性球菌の試験方法を理解する。	グラム陽性球菌の試験方法を説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
4 5 6				グラム陽性桿菌の試験方法を理解する。	グラム陽性桿菌の試験方法を説明できる。			
7 8 9				グラム陰性球菌の試験方法を理解する。	グラム陰性球菌の試験方法を説明できる。			
10 11 12				グラム陰性桿菌の試験方法を理解する。	グラム陰性桿菌の試験方法を説明できる。			
13 14 15				RT-PCR による RNA の検出について理解する。	RT-PCR による RNA の検出について説明できる。			
16 17 18	月－金 曜 13：00 ～ 17：30	田中 永尾 成田 有田	ユニット４ 感染症と生体防御	骨髄細胞から樹状細胞を分化する方法を理解する。	骨髄細胞から樹状細胞を分化する方法を説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」（学建書院）などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
19 20 21				未熟樹状細胞と成熟樹状細胞、ならびに TLR 刺激による樹状細胞の形態変化について理解する。	未熟樹状細胞と成熟樹状細胞、ならびに TLR 刺激による樹状細胞の形態変化について説明できる。			
22 23 24				マクロファージのサイトカイン産生を理解する。	マクロファージのサイトカイン産生を説明できる。			

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 26 27				T 細胞やB 細胞のケモカイン遊走能について理解する。	T 細胞やB 細胞のケモカイン遊走能について説明できる。			
28 29 30				ヘルパーT 細胞（Th1/Th2/Th17)分化について理解する。	ヘルパーT 細胞（Th1/Th2/Th17）分化について説明できる。			

生体工学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：都留寛治

〔担当教員〕
都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

〔一般目標〕
歯冠修復材料についてその種類と特徴、性質について理解する。これらの材料に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① セラミックス系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。
② レジン系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。
③ 金属系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。

〔教科書・参考書〕
スライドとプリントによる講義・演習

〔成績評価の方法・基準〕
ユニット毎に提出するレポート（50%）、指定した科学英語論文に関するプレゼンテーション及び質疑応答(50%)

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 ４月～ ５月 木曜日 10：35～ 11：55	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット１	セラミックス系歯冠修復材について理解する。	1)セラミックス系歯冠修復材の種類について説明できる。 2)セラミックス系歯冠修復材の特徴について説明できる。 3)セラミックス系歯冠修復材の性質について説明できる。 4)セラミックス系歯冠修復材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5)精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	セラミックス系歯冠修復材に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室
6 ～ 10	前期 ６月～ ７月 木曜日 10：35～ 11：55	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット２	レジン系歯冠修復材について理解する。	1)レジン系歯冠修復材の種類について説明できる。 2)レジン系歯冠修復材の特徴について説明できる。 3)レジン系歯冠修復材の性質について説明できる。 4)レジン系歯冠修復材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5)精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	レジン系歯冠修復材に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	前期 ８月～ ９月 木曜日 10：35～ 11：55	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット３	金属系歯冠修復材について理解する。	１）金属系歯冠修復材の種類について説明できる。 ２）金属系歯冠修復材の特徴について説明できる。 ３）金属系歯冠修復材の性質について説明できる。 ４）金属系歯冠修復材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ５）精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	金属系歯冠修復材に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

生体工学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：都留寛治

〔担当教員〕
都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

〔一般目標〕
硬組織代替材料についてその種類と特徴、性質について理解する。これらの材料に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① セラミックス系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。
② 高分子系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。
③ 金属系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。

〔教科書・参考書〕
スライドとプリントによる講義・演習

〔成績評価の方法・基準〕
ユニット毎に提出するレポート（50%）、指定した科学英語論文に関するプレゼンテーション及び質疑応答(50%)

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	後期 10 月～ 11 月 木曜日 10：35～ 11：55	都留寛治 丸田道人 梶本昇 佐藤平	ユニット１	セラミックス系硬組織代替材料について理解する。	1）セラミックス系硬組織代替材料の種類について説明できる。 2）セラミックス系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 3）セラミックス系硬組織代替材料の性質について説明できる。 4）セラミックス系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5）精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	セラミックス系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室
6～10	後期 12 月～ 1 月 木曜日 10：35～ 11：55	都留寛治 丸田道人 梶本昇 佐藤平	ユニット２	高分子系硬組織代替材料について理解する。	1）高分子系硬組織代替材料の種類について説明できる。 2）高分子系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 3）高分子系硬組織代替材料の性質について説明できる。 4）高分子系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5）精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	高分子系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	後期 2 月～ 3 月 木曜日 10：35～ 11：55	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット３	金属系硬組織代替材料について理解する。	１）金属系硬組織代替材料の種類について説明できる。 ２）金属系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 ３）金属系硬組織代替材料の性質について説明できる。 ４）金属系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ５）精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	金属系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

生体工学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：都留寛治

〔担当教員〕
都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

〔一般目標〕
歯科材料ならびに生体材料の物理的・化学的特性の測定に利用される各種分析機器の測定原理を理解し、その取り扱い法を修得する。

〔授業到達目標〕
① 熱膨張、示差熱分析、熱重量分析装置の原理・測定法・データ解析法を説明できる。
② 歯科用埋没材の熱膨張と熱分解挙動を説明できる。

〔教科書・参考書〕
スライドとプリントによる講義および装置による実習
新版熱分析、神戸博太郎、小澤丈夫編、講談社、1992

〔成績評価の方法・基準〕
出席点および実習レポート

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4 月～ 5 月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット１	熱分析装置の原理を理解し、測定法を修得する。	１）熱膨張測定装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 ２）示差熱分析装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 ３）熱重量分析装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 ４）測定データをまとめ、説明できる。	熱分析装置に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント 新版熱分析、神戸博太郎、小澤丈夫編、講談社、1992	生体工学研究室
16 ～ 30	6 月～ 7 月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット２	歯科材料の熱分析を行い、各材料の特性を理解する。	１）歯科用埋没材の熱膨張測定を行い、埋没材の膨張特性を説明できる。 ２）歯科用埋没材の示差熱分析装置を行い、加熱時の埋没材の相変化を説明できる。 ３）歯科用埋没材の熱重量分析を行い、加熱時の埋没材の重量変化を説明できる。 ４）測定データをまとめ、説明できる。	歯科材料の熱分析に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

生体工学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：都留寛治

〔担当教員〕
都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

〔一般目標〕
歯科材料ならびに生体材料の物理的・化学的特性の測定に利用される各種分光分析機器の測定原理を理解し、その取り扱い法を修得する。

〔授業到達目標〕
① 赤外吸収スペクトルの原理・測定法・データ解析法を説明できる。
② 紫外可視スペクトルの原理・測定法・データ解析法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
スライドとプリントによる講義および装置による実習
赤外法による材料分析　基礎と応用、錦田晃一、岩本令吉著、講談社、1993
第２版 機器分析のてびき(第 1,2,3 集，データ集)，泉 美治他監修、化学同人、1996

〔成績評価の方法・基準〕
出席点および実習レポート

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	8 月～ 9 月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット１	赤外分光分析装置の原理を理解し､測定法を修得する。	１）赤外吸収スペクトルの原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 ２）無機歯科材料の赤外吸収スペクトルを測定し､同定法を説明できる。 ３）有機歯科材料の赤外吸収スペクトルを測定し､同定法を説明できる。 ４）測定データをまとめ、説明できる。	赤外分光分析装置に関する参考資料を読み原理･測定法の概略を把握しておく。	赤外法による材料分析基礎と応用、錦田晃一、岩本令吉著、講談社、1993 第2版 機器分析のてびき(第 1,2,3 集，データ集)，泉 美治他監修、化学同人、1996	生体工学研究室
16 ～ 30	10 月～ 11 月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治 丸田 道人 梶本 昇 佐藤 平	ユニット２	紫外･可視分光分析装置の原理を理解し､測定法を修得する。	１）紫外･可視吸収スペクトルの原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 ２）歯科材料の紫外･可視吸収スペクトルを測定し､同定法を説明できる。 ３）歯科材料の紫外･可視吸収スペクトルを測定し､定量法を説明できる。 ４）測定データをまとめ、説明できる。	紫外･可視分光分析装置に関する参考資料を読み原理･測定法の概略を把握しておく。	配布プリント	生体工学研究室

生体工学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：都留寛治

〔担当教員〕
都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

〔一般目標〕
歯科材料における種々の接着操作に関し、接着の原理およびコンポジットレジンや接着性レジンセメントにおける表面処理と接着強度ならびに耐久性の関連について実習を通じて修得する。

〔授業到達目標〕
① 接着の原理・接着力測定法・データ解析法を説明できる。
② 接着性レジンセメントの種類と特徴を理解し、各種歯科補綴材料に応用できる。

〔教科書・参考書〕
スライドとプリントによる講義および装置による実習
スタンダード歯科理工学－歯科生体材料・歯科材料－、第７版　学建書院 2019

〔成績評価の方法・基準〕
出席点および実習レポート

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	12 月～1 月 木曜日 13:00～17:30	都留寛治 丸田道人 梶本昇 佐藤平	ユニット１	接着の原理を理解し､測定法を修得する。	１）接着の原理と測定法を説明できる。 ２）接着力を評価するための試料作製法を説明できる。 ３）接着力を評価するための測定手順を説明できる。 ４）測定データをまとめ、説明できる。	接着に関する参考資料を読み原理･測定法の概略を把握しておく。	スタンダード歯科理工学－歯科生体材料・歯科材料－、梅本他監修学研書院 2013	生体工学研究室
16～30	2 月～3 月 木曜日 13:00～17：30	都留寛治 丸田道人 梶本昇 佐藤平	ユニット２	接着性レジンセメントの接着特性を理解する。	１）接着性レジンセメントの種類、特徴を理解する。 ２）セラミックスへの接着強度を測定し表面処理との関係を理解する。 ３）歯科用合金への接着強度を測定し表面処理との関係を理解する。 ４)測定データをまとめ、説明できる。	接着性レジンセメント関する参考資料を読み概略を把握しておく。	プリント配布	生体工学研究室

細胞機能構造学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：稲井哲一朗

〔担当教員〕
稲井哲一朗、畠山雄次、児玉　淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林　慶和

〔一般目標〕
口腔諸組織の組織学的特徴を理解するために、その構成成分である細胞（細胞小器官、細胞骨格、膜の裏打ち蛋白質、微小管）、上皮組織（腺）、支持組織（結合組織、骨組織、軟骨組織、血液、リンパ）、神経組織、筋組織や血管の超微構造を理解するとともにその研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①細胞小器官、細胞骨格、細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質や微小管の形態について説明できる。
②上皮組織（腺）の形態について説明できる。
③支持組織、神経組織、筋組織の形態について説明できる。
④軟、硬組織の形態研究法について説明できる。
⑤各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 標準組織学　総論　藤田尚男、藤田恒夫著、医学書院　第５版、2015 年
2. カラーアトラス 顕微鏡写真で見る細胞組織学　Wolfgang Kuehnel 著　坂井建雄、石村和敬訳、メディカル・サイエンスーインターナショナル、2006 年
3. 組織学　組織化学的アプローチ　小川　和朗、齋藤多久馬編集、朝倉書店、1996 年

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	【前期】 4 月～5 月 月曜日 9：00～ 10：20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット 1 細胞	細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質、細胞小器官、細胞骨格、微細管の形態について理解する。	１．細胞膜の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ２．細胞膜の裏打ち蛋白質の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ３．細胞小器官（ゴルジ装置、ミトコンドリア、粗面小胞体、滑面小胞体、水解小体）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ４．細胞骨格の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ５．微細管の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室
6～10	【前期】 6 月～7 月 月曜日 9：00～ 10：20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット 2 上皮組織	上皮組織（腺）の形態について理解する。	６．重層扁平上皮の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ７．多列線毛上皮の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ８．単層扁平上皮の形態的	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 ９．唾液腺（漿液腺、粘液腺、混合腺）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 10．唾液腺導管系（介在部、線条部、小葉間導管、主導管）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。			
11～15	【前期】 8月～9月 月曜日 9：00～ 10：20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット3 発表	各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方を理解する。	11．各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 12．各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 13．各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 14．各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 15．各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室

細胞機能構造学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：稲井哲一朗

〔担当教員〕
稲井哲一朗、畠山雄次、児玉　淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林　慶和

〔一般目標〕
口腔諸組織の組織学的特徴を理解するために、その構成成分である細胞（細胞小器官、細胞骨格、膜の裏打ち蛋白質、微小管）、上皮組織（腺）、支持組織（結合組織、骨組織、軟骨組織、血液、リンパ）、神経組織、筋組織や血管の超微構造を理解するとともにその研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①細胞小器官、細胞骨格、細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質や微小管の形態について説明できる。
②上皮組織（腺）の形態について説明できる。
③支持組織、神経組織、筋組織の形態について説明できる。
④軟、硬組織の形態研究法について説明できる。
⑤各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 標準組織学　総論　藤田尚男、藤田恒夫著、医学書院　第５版、2015 年
2. カラーアトラス 顕微鏡写真で見る細胞組織学　Wolfgang Kuehnel 著　坂井建雄、石村和敬訳、メディカル・サイエンスーインターナショナル、2006 年
3. 組織学　組織化学的アプローチ　小川　和朗、齋藤多久馬編集、朝倉書店、1996 年

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	【後期】 10 月～11 月 月曜日 10：35～ 11：55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット１ 支持組織・ 神経組織・ 筋組織	支持組織、神経組織、筋組織の形態について理解する。	16. 結合組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 17. 骨組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 18. 軟骨組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 19. 神経組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 20. 筋組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読む ことができる。	教科書１の関連ページ及び配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室
6～10	【後期】 12 月～1 月 月曜日 10：35～ 11：55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方	ユニット２ 形態研究法	軟・硬組織の形態研究法について理解する。	21. 軟組織の形態学的解析を行うための手法を説明できる。 22. 軟組織の機能的解析(組織・細胞化学)を行う	教科書１の関連ページ及び配布プリントの内容を予習し、理解して	プリント配布	生体構造学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		林			ための手法を説明できる。 23. 軟組織の培養法について説明できる。 24. 硬組織の形態学的解析を行うための手法を説明できる。 25. 硬組織の機能的解析(組織・細胞化学)を行うための手法を説明できる。	おく。		
11 ～ 15	【後期】 2月～3月 月曜日 10：35～ 11：55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット３ 発表	各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方を理解する。	26. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 27. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 28. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 29. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 30. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。	各自テーマのプレゼンテーションを作成し、発表の練習をしておく。	プリント配布	生体構造学研究室

細胞機能構造学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）

評価責任者：稲井哲一朗

〔担当教員〕
稲井哲一朗、畠山雄次、児玉　淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林　慶和

〔一般目標〕
口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

〔授業到達目標〕
① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 電顕入門ガイドブック　（社）日本顕微鏡学会　編　学会出版センター　2004 年
2. 電子顕微鏡試料作製法　関西電子顕微鏡応用技術研究会編　金芳堂 1999 年

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	【前期】4 月～5 月 木曜日 13:00 ～15:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット１	口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 固定液･緩衝液の作製法を説明で　きる。 2. 灌流固定の方法を説明できる。 3. 透過電顕用試料の固定方法を説明できる。 4. 樹脂包埋の方法を説明できる。 5. 超薄切片の方法を説明できる。 6. 電子染色の方法を説明できる。 7. 透過電子顕微鏡の操作技法を説明できる。 8. 電顕写真の読み方を説明できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16～30	【前期】6 月～7 月 木曜日 13:00 ～15:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット２	硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 元素分析のための試料作製法を説明できる。 2. EPMA の操作方法を説明できる。 3. EPMA で得られたデーターの解析を説明できる。 4. 硬組織の為の固定液を説明できる。 5. 還流固定した試料の脱灰方法を説明できる。 6. 硬組織写真の読み方を説明できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

細胞機能構造学実習②

前期３０コマ（ユニット３～４：２単位）

評価責任者：稲井哲一朗

〔担当教員〕
稲井哲一朗、畠山雄次、児玉　淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林　慶和

〔一般目標〕
口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

〔授業到達目標〕
① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 電顕入門ガイドブック　（社）日本顕微鏡学会　編　学会出版センター　2004 年
2. 電子顕微鏡試料作製法　関西電子顕微鏡応用技術研究会編　金芳堂 1999 年

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	【前期】4 月～5 月 金曜日 9:00 ～11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット３	免疫電顕の手技を理解し修得する。	1. 免疫電顕のための固定液を説明できる。 2. pre-embedding 法による免疫電顕の技法を説明できる。 3. post-embedding 法による免疫電顕の技法を説明できる 4. 免疫電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16～30	【前期】6 月～7 月 金曜日 9:00 ～11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット４	口腔軟･硬組織の走査電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 走査電顕試料のための試料採取を説明できる。 2. 走査電顕試料のための固定法を説明できる。 3. 臨界点乾燥法を説明できる。 4. 金属コーティングを説明できる。 5. 走査電子顕微鏡の操作技法を説明できる。 6. 走査電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

細胞機能構造学実習③

後期３０コマ（ユニット５～６：２単位）
評価責任者：稲井哲一朗

〔担当教員〕
稲井哲一朗、畠山雄次、児玉　淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林　慶和

〔一般目標〕
口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

〔授業到達目標〕
① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 電顕入門ガイドブック　（社）日本顕微鏡学会　編　学会出版センター　2004 年
2. 電子顕微鏡試料作製法　関西電子顕微鏡応用技術研究会編　金芳堂 1999 年

〔成績評価の方法・基準〕
レポートまたは口頭試問。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	【後期】 9 月～ 10 月 木曜日 9:00　～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット５	口腔組織の三次元構造解析法を理解し修得する。	1. 三次元再構築をするための連続超薄切片作製を説明できる。 2. ３D 構築の為のソフトウェアーを使用し、3D 再構築像作製を説明できる。 3. 電子線トモグラフィー（準超薄切片)を用いての３D 再構築像作製を説明できる。 4. 用途に応じたソフトウェアーを使用し、電子線トモグラフィーを用いた３D 再構築像をカラリング解析することを説明できる。 5. ３D 再構築像を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16～30	【後期】 11 月～ 12 月 木曜日 9:00　～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット６	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を理解し修得する。	1. 自身の研究についての目的、研究計画をわかりやすく説明できる。 2. 実験結果を分かり易く説明し、それから導き出される結果を分かり易く説明できる。 3. 質疑応答に答えることにより科学的思考能力を身に着けることを理解する。 4. 上記過程を通じてプレゼンテーションの方法を身に着けることを理解する。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

人体機能構造学講義①、②
（臨床口腔解剖学講義）

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
後期１５コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：畠山　雄次

〔担当教員〕
畠山雄次、児玉淳

〔一般目標〕
頭頚部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
頭頚部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕
上條雍彦『口腔解剖学１～５巻』　アナトーム社第３版第２刷　２００１

〔成績評価の方法・基準〕
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 50%、口頭試問 50%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	【前期】 4 月～5 月 木曜日 14：35～ 15：55	畠山 児玉	ユニット１	口腔解剖学を説明する。	1. 口腔解剖学･骨学を説明する。 2. 口腔解剖学･筋学を説明する。 3. 口腔解剖学･脈管学を説明する。 4. 口腔解剖学･神経学を説明する。 5. 口腔解剖学･内蔵学を説明する。	解剖学教科書で骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室
6～10	【前期】 6 月～7 月 木曜日 14：35～ 15：55	畠山 児玉	ユニット２	歯周外科に必要な解剖学を説明する。	6. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 7. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 8. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 9. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 10. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。	歯周外科教科書で必要な骨･筋･内臓･神経･脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室
11～15	【前期】 7 月～9 月 木曜日 14：35～ 15：55	畠山 児玉	ユニット３	歯科矯正に必要な解剖学を説明する。	11. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 12. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。	矯正教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					13. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 14. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 15. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。			
6 ～ 20	【後期】 10 月 ～11 月 木曜日 10：35～ 11：55	畠山 児玉	ユニット４	口腔外科に必要な解剖学を説明する。	16. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 17. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 18. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 19. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 20. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。	口腔外科教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室
21 ～ 25	【後期】 12 月 ～1 月 木曜日 10：35～ 11：55	畠山 児玉	ユニット５	インプラントに必要な解剖学を説明する。	21. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 22. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 23. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 24. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 25. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。	インプラント教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室
26 ～ 30	【後期】 10 月 ～2 月 木曜日 10：35～ 11：55	畠山 児玉	ユニット６	咬合学に必要な解剖学を説明する。	26. ナソロジーを解剖学的観点から説明する。 27. スカンジナビア学派を解剖学的観点から説明する。 28. ギシェーの理論を解剖学的観点から説明する。 29. シュライヒのシステムを解剖学的観点から説明する。 30. スチュアート咬合器を解剖学的観点から説明する。	咬合教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・ 参考書	生体構造学研究室

人体機能構造学実習①
（臨床口腔解剖学演習）

後期　３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：畠山　雄次

〔担当教員〕
畠山雄次　児玉淳

〔一般目標〕
頭頚部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
頭頚部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕
上條雍彦『口腔解剖学１～５巻』　アナトーム社第３版第２刷　２００１

〔成績評価の方法・基準〕
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 80%、口頭試問 20%とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	後期 10 月 火曜日 金曜日 13：00 ～ 17：30 木曜日 14：30 ～ 16:00	畠山 児玉	ユニット１	歯周外科に必要な頭頚部の臨床口腔解剖学を実践する。	歯周外科に必要な臨床口腔解剖学を遺体によって説明する。	剖学教科書を用いて歯周外科に必要な関連事項をノートに整理する。 解剖学教科書で歯周外科に関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・参考書	解剖実習室

人体機能構造学実習②
（臨床口腔解剖学演習）

後期　３０コマ（ユニット２：２単位）
評価責任者：畠山　雄次

〔担当教員〕
畠山雄次　児玉淳

〔一般目標〕
頭頚部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
頭頚部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕
上條雍彦『口腔解剖学１～５巻』　アナトーム社第３版第２刷　２００１

〔成績評価の方法・基準〕
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 80%、口頭試問 20%とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	後期 11 月 火曜日 金曜日 13：00～17：30 木曜日 14：30～17：30	畠山 児玉	ユニット２	インプラントに必要な頭頚部の臨床口腔解剖学を実践する。	インプラントに必要な頭頚部の臨床口腔解剖学を遺体によって説明する。	解剖学教科書を用いてインプラントに必要な関連事項をノートに整理する。解剖学教科書でインプラントに関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・参考書	解剖実習室

人体機能構造学実習③
（臨床口腔解剖学演習）

後期　３０コマ（ユニット３：２単位）
評価責任者：畠山　雄次

〔担当教員〕
畠山雄次　児玉淳

〔一般目標〕
頭頚部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕
頭頚部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕
上條雍彦『口腔解剖学１～５巻』　アナトーム社第３版第２刷　２００１

〔成績評価の方法・基準〕
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 80%、口頭試問 20%とする。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	後期 12 月 火曜日 木曜日 金曜日 13：00～17：30	畠山 児玉	ユニット３	口腔外科に必要な頭頚部の臨床口腔解剖学を実践する。	臨床口腔解剖学を解剖学初心者に説明する。	解剖学教科書を用いて口腔外科に必要な関連事項をノートに整理する。 解剖学教科書で口腔外科に関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・参考書	解剖実習室

病態構造学講義①

前期１５コマ（ユニット１～５：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
人体組織の発生についての理解を基盤に、口腔顔面の発生・歯の発生について理解する。さらに歯のライフサイクル、組織の再生について理解し、研究活動に役立てる。

〔授業到達目標〕
① 人体組織の発生について理解する。
② 口腔顔面領域の発生について理解する。
③ 歯の発生について理解する。
④ 歯の萌出と脱落について理解する。
⑤ 組織の再生について理解する。

〔教科書・参考書〕
1. J. K. エイヴリー著　高野　吉郎 監訳『カラーエッセンシャル 口腔組織・発生学』西村書店　2002
2. 水上 哲也、 楠川 仁悟、 堀之内 康文、後藤 哲哉 、自見英治郎、他6名著『基礎から臨床がわかる 再生歯科』　クインテッセンス株式会社　2013
3. 中内啓光　編『幹細胞研究と再生医療』　南山堂　2013

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 3	前期 ４月： 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット１	人体組織の発生について理解する。	1. 内胚葉系組織の発生について説明できる。 2. 中胚葉系組織の発生について説明できる。 3. 外胚葉系組織の発生について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2
4 ～ 6	前期： ５月 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット２	口腔顔面領域の発生について理解する。	1.口咽頭部・鰓弓の発生について説明できる。 2. 頭蓋・顔面の骨格の発生について説明できる。 3.顔面と口蓋の発生について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2。
7 ～ 9	前期： ６月 月、木 13：00 ～	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット３	歯の発生について理解する。	1.歯の発生・発達段階について説明できる。 2.象牙質・エナメル質・歯冠・歯根の発達について説明で	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	14：20				きる。 3.支持構造の発生について説明できる。			
10 ～ 12	前期： 7月 月、木、 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット４	歯の萌出と脱落について理解する。	1.歯の萌出の一連の過程について説明できる。 2.歯の各萌出期の組織変化について説明できる。 3.歯の脱落過程について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室３ 実験室２
13 ～ 15	前期： 8月 月、木、 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット５	組織の再生について理解する。	1.組織再生の一連の過程について説明できる。 2.歯・歯周組織の再生について説明できる。 3.幹細胞と再生医療について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室３ 実験室２

病態構造学講義②

後期１５コマ（ユニット６～１０：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
癌をテーマに、概念、生物学的特性、発癌のメカニズム、診断上有用な臨床検査について理解する。併せて、癌幹細胞（cancer stem cell）について学び、分子標的治療の可能性に繋げる研究方略を構想できる。

〔授業到達目標〕
⑥　癌の概念について理解する。
⑦　発癌・癌の特性について理解する。
⑧　発癌の要因・臨床検査について理解する。
⑨　癌と幹細胞・分子メカニズム・分子標的治療について理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 日合 弘（翻訳），木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学　第2版　－ メカニズム・分子標的・治療 －』　メディカル・サイエンス・インターナショナル　2014
2. 中内啓光　編『幹細胞研究と再生医療』　南山堂　2013
3. 黒木登志夫　監、許　南浩、中村幸夫　編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊 実験ハンドブックシリーズ）』　羊土社　2008
4. 山本　雅、仙波憲太郎　編『癌のシグナル伝達がわかる　癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』　羊土社　2005

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
16 ～ 18	後期： 9 月： 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット６	癌の概念について理解する。	1. 癌の定義、生物学的特性、分類について説明できる。 2. 前癌病変と発癌過程、遺伝子変異について説明できる。 3. 口腔・唾液腺癌の組織学的分類について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2
19 ～ 21	後期： 10 月 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット７	発癌･癌の特性について理解する（I）。	1. 癌と遺伝子発現調節（転写、エピジェネティクス）について説明できる。 2. 癌と増殖因子・シグナル伝達について説明できる。 3. 癌と細胞周期について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
22 ～ 24	後期： 11 月 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット８	発癌･癌の特性について理解する(II)。	1. 癌とアポトーシスについて説明できる。 2. 癌と免疫について説明できる。 3. 癌と老化・オートファジーについて説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2
25 ～ 27	後期： 12 月 月、水、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット９	発癌の要因･臨床検査について理解する。	1. 癌と感染・炎症について説明できる。 2. 癌と栄養・ホルモンについて説明できる。 3. 癌と臨床検査（腫瘍マーカー）について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2
28 ～ 30	後期： 1 月 月、水、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット 10	組織の再生について理解する。	1. 癌と幹細胞・分化について説明できる。 2. 癌と自己複製の分子メカニズムについて説明できる。 3. 癌の分子標的と治療戦略について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2

病態構造学実習①

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
前癌病変について病態を理解した上で、病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

〔授業到達目標〕
① 口腔領域癌の前癌病変について理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 日合 弘（翻訳），木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学　第2版　－ メカニズム・分子標的・治療 －』　メディカル・サイエンス・インターナショナル　2014
2. 中内啓光　編『幹細胞研究と再生医療』　南山堂　2013
3. 井出利憲、田原栄俊　著『細胞培養入門ノート（無敵のバイオテクニカルシリーズ）』羊土社　2010
4. 黒木登志夫　監、許　南浩、中村幸夫　編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊実験ハンドブックシリーズ）』　羊土社　2008
5. 山本　雅、仙波憲太郎　編『癌のシグナル伝達がわかる　癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』　羊土社　2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛　編『渡辺・中根　酵素抗体法　改訂４版』　学際企画　2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	前期 5～7 月： 月、木 13：00 ～ 17：30	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット 1	口腔領域癌の前癌病変について理解する。	1. 前癌病変の定義・意義について理解する。 2. 前癌病変の病理標本を収集する。 3. 前癌病変の特性について分子病理学的解析を行う。 4. 学習結果のまとめを行う。	前癌病変について、教科書および論文を検索して概要を学習しておく。	自己完遂型学習の修得。 学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2

病態構造学実習②

前期３０コマ（ユニット２：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
口腔領域癌について病態を理解した上で、病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

〔授業到達目標〕
① 口腔領域癌の特性について理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 日合 弘（翻訳），木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学　第2版　－ メカニズム・分子標的・治療 －』　メディカル・サイエンス・インターナショナル　2014
2. 中内啓光　編『幹細胞研究と再生医療』　南山堂　2013
3. 井出利憲、田原栄俊　著『細胞培養入門ノート（無敵のバイオテクニカルシリーズ)』羊土社　2010
4. 黒木登志夫　監、許　南浩、中村幸夫　編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊実験ハンドブックシリーズ）』　羊土社　2008
5. 山本　雅、仙波憲太郎　編『癌のシグナル伝達がわかる　癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』　羊土社　2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛　編『渡辺・中根　酵素抗体法　改訂４版』　学際企画　2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
31 ～ 60	後期 8～10 月： 月、木 13：00 ～ 17：30	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット ２	口腔領域癌の特性について理解する。	1. 口腔領域癌の分類・意義について理解する。 2. 口腔領域癌症例の病理標本を収集する。 3. 口腔領域癌の特性について分子病理学的解析を行う。 4. 学習結果のまとめを行う。	口腔癌について、教科書および論文を検索して概要を学習しておく。	自己完遂型学習の修得。 学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室３ 実験室２

病態構造学実習③

後期３０コマ（ユニット３：２単位）
評価責任者：橋本　修一

〔担当教員〕
橋本修一、岡村和彦、岡野慎士、吉本尚平

〔一般目標〕
（癌）幹細胞について病態を理解した上で､病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

〔授業到達目標〕
①　（癌）幹細胞の特性について理解する。

〔教科書・参考書〕
1. 日合 弘（翻訳），木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学　第2版　－ メカニズム・分子標的・治療 －』　メディカル・サイエンス・インターナショナル　2014
2. 中内啓光　編『幹細胞研究と再生医療』　南山堂　2013
3. 井出利憲、田原栄俊　著『細胞培養入門ノート（無敵のバイオテクニカルシリーズ)』羊土社　2010
4. 黒木登志夫　監、許　南浩、中村幸夫　編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊 実験ハンドブックシリーズ）』　羊土社　2008
5. 山本　雅、仙波憲太郎　編『癌のシグナル伝達がわかる　癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』　羊土社　2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛　編『渡辺・中根　酵素抗体法　改訂４版』　学際企画　2002

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
61 ～ 90	後期 11～1 月： 月、木 13：00 ～ 17：30	橋本 岡村 岡野 吉本	ユニット 3	（癌）幹細胞の特性について理解する。	1.（癌）幹細胞の定義・意義について理解する。 2.実験に使用する病理組織標本、細胞株等の収集を行う。 3.（癌）幹細胞の特性について分子病理学的解析を行う。 4.学習結果のまとめを行う。	癌細胞について、研究論文を検索して概要を学習しておく。	自己完遂型学習の修得。 学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室 3 実験室 2

細胞生理学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、岡本富士雄、鍛治屋 浩、進　正史

〔一般目標〕
骨や歯の硬組織の形成や維持の機構を理解すると共に、これらに重要なタンパク分子の機能調節について基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 硬組織の形成と形態について説明できる。
② 硬組織のタンパク質と機能について説明できる。
③ 骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会　編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	【前期】 4月～5月 水・金曜日 10：35～11：55	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット１	硬組織の形成と形態について理解する。	1.骨の発生や形態的特徴について説明できる。 2.骨芽細胞、骨細胞、軟骨細胞の形態や分化について説明できる。 3.破骨細胞の形態や分化誘導について説明できる。 4.骨リモデリングやメカニカルストレスについて説明できる。 5.歯の発生や歯牙構成細胞の分化誘導について説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室
6～10	【前期】 6月～7月 水・金曜日 10：35～11：55	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット２	硬組織のタンパク質と機能について理解する。	6.骨の基質の分子群をついて説明できる。 7.象牙質やエナメル質のタンパクについて説明できる。 8.膜輸送や細胞内輸送系について説明できる。 9.細胞周期について説明できる。 10.アポトーシスについて説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	【前期】 ４月～ ９月 火曜日 9：00～ 10：20	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット３	骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方を理解する。	11. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 12. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 13. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる 14. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる 15. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる	指定論文の事前学習とプレゼン資料の準備	配付プリント	細胞生理学研究室

細胞生理学講義②

後期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、岡本富士雄、鍛治屋 浩、進　正史

〔一般目標〕
骨や歯の硬組織の形成や維持に関わるホルモンやサイトカインのシグナル伝達について理解すると共に、硬組織研究法および硬組織疾患の病因や治療法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
① 骨代謝や歯の形成に関するホルモン・サイトカインや細胞内シグナル伝達について説明できる。
② 硬組織研究法および疾患について説明できる。
③ 骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方について説明できる。

〔教科書・参考書〕
1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会　編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～5	【後期】 10月～11月 水・金曜日 10：35～11：55	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット１	骨代謝や歯の形成に関するホルモン･サイトカインや細胞内シグナル伝達について理解する。	1. カルシウム代謝調節ホルモンについて説明できる。 2. ステロイドホルモンと情報伝達について説明できる。 3. サイトカインと細胞内シグナル伝達について説明できる。 4. 骨や歯の分化増殖に関わる転写調節因子について説明できる。 5. 骨代謝や歯の形成に重要な機能分子について説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室
6～10	【後期】 12月～１月 水・金曜日 10：35～11：55	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット２	硬組織研究法および疾患について理解する。	6. 硬組織の形態学的解析や染色法について説明できる。 7. 硬組織の培養法について説明できる。 8. 硬組織を用いた分子生物学的手法について説明できる。 9. 骨や歯の硬組織疾患とその病因についてについて説明できる。 10. 硬組織疾患の予防と治療法についてについて説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	【後期】 10 月 ～2 月 火曜日 9：00～ 10：20	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット３	骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方を理解する。	11. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 12. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 13. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 14. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。 15. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に応答できる。	指定論文の事前学習とプレゼン資料の準備	配付プリント	細胞生理学研究室

細胞生理学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、岡本富士雄、鍛治屋 浩、進　正史

〔一般目標〕
骨や歯の硬組織の発生や形態的特徴について理解すると共に、硬組織研究法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

〔授業到達目標〕
① 骨や歯の硬組織の細胞培養法について理解し修得する。
② 骨や歯の硬組織の形態的解析法について理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会　編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」羊土社　2003

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	【前期】 ４月 水・金曜日 13：00～ 19：15	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット１	骨や歯の硬組織の細胞培養法について理解し修得する。	1.硬組織細胞の発生や形態的特徴を理解し識別できる。 2.硬組織細胞の分離と細胞培養ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター
11 ～ 30	【前期】 ５月～ ６月 水・金曜日 13：00～ 19：15	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット２	骨や歯の硬組織の形態的解析法について理解し修得する。	3.硬組織細胞の識別染色ができる。 4.硬組織の組織染色ができる。 5.硬組織細胞の免疫組織染色ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター

細胞生理学実習②

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、岡本富士雄、鍛治屋 浩、進　正史

〔一般目標〕
骨や歯の硬組織の形成や維持に重要なタンパク質やシグナル伝達分子の機能調節について理解すると共に、その分子生物学的解析法や骨代謝機能解析法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

〔授業到達目標〕
① 骨や歯の硬組織細胞を用いた分子生物学的解析法について理解し修得する。
② 骨や歯の硬組織細胞を用いた骨代謝機能解析法を理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会　編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」羊土社　2003

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習評価の基準は適切な説明、操作、解析ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	【前期】 ７月～ ８月 水・金曜日 13：00～ 19：15	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット１	骨や歯の硬組織細胞を用いた分子生物学的解析法について理解し修得する。	1. 硬組織細胞から RNA やタンパク質が抽出できる。 2. RT-PCR 法を用いて遺伝子発現を測定できる。 3. ウエスタンブロッティング法でタンパク発現が測定できる。 4. 転写因子のプロモーター活性を理解し測定できる。 5. 硬組織細胞への特定遺伝子の導入ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター
16 ～ 30	【前期】 ８月～ ９月 水・金曜日 13：00～ 19：15	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット２	骨や歯の硬組織細胞を用いた骨代謝機能解析法を理解し修得する。	6. 破骨細胞の骨吸収活性機能を測定し評価できる。 7. 骨芽細胞の骨形成機能活性を測定し評価できる。 8. 各種の骨代謝マーカーを測定し解析できる。 9. 骨代謝や歯の疾患モデル動物を用いて代謝異常を解析できる。 10. 遺伝子欠損マウスを用いて骨代謝異常を解析できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター

細胞生理学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：岡部幸司

〔担当教員〕
岡部幸司、岡本富士雄、鍛治屋 浩、進　正史

〔一般目標〕
骨や歯の硬組織の形成や維持に重要な膜イオン輸送体やそのシグナル伝達について理解すると共に、そのイオン輸送の研究法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

〔授業到達目標〕
① 膜イオン輸送研究のため電気生理学的手法を理解し修得する。
② 細胞内イオン動態研究のためイオンイメージング法を理解し修得する。

〔教科書・参考書〕
1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会　編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」羊土社　2003
4. 岡田泰伸編「パッチクランプ実験技術法」吉岡書店　1996

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 40%、実習点 60%。実習評価の基準は適切な説明、操作、解析ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 20	【後期】 10 月 ～11 月 水・金曜日 13：00～ 19：15	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット１	膜イオン輸送研究のため電気生理学的手法を理解し修得する。	1. 電気生理学的手法の原理と理解し操作できる。 2. 組織より実験用の細胞の単離と培養ができる。 3. パッチクランプ法を理解し操作できる。 4. 細胞からイオン電流が記録できる。 5. 記録したイオン電流データーを解析し評価できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター
21 ～ 30	【後期】 12 月 ～１月 水・金曜日 13：00～ 15：55	岡部 岡本 鍛治屋 進	ユニット２	細胞内イオン動態研究のためイオンイメージング法を理解し修得する。	6. イオン選択的蛍光色素の性質と測定原理を説明できる。 7. イオンイメージング法を理解し計測装置の操作ができる。 8. 組織より実験用の細胞の単離と色素導入ができる。 9. 細胞からイオンイメージングが記録できる。 10. 記録したイメージングデーターを解析し評価できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室 口腔医学研究センター

分子機能制御学講義①

前期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：八田光世

〔担当教員〕
日高真純、八田光世、藤兼亮輔、内田邦敏、長岡良礼

〔一般目標〕
生体機能を制御・調節する物質（薬物など）の分子・細胞レベルでの機能調節メカニズムを理解する。

〔授業到達目標〕
① 細胞のストレス応答の仕組みとその機能メカニズムを説明できる。
② 生体機能制御調節物質の細胞に対する作用機序を説明できる。
③ 生体機能制御調節物質及び受容体についてその構造と活性の関係を説明できる。

〔教科書・参考書〕
B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

〔成績評価の方法・基準〕
授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～7	前期 4 月～5 月 水曜日 9:00～10:20	日高真純 藤兼亮輔	ユニット１ 細胞機能	細胞機能について説明できる。	1. さまざなストレスに対する細胞応答とその機能を説明できる。 2. 細胞応答で機能する分子の作用機序を理解する。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室
8～15	前期 6 月～7 月 水曜日 9:00～10:20	八田光世 内田邦敏 長岡良礼	ユニット２ 受容体の構造と活性	受容体の構造と活性の関係を説明できる。	1. 受容体の構造を説明できる。 2. 活性化物質が結合した時の構造変化を説明できる。 3. 活性化物質が結合した時の受容体の機能を説明できる。 4. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室

分子機能制御学講義②

後期１５コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：日高 真純

〔担当教員〕
日高真純、八田光世、藤兼亮輔、内田邦敏、長岡良礼

〔一般目標〕
生体機能を制御・調節する物質の分子・細胞レベルでの機能調節メカニズムを理解し、外的要因によって生じた疾病の治療におけるこれらの物質の重要性を知る。

〔授業到達目標〕
① 転写制御因子について説明できる。
② 生体機能制御調節物質の細胞に対する作用機序を説明できる。
③ 外的要因に対する細胞応答と遺伝子応答を説明できる。

〔教科書・参考書〕
B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

〔成績評価の方法・基準〕
授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～8	後期 9 月～10 月 水曜日 9:00～10:20	八田光世 内田邦敏 長岡良礼	ユニット１ 転写制御因子	転写制御因子について説明できる。	1. 転写制御因子の構造を説明できる。 2. 転写制御因子の機能及び役割を説明できる。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室
9～15	後期 11 月～ 12 月 水曜日 9:00～10:20	日高真純 藤兼亮輔	ユニット２ 細胞応答と遺伝子応答	外的要因に対する細胞応答と遺伝子応答を説明できる。	1. 遺伝子の構造と機能を説明できる。 2. 外的要因による遺伝子発現の変化について説明できる。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室

分子機能制御学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：日高真純

〔担当教員〕
日高真純、八田光世、藤兼亮輔、内田邦敏、長岡良礼

〔一般目標〕
分子機能制御学研究に必要な基本的実験技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

〔授業到達目標〕
① 細胞への遺伝子導入技法や電気生理学的手法を習得する。
② 結果を分析し、得られた結論を述べることができる。

〔教科書・参考書〕
B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

〔成績評価の方法・基準〕
基本手技の習得状況と研究成果の発表（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1～15	前期 4 月～5 月 水曜日 13:00～15:55	日高真純 八田光世 藤兼亮輔 内田邦敏 長岡良礼	ユニット１ 培養技術と生命科学技法	哺乳類細胞の培養技術と基本的な生命科学技法を習得する。	1. 継代哺乳動物細胞の培養技術を習得する。 2. 培養細胞を用いた細胞染色法や生理学的実験技法を修得する。 3. 目的のタンパクの発現や機能を確認できる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室、 研究センター
16～30	前期 6 月～7 月 水曜日 13:00～15:55	日高真純 八田光世 藤兼亮輔 内田邦敏 長岡良礼	ユニット２ 遺伝子組換え技術と遺伝子導入技法	遺伝子組換え技術と哺乳類細胞への遺伝子導入技法を習得する。	1. 大腸菌を用いた遺伝子組換え技術を習得する。 2. 哺乳類細胞への遺伝子導入法を実施できる。 3. 遺伝子導入した細胞を用いて、目的に合った生命科学技法によって標的タンパクの発現や機能を確認できる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4 で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	P2 実験室、 分子機能制御学研究室、 研究センター

分子機能制御学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：日高 真純

〔担当教員〕
日高真純、藤兼亮輔

〔一般目標〕
分子機能制御学研究に必要な分子生物学的・細胞生物学的実験技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

〔授業到達目標〕
① 細胞培養法ならびに遺伝子発現解析法を習得する。
② 結果を分析し、得られた結論を述べることができる。

〔教科書・参考書〕
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

〔成績評価の方法・基準〕
基本手技の習得状況と研究成果の発表（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 9 月～ 10 月 水曜日 13:00 ～ 15:55	日高真純 藤兼亮輔	ユニット１ 高解像度細胞染色技術	哺乳類由来細胞を用いた高解像度細胞染色技術を習得する。	1. 細胞培養技術について説明できる。 2. 初代培養細胞ならびに細胞株の培養技術を習得する。 3. 共焦点レーザー顕微鏡を用いた細胞染色法（蛍光抗体法）について説明でき、目的とするタンパク分子の発現を調べる手段として応用できる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4 で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	研究センター、 分子機能制御学研究室
16 ～ 30	後期 11 月 ～12 月 水曜日 13:00 ～ 15:55	日高真純 藤兼亮輔	ユニット２ 定量的 RT-PCR 法 とイムノブロット法	定量的 RT-PCR 法やイムノブロット法を習得する。	1. 定量的 RT-PCR 法やイムノブロット法について説明できる。 2. 定量的 RT-PCR 法やイムノブロット法を習得する。 3. 哺乳動物細胞において、目的とする mRNA やタンパクの発現を調べる手段として応用できる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4 で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	研究センター、 分子機能制御学研究室

分子機能制御学実習③

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：八田光世

〔担当教員〕
八田光世、内田邦敏、長岡良礼

〔一般目標〕
上皮組織に関する分子機能制御学研究に必要な技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

〔授業到達目標〕
① 上皮組織に由来する細胞の培養法と解析法を習得する。
② 結果を分析し、得られた結論を述べることができる。

〔教科書・参考書〕
B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017

〔成績評価の方法・基準〕
基本手技の習得状況と研究成果の発表（100%）

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 12 月 ～1 月 水曜日 13:00 ～ 15:55	八田光世 内田邦敏 長岡良礼	ユニット１ 上皮− 間葉転換モデル系の解析	*In vitro* 上皮− 間葉転換モデル系の培養法と mRNA・タンパク質解析法を習得する。	1. 上皮組織の種類・構造を説明できる。 2. 株化上皮細胞による上皮− 間葉転換モデル系の培養技術を習得する。 3. 定量的 RT-PCR 法やイムノブロット法により、マーカー遺伝子の mRNA やタンパクの発現変化を示すことができる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4 で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室、 研究センター
16 ～ 30	後期 2 月～ 3 月 水曜日 13:00 ～ 15:55	八田光世 内田邦敏 長岡良礼	ユニット２ 上皮組織由来細胞に発現するイオンチャネルの解析	上皮組織由来細胞の培養法と電気生理学的解析法を習得する。	1. 皮膚や口腔粘膜から上皮細胞を単離する手法を習得する。 2. 電気生理学的解析法によりイオンチャネルの機能特性を示すことができる。 3. 1～2 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 4. 3 で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、 配布プリント	分子機能制御学研究室、 研究センター

生体再生材料学講義①

前期１５コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：大野　純

〔担当教員〕
大野　純、城戸寛史、泉　利雄

〔一般目標〕
口腔・顎顔面組織再生に使用する代替材料についてその特徴、性質について理解する。これらを用いた再生医学に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①生体材料の種類と再生医学への応用について説明できる。
②口腔・顎顔面組織再生に使用する代替材料について説明できる。

〔教科書・参考書〕
プリントを配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、各ユニットで提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	４～５月水曜日 10：35～11：55	大野　純	ユニット１ 再生医学への応用	生体材料の再生医学への応用について理解する。	１．生体材料の種類について説明できる。 ２．再生医学への応用について説明できる。 ３．生体材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ４．精読した論文についてその概要を発表する。	事前配布の資料を読んでおく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他
6～10	６～７月水曜日 10：35～11：55	城戸寛史	ユニット２ 金属系生体材料	金属系生体材料（口腔インプラント）の種類、応用について理解する。	１．金属系生体材料の種類・応用について説明できる。 ２．金属系生体材料に関する論文を読み最近の研究動向を理解する。 ３．精読した論文についてその概要を発表する。	金属系生体材料の特徴について調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他
11～15	８～９月水曜日 10：35～11：55	泉　利雄	ユニット３ 無機系骨補填材	無機系骨補填材の種類、応用について理解する。	１．無機系骨補填材の種類・応用について説明できる。 ２．無機系骨補填材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ３．精読した論文についてその概要を発表する。	無機系骨補填材の特徴について調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他

生体再生材料学講義②

後期１５コマ（ユニット４～６：２単位）
評価責任者：大野　純

〔担当教員〕
大野　純、川口　稔

〔一般目標〕
高分子系骨再生材料、幹細胞を応用した細胞再生療法および細胞再生療法における組織変化の特徴について理解する。これらのトピックスに関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕
①高分子系骨再生材料の種類、特徴について説明できる。
②幹細胞再生療法の特徴について説明できる。
③再生療法における組織変化について説明できる。

〔教科書・参考書〕
プリントを配布

〔成績評価の方法・基準〕
出席点40%、各ユニットで提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～5	10～11月 水曜日 10：35～11：55	川口　稔	ユニット４ 高分子系骨再生材料	高分子系骨再生材料の種類、特徴について理解する。	１．高分子系骨再生材料の種類・特長・性質について説明できる。 ２．骨再生材料に関する論文を読み最近の研究動向を理解する。 ３．精読した論文についてその概要を発表する。	高分子系生体材料の特徴を歯科理工学の教科書で調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他
6～10	12～１月 水曜日 10：35～11：55	大野　純	ユニット５ 幹細胞再生医療	幹細胞再生医療の特徴ならびに現状について理解する。	１．幹細胞の性状および特性について説明できる。 ２．間葉系幹細胞および iPS 細胞を用いた再生医療に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ３．精読した論文についてその概要を発表する。	ES 細胞、iPS 細胞および間葉系幹細胞の特徴を調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他
11～15	１～２月 水曜日 10：35～11：55	大野　純	ユニット６ 再生医療における組織変化	再生医療における組織変化の特徴について理解する。	１．細胞再生療法での組織反応について説明できる。 ２．再生療法での組織変化に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 ３．精読した論文についてその概要を発表する。	異物処理反応および創傷治癒過程について、病理学の教科書で調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター他

生体再生材料学実習①

前期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：大野　純

〔担当教員〕
大野　純、川口　稔

〔一般目標〕
再生医療に用いる細胞培養法およびＸ線マイクロ CT 法の原理を理解する。細胞培養法については、平面培養法およびスフェロイド培養法の手技を習得する。マイクロ CT 法については、その原理と CT 像の解釈法について理解する。

〔授業到達目標〕
①平面培養法およびスフェロイド培養法の原理を理解し、その操作法を修得する。
②X 線マイクロ CT 法の原理を理解し、その測定法および CT 像の解釈法を理解する。

〔教科書・参考書〕
配布プリント

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、実習レポート 50%。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	【前期】４月、５月金曜日13:00～17:30	大野　純	ユニット１細胞培養法の原理	細胞培養法の原理を理解し､細胞スフェロイドを形成する。	１.細胞培養法の原理を説明できる。 ２.平面培養法を行い、継代法を修得する。 ３.スフェロイド培養法の原理が説明できる。 ４.細胞スフェロイドを形成する。 ５.細胞スフェロイドと平面培養細胞の違いが説明できる。	一般的な細胞培養法について、調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他
16～30	【前期】６月、７月金曜日13:00～17:30	川口　稔	ユニット２X 線マイクロ CT 法	X 線マイクロ CT 法の原理を理解し､CT 像の解釈法を理解する。	１．X 線マイクロ CT の原理と応用例を説明する。 ２．X 線マイクロ CT 装置の基本的な操作法および保守方法を説明する。 ３．X 線マイクロ CT 装置により試料の CT 像を観察する。 ４．画像処理法ならびに解析法を説明する。 ５．試料から得た測定データをまとめて発表できる。	CT の原理と特徴について調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他、アニマルセンター

生体再生材料学実習②

後期３０コマ（ユニット１～２：２単位）
評価責任者：大野　純

〔担当教員〕
大野　純、鍛治屋浩

〔一般目標〕
細胞の骨分化誘導法およびアッセイ法について、その原理および操作法を修得する。

〔授業到達目標〕
①骨分化誘導法の原理を理解し、その誘導法を修得する。
②細胞からの mRNA とタンパク抽出法の原理を理解し、その操作法を修得する。
③定量的 PCR 法と Western blotting 法の原理を理解し、その操作法を習得する。

〔教科書・参考書〕
配布プリント

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、実習レポート 50%。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～15	【後期】10月、11月金曜日13:00～17:30	大野　純	ユニット１骨分化誘導法	*In vitro* における骨分化誘導法を理解し､細胞への骨分化誘導を行う。	１．骨分化誘導法の原理および誘導法を説明できる。 ２．誘導細胞の調節法を説明できる。 ３．誘導法を修得する。 ４．誘導細胞と非誘導細胞の違いを説明できる。 ５．データをまとめて、発表することができる。	骨分化誘導に用いる試薬について調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他
16～30	【後期】12月、1月金曜日13:00～17:30	鍛治屋浩	ユニット２骨分化誘導細胞アッセイ法	骨分化誘導細胞のアッセイ法を理解し、アッセイを行う。	１．誘導細胞からの mRNA とタンパク抽出法の原理を説明できる。 ２．定量的 RT-PCR の原理を説明でき、その方法を修得する。 ３ Western blotting 法の原理を説明でき、その方法を修得する。 ４．結果を解析して、発表することができる。	RT-PCR 法および Western blotting 法を調べておくこと。	プリント配布	口腔医学研究センター他

生体再生材料学実習③

前期３０コマ（ユニット１～３：２単位）
評価責任者：大野　純

〔担当教員〕
大野　純

〔一般目標〕
各種生体材料の組成や構造についてセンター設置機器を用いた実習を通じて修得する。

〔授業到達目標〕
① クリオスタットを用いて、骨組織からの非固定非脱灰凍結切片作製法を習得し、組織学的染色等を行う。
② 蛍光顕微鏡の原理および観察法を習得し、生体材料、細胞および組織試料について観察を行う。
③ 蛍光 X 線分析装置、X 線回折装置の原理および測定法を修得し、各種生体材料に含まれる成分元素の分析を行う。

〔教科書・参考書〕
配布プリント

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 50%、実習レポート 50%。

回	授業日時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～10	【前期】４月、５月木曜日13:00～15:55	大野　純	ユニット１クリオスタットの利用	センター設置のクリオスタットを用いた骨組織切片作製技術を修得する。	１．骨組織からの顕微鏡試料の作製法を説明する。 ２．非脱灰凍結切片標本の作製法を説明する。 ３．クリオスタットの取扱い方を説明し、実際に試料を作成する。 ４．組織学的染色後、顕微鏡にて形態観察をして、結果を発表することができる。	インターネットなどで非脱灰凍結切片標本作成法を調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他
11～20	【前期】５月、６月木曜日13:00～15:55	大野　純	ユニット２蛍光顕微鏡の利用	センター設置の蛍光顕微鏡を用いた蛍光観察技術を修得する。	１．蛍光顕微鏡の原理と測定法を説明する。 ２．蛍光標識した抗体を用いて蛍光免疫染色試料を作成する。 ３．蛍光顕微鏡の取扱い方を説明し実際に観察を行う。 ４．蛍光染色結果をまとめて、発表することができる。	インターネットなどで蛍光細胞染色の写真などを調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他

回	授業日時　限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
21～30	【前期】６月、７月木曜日13:00～15：55	大野　純	ユニット３ 蛍光Ｘ線分析装置とＸ線回折装置の利用	センター設置の蛍光Ｘ線分析装置とＸ線回折装置を用いた測定技術を修得する。	１．蛍光Ｘ線分析装置とＸ線回折装置の原理と測定法を説明する。 ２．試料作成法を説明する。各種生体材料から試料を作成する。 ３．蛍光Ｘ線分析装置とＸ線回折装置の取扱い方を説明し、生体材料に含まれる成分元素の分析を行う。 ４．測定データをまとめて、発表することができる。	蛍光Ｘ線分析、Ｘ線回折について調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター他

口腔医療学講義①

前期１５コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：古賀千尋

〔担当教員〕
古賀千尋、金子高士

〔一般目標〕
広域の病診連携を行うために、総合診療計画立案能力を身につけ、総合的歯科診療および高度な歯科的外科治療を実践する。

〔授業到達目標〕
1. 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。
2. 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。
3. 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。

〔教科書・参考書〕
1. 竹原直道　他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版
2. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邉文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.
3. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4 月～6 月 月木曜日 10:35-11:55	古賀千尋 金子高士	ユニット 1 基本的な診療・検査を実施、判断する。	医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。	１）医療情報の種類、内容について述べる。 ２）医療情報の収集法について述べる。 ３）患者の症状を把握するための検査法を列挙する。 ４）エックス線写真の撮影法、読影について述べる。 ５）口腔内写真の撮影法について述べる。 ６）スタディモデルの意義、作成法について述べる。 ７）歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患の診査法を列挙する。 ８）口腔外の検査法について述べる。 ９）診療情報提供書、対診書、返事等の記載法を述べる。	口腔の診査、診断に必要な検査法を学習しておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センターセミナー室

口腔医療学講義②

後期１５コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：古賀千尋

〔担当教員〕
古賀千尋、金子高士

〔一般目標〕
広域の病診連携を行うために、総合診療計画立案能力を身につけ、総合的歯科診療および高度な歯科的外科治療を実践する。

〔授業到達目標〕
1. 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。
2. 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。
3. 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。

〔教科書・参考書〕
1. 竹原直道　他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版
2. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邉文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.
3. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標 （ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	10 月 ～1 月 木曜日 10:35- 11:55	古賀千尋 金子高士	ユニット 1 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。	歯牙硬組織疾患･歯周組織疾患を診断する。	１）歯牙硬組織疾患･歯周組織疾患の診断について述べる。 ２）歯牙硬組織疾患･歯周組織疾患に対して治療法を述べる。 ３）治療法の提示の仕方について述べる。 ４）患者の自己決定について述べる。 ５）1 口腔単位の治療計画を作成する基準について述べる。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目を臨床と関連づけて考えておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センターセミナー室

口腔医療学実習①

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：古賀千尋

〔担当教員〕
古賀千尋、金子高士

〔一般目標〕
広域の病診連携を行うために、総合診療計画立案能力を身につけ、総合的歯科診療および高度な歯科的外科治療を実践する。

〔授業到達目標〕
1. 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。
2. 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。
3. 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。

〔教科書・参考書〕
1. 竹原直道　他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邉文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時　限	授　業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1～30	【前期】 4～6 月月・木曜日の指定日 10:00 -12:00	古賀千尋 金子高士	ユニット1 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する	1）必要な医療情報を列挙する。 2）医療情報を十分に収集する。	1）患者の症状を把握するための視診、触診、打診、聴診をする。 2）エックス線写真を正しく撮影・分析する。 3）口腔内写真を正しく撮影・分析する。 4）スタディモデルを作製・分析する。 5）歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患を診断するための検査をする。 6）口腔内、口腔外の視診、触診、打診、聴診から疾患の状態を判断する。 7）必要な臨床検査を考えオーダーを出し、検査結果を読む。 8）診療情報提供書、対診書、返事等を記載する。	口腔の診査、診断に必要な検査法を学習しておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センターセミナー室

口腔医療学実習②

前期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：古賀千尋

〔担当教員〕
古賀千尋

〔担当教員（オムニバス科目等）〕
古賀千尋、金子高士

〔一般目標〕
広域の病診連携を行うために、総合診療計画立案能力を身につけ、総合的歯科診療および高度な歯科的外科治療を実践する。

〔授業到達目標〕
1. 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。
2. 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。
3. 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。

〔教科書・参考書〕
1. 竹原直道　他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邉文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット 番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	【前期】 7～9 月 月・木曜日の指定日 10:00- 12:00	古賀千尋 金子高士	ユニット1 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。	1）歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患を診断する。	1）歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患に対して治療法を立案する。 2）妥当な治療法をすべて患者に提示する。 3）患者の自己決定を尊重・確認する。 4）1 口腔単位の治療計画を作成する。 5）補綴治療を行う上での問題点を挙げプロブレムリストを作成する。 6）補綴治療計画を立て、補綴物製作を体験する。 7）口腔の治療における合併症を考えその予防法と対応法のリストを作成する。患者に合併症を説明する。 8）口腔衛生指導とメンテナンスを経験する。 9）治療後の経過観察法を考え、実施する。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目を臨床と関連づけて考えておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センターセミナー室

口腔医療学実習③

後期３０コマ（ユニット１：２単位）
評価責任者：古賀千尋

〔担当教員〕
古賀千尋、金子高士

〔一般目標〕
広域の病診連携を行うために、総合診療計画立案能力を身につけ、総合的歯科診療および高度な歯科的外科治療を実践する。

〔授業到達目標〕
1. 医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する。
2. 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。
3. 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。

〔教科書・参考書〕
1. 竹原直道　他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邉文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.

〔成績評価の方法・基準〕
出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日 時　限	授　業 担当者	ユニット 番号・項目名	学習目標 （ＧＩＯ）	行動目標（ＳＢＯｓ）	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	【後期】 10～12 月 月・木曜日の指定日 10:00- 12:00	古賀千尋 金子高士	ユニット1 口腔内科的治療および無床診療所での高度な歯科的外科治療を実践する。	口腔粘膜、軟組織疾患を診断する。 顎の炎症性疾患を診断する。	1）口腔粘膜、軟組織疾患に対して治療法を立案する。 2）顎の炎症性疾患に対して治療法を立案する。 3）インプラントの画像診断を説明する。 4）インプラントの治療計画を作成する。 5）インプラントの埋入について説明する 6）インプラント手術シミュレーションを説明する。 7）インプラントの埋入を体験する。 8）硬組織と軟組織のマネージメントを説明する。	大学院で研究をする項目を臨床と関連づけて考え、具体的な計画を立案する。	臨床研修歯科医ハンドブック等及び臨床に関連する文献	口腔医療センターセミナー室

授　業　要　綱

編集
発行　福岡歯科大学大学院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話　092（801）0447番（直通）
Ｆａｘ　092（801）0427番